元総社蒼海遺跡群（18）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

２００８．３

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

元総社蒼海遺跡群（18）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

２００８．３

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

元総社蒼海遺跡群（18）全景

Ⅰ－４号井戸跡全景

Ⅰ－４号井戸跡出土瓦当

は　じ　め　に

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、２万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所から、人々の息吹を感ぜられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上野毛の国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中枢をなす施設が次々に作られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され、日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群（18）は古代上野国の中枢地域の調査であります。上野国府推定区域に隣接することから、調査成果に多くの注目を集めております。今回の調査では、国府そのものに関連する遺構の検出はかないませんでしたが、古墳時代から平安時代にいたる多くの竪穴式住居跡を検出しました。今は一本の糸に過ぎない調査成果も織り上げて行けば、国府や国府のまちの姿を再現できるものと考えております。残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮の結果と言えます。また、寒風の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申し上げます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成20年３月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団　長　　砂　川　次　郎

例　　言

1．本報告書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群発掘調査報告書である。

2．調査主体は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団である。

3．発掘調査の要項は次のとおりである。

調　査　場　所	群馬県前橋市元総社町1718番ほか３筆
遺　跡　コ　ー　ド	19Ａ130-18
発 掘 調 査 期 間	平成19年10月16日～平成20年１月16日
整理・報告書作成期間	平成19年11月12日～平成20年３月13日
発 掘 ・ 整 理 担 当 者	宇佐美義春（技研測量設計株式会社）

4．本書の編集は宇佐美が行った。原稿執筆はＩを梅澤克典（前橋市教育委員会）、他を宇佐美が担当した。

5．発掘調査・整理作業に関わった方々は次のとおりである。

【発掘調査】内嶋勝義・小田切勝己・坂口　昇・間庭啓治・三原昭夫・吉澤栄一・山本芳子・静　幸代・岩田誠一・木村美津子・染谷恭輔・男竹則夫・田所保彦・岡野　茂・矢内司郎・新井将夫・梅山節子・竹内八重子・武田茂子・田島邦利・金古　操・高橋千秋・槙田久雄

【整理作業】大友徳恵・桜井美佳・須田公恵・堀越晴子・山下雅江・山本洋子

6．発掘調査で出土した遺物および、図面等の資料は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

7．以下の諸氏・機関に有益なご指導、御協力を頂いた。記して感謝の意を表したい。（順不同、敬称略）
元総社町自治会、須賀工業株式会社

凡　　例

1．挿図中に使用した北は、座標北である。

2．挿図に建設省国土地理院発行の１：200.000、１：25.000地形図を使用した。

3．遺構、及び遺構施設の略称は、次のとおりである。

Ｈ…古墳・奈良・平安時代の竪穴住居跡　　Ｗ…溝跡　　Ｉ…井戸跡

Ｄ…土坑　　DB…土壙墓　　Ｐ…ピット　　Ｏ…落ち込み、風倒木痕　　Ｘ…性格不明遺構

4．遺構・遺物実測図の縮尺は、原則的に次のとおりである。その他、各図スケールを参照されたい。

遺構　　住居跡・溝跡・井戸跡・土坑…１：60、１：80　竈…１：30　全体図…１：300

遺物　　金属器…１／２　土器…１／３、１／４　石製品…１／４　瓦…１／６、１／４、１／３

5．計測値については、（　）は現存値、［　］は復元値を表す。

6．セクション注記の記号は、粘性・締りの順で示し、それぞれ以下のように表現する。

◎非常に締まり・粘性あり　○締まり・粘性あり　△締まり・粘性ややあり　×締まり・粘性なし

7．遺構・遺物実測図の記号・網掛けは、次のとおりである。

―・―床硬化範囲　　---------灰釉施釉範囲　　：遺構の被熱痕・灰釉陶器の断面

：還元焔焼成の須恵器断面　　：土器の油煙・遺構の炭範囲

8．主な火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。

As-B　（浅間Ｂ軽石：供給火山・浅間山、1108年）

Hr-FP（榛名二ッ岳伊香保テフラ：供給火山・榛名山、６世紀中葉）

Hr-FA（榛名二ッ岳渋川テフラ：供給火山・榛名山、６世紀初頭）

As-C　（浅間Ｃ軽石：供給火山・浅間山、４世紀前半～中葉）

目　　次

口絵 1
口絵 2
序…… i
例言・凡例…… ii

Ⅰ　調査に至る経緯…… 1
Ⅱ　遺跡の位置と環境…… 1
Ⅲ　調査の方針と経過…… 3
Ⅳ　基本層序…… 6
Ⅴ　遺構と遺物…… 8
Ⅵ　ま と め……16

表 目 次

Tab. 1　元総社蒼海遺跡群周辺遺跡概要一覧表…… 5
Tab. 2　竪穴住居跡一覧表……17
Tab. 3　溝跡計測表……17
Tab. 4　土坑・墓坑・井戸計測表……17
Tab. 5　ピット計測表……18
Tab. 6　出土土器観察表……20
Tab. 7　出土瓦観察表……25
Tab. 8　出土金属製品観察表……27
Tab. 9　出土石製品観察表……27
Tab.10　出土磁器観察表……27
Tab.11　出土古銭観察表……27

挿 図 目 次

Fig. 1　元総社蒼海遺跡群位置図…… 2
Fig. 2　周辺遺跡図…… 4
Fig. 3　グリッド設定図…… 6
Fig. 4　基本層序…… 6
Fig. 5　元総社蒼海遺跡群（18）全体図…… 7
Fig. 6　元総社蒼海遺跡群（15）・（16）・（18）の
　　竪穴住居跡時期別分布図……16
Fig. 7　H－1号住居跡……28
Fig. 8　H－2・3・27・28号住居跡……29
Fig. 9　H－2・3号住居跡竈……30
Fig.10　H－27・28号住居跡竈……31
Fig.11　H－4・5号住居跡……32
Fig.12　H－6・8・9号住居跡……33
Fig.13　H－7・30号住居跡……34
Fig.14　H－10・11・12・31号住居跡……35
Fig.15　H－13号住居跡……36
Fig.16　H－14・15号住居跡……37
Fig.17　H－17・19・20・21号住居跡……38
Fig.18　H－18・29号住居跡……39
Fig.19　H－22・25号住居跡……40
Fig.20　H－23・24号住居跡……41
Fig.21　H－24号住居跡……42
Fig.22　H－26号住居跡……43
Fig.23　W－1・2・3・5号溝跡……44
Fig.24　土坑（1）……45
Fig.25　土坑（2）……46
Fig.26　土坑（3）……47
Fig.27　土坑（4）……48
Fig.28　土坑（5）……49
Fig.29　土坑（6）……50
Fig.30　Ⅰ－1・2・3号井戸跡……51
Fig.31　Ⅰ－4号井戸跡……52
Fig.32　X－1号跡……53
Fig.33　H－1～6号住居跡出土遺物……54

Fig. 34　H－７～10・12号住居跡出土遺物……55
Fig. 35　H－11～13号住居跡出土遺物……56
Fig. 36　H－14～20・22号住居跡出土遺物……57
Fig. 37　H－22・24号住居跡出土遺物……58
Fig. 38　H－25～28号住居跡出土遺物……59
Fig. 39　H－29号住居跡・土坑・Ｉ－１号井戸跡出土遺物……60
Fig. 40　Ｘ－１号跡・Ｉ－３号井戸跡出土遺物……61
Fig. 41　Ｘ－１号跡、Ｉ－３・４号井戸跡出土遺物……62
Fig. 42　Ｉ－４号井戸跡出土遺物……63
Fig. 43　Ｉ－４号井戸跡出土遺物……64
Fig. 44　Ｉ－４号井戸跡出土遺物……65
Fig. 45　Ｉ－４号井戸跡出土遺物……66

図版目次

PL. 1　遺跡全景（Ａ区）　基本層序
遺跡全景（Ｂ区）　調査風景
PL. 2　Ｈ－１号住居跡全景・竈全景　Ｈ－２号住居跡全景・竈全景　Ｈ－３住居跡全景・竈全景　Ｈ－４住居跡全景・竈全景
PL. 3　Ｈ－５号住居跡全景・Ｈ－７・30号住居跡全景　Ｈ－６号住居跡・竈全景　Ｈ－８住居跡全景　Ｈ－９号住居跡全景　Ｈ－10・11・12・31号住居跡全景　Ｈ－10・12号住居跡竈全景
PL. 4　Ｈ－11号住居跡竈全景　Ｈ－13号住居跡全景　Ｈ－14号住居跡全景・竈全景　Ｈ－15号住居跡全景・竈全景　Ｈ－16号住居跡全景　Ｈ－17号住居跡全景
PL. 5　Ｈ－18号住居跡掘り方全景・竈土層　Ｈ－19号住居跡全景・竈全景　Ｈ－20号住居跡竈全景　Ｈ－21号住居跡全景　Ｈ－22号住居跡全景・竈全景
PL. 6　Ｈ－23号住居跡・竈全景　Ｈ－24号住居跡全景・竈全景　Ｈ－25号住居跡全景　Ｈ－26号住居跡・竈全景　Ｈ－26号住居跡掘り方全景
PL. 7　Ｈ－27号住居跡全景・竈全景　Ｈ－28号住居跡全景・竈全景　Ｗ－１号溝跡・土坑群２全景　Ｗ－６号溝跡・土坑群２全景　Ｗ－２号溝跡全景　Ｗ－５号溝跡全景
PL. 8　Ｄ－５号土坑全景（墓坑）　Ｄ－14号土坑全景　Ｄ－19号土坑全景　土坑群１全景　ＤＢ－１号土壙墓全景　ＤＢ－２号土壙墓全景　Ｉ－１号井戸跡・土層
PL. 9　Ｉ－３号井戸跡・土層　Ｉ－４号井戸跡・土層　Ｉ－４号井戸跡北側・西側瓦積み　Ｘ－１号跡土層（1）　Ｘ－１号跡土層（2）
PL. 10　Ｘ－１号跡全景　Ｘ－１号跡西側　Ｘ－１号跡東側　Ｘ－１号跡遺物出土状況（東側）　Ｘ－１号跡礫群
PL. 11　出土遺物（Ｈ－１・３～７・９～12号住居跡）
PL. 12　出土遺物（Ｈ－12・13・15・17～19・22号住居跡）
PL. 13　出土遺物（Ｈ－22～26号住居跡）
PL. 14　出土遺物（Ｈ－26号住居跡、土坑、Ｉ－１号井戸跡、Ｘ－１号跡・Ｉ－３号井戸跡）
PL. 15　出土遺物（Ｉ－４号井戸跡）
PL. 16　出土遺物（Ｉ－４号井戸跡）
PL. 17　出土遺物（Ｉ－４号井戸跡）

Ⅰ　調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、８年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年に亘って行われていることから遺跡地であることが確認されている。

平成19年９月７日付けで、前橋市長　高木政夫（区画整理第二課）より前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。教育委員会ではこれを受け、内部組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団へ調査実施の協議を行った。調査団では直営による本発掘調査の実施が困難であるとして、民間調査機関に調査業務を委託したいと解答した。民間調査機関の導入については、依頼者である前橋市の合意も得られ、平成19年10月３日付けで前橋市埋蔵文化財発掘調査団と前橋市との間で、埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結した。調査団は民間調査機関である技研測量設計株式会社と、10月４日付けで業務委託契約を締結し、10月16日より現地での発掘調査を開始した。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群（18）」（遺跡コード：19Ａ130-18）の「元総社蒼海遺跡群」は区画整理事業名を採用し、数字の「(18)」は過年度に実施した調査と区別するために付したものである。

Ⅱ　遺跡の位置と環境

１　遺跡の位置（Fig.１）

本調査地は、前橋市街地から利根川を隔て、西へ約3.6㎞の地点、前橋市元総社町地内に所在し、西約0.4㎞には関越自動車道が南北に、南には国道17号、主要地方道前橋・群馬・高崎線が東西に、また東約0.5㎞には市道大友・石倉線が南北にそれぞれ走っている。本調査地の立地する地形は、前橋台地上、榛名山麓を源にする牛池川、染谷川が開析し形成した細長い微高地上で、標高は122～123ｍの位置にある。また、総社・元総社地区で染谷川や牛池川は、微高地との比高差３ｍ～５ｍを測る。遺跡が立地する台地上は桑畑などの畠地として利用されていた。

２　歴史的環境（Fig.２）　遺跡名の後の（　）付数字は、Fig.２及びTab.１の遺跡番号と対応する。

本遺跡地は縄文時代以降の多くの遺跡が立地している。縄文時代の遺跡では、八幡川右岸の微高地上に産業道路東（15）・産業道路西遺跡（16）、本遺跡の立地する牛池川右岸台地上に上野国分僧寺・尼寺中間地域（20）・元総社小見Ⅲ遺跡（65）などが挙げられる。弥生時代の遺跡としては日高遺跡（18）、上野国分僧寺・尼寺中間地域（20）や桜ヶ丘遺跡（33）、下東西遺跡（23）等があるがその分布は散漫である。

古墳時代、本遺跡地周辺の区域は県内でも中心的な地域であったことが窺われる。それを示すものとして総社古墳群が挙げられ、古墳時代後期・終末期に至り、王山古墳（7）、二子山古墳（11）、愛宕山古墳（10）、宝塔山古墳（13）、蛇穴山古墳（8）等の首長墓が多数築造された。

奈良・平安時代に至ると、本遺跡周辺は上野国府、国分寺（2）、国分尼寺（3）の建設に示されるように、律令期における上野国の地方行政の中枢として再編成される。上野国府は本遺跡の南東の区域におよそ900ｍ四方に推定され、これに関連する遺跡として、元総社小学校校庭遺跡(14)や、元総社寺田遺跡(48)、元総社宅地遺跡(55)がある。また閑泉樋遺跡（30）では東西方向の大溝、元総社明神遺跡（27）では南北方向の溝跡が検出され、国府域の東外郭線が想定された。国分寺（2）は昭和55年以降の調査により、主要伽藍の礎石、築垣、堀等が確認されている。国分尼寺（3）は昭和44・45年のトレンチ調査により伽藍配置が推定され、その後平成12年の前橋市埋蔵文化財発掘調査団の確認調査により、東南隅と西南隅の築垣、それと平行する溝跡や道路状遺構が確認された。なお今回の調査対象区域である元総社蒼海遺跡群は国分尼寺南方150ｍの位置に所在する。また、国府・国分寺に

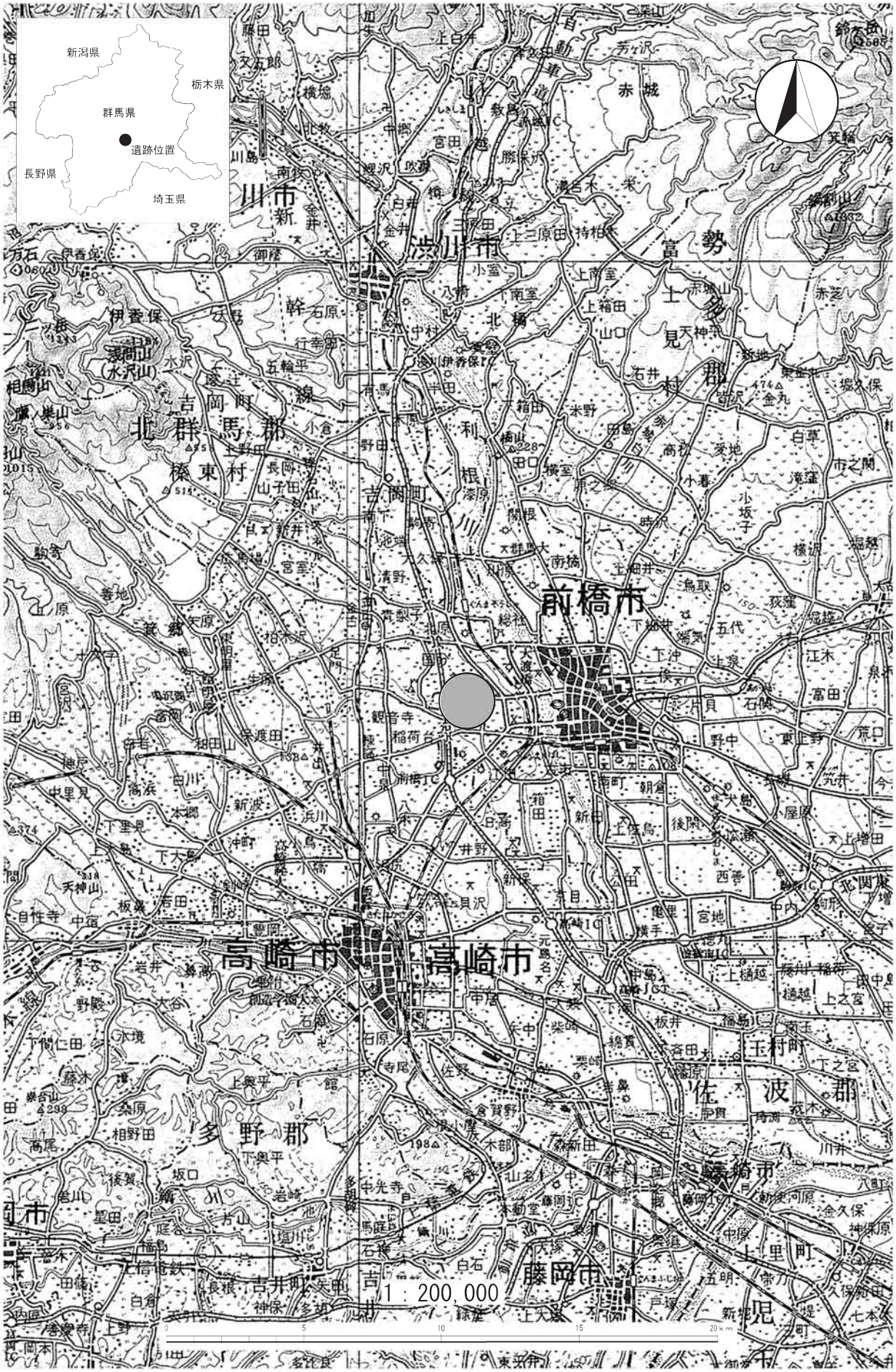


Fig. 1　元総社蒼海遺跡群　位置図

関連する主要な遺跡として、中尾遺跡（17）、工房址や神社遺構が検出された鳥羽遺跡（29）、掘立柱建物群を検出した国分僧寺・尼寺中間地域（20）などが挙げられる。

中世に至り、古代国府跡に上野国守護代長尾氏によって蒼海城が築かれ、蒼海城の縄張りは国府の地割を祖型としていると推測されている。

Ⅲ　調査の方針と経過

1　調査方針（Fig. 3）

委託調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業の道路予定地で、調査面積は約1,440㎡である。グリッド座標については、2000年の上野国国分尼寺寺域確認調査から用いている４ｍピッチのものを継続して使用した。グリッドは北西杭の名称を使い、西から東へＸ―59、Ｘ―60、Ｘ―61…、北から南へＹ―115、Ｙ―116、Ｙ―117…と表記した。公共座標については、以下のとおりである。

・元総社蒼海遺跡群（18）　　測点　Ｘ80・Ｙ115

旧日本測地系	Ｘ＝＋43540.000	Ｙ=－71880.000
世界測地系	Ｘ＝＋43894.906	Ｙ=－72171.754

調査は①表土掘削（バックフォー0.7㎥使用）、②遺構確認（主に鋤簾）、③方眼杭等設置、④遺構掘り下げ、⑤遺構精査、⑥測量、⑦全景写真撮影の手順で行った。図面作成は、トータルステーションによる測量を主に使用し、平板・遣り方測量を併用した。遺構図は原則として１／20、住居跡竈は１／10の縮尺で作成した。遺物については平面分布図を作成し、台帳に各種記録しながら収納した。

2　調査経過

本遺跡の発掘調査は、平成19年10月４日付けで業務委託契約を締結し、10月16日より現地での調査を開始した。調査区は現道を挟んで分割されるため、便宜上東側部分をＡ区、西側部分をＢ区と呼称した。また、元総社蒼海遺跡群（15・16）と隣接し、並行して調査が行われているため、遺構が調査区域をまたいで検出された場合は、その都度どちらの調査区域に属するか明確にするようにし、本調査区域にその遺構が帰属しない場合は遺構番号は特に付さなかった。

重機による表土掘削は10月16日～10月25日、Ｃ軽石・Hr-FP 混黒色土層を指標に掘り下げた。遺構確認は10月26日～11月１日、BM 杭・グリッド杭の打設は10月25日に行い、11月１日から遺構の掘り下げを開始した。

検出遺構は平安時代の竪穴住居跡31軒、古代・中世の溝跡５条・井戸跡４基・土坑94基・ピット311基、土壙墓２基、掘り込み状遺構１箇所、風倒木痕２箇所である。出土遺物は縄文時代の土器・石器、奈良・平安時代の土師器・須恵器・灰釉陶器・瓦・金属製品・石製品、中世の陶磁器等で、コンテナ約40箱である。

12月21日にラジコンヘリコプターによる調査区全景の航空写真撮影を行い、その後、竪穴住居跡の掘り方調査を実施した。調査区埋め戻し作業は平成20年１月７日～１月16日の間に行い、その後機材撤収を行い調査を完了した。

整理・報告書作成作業は11月12日より開始した。遺物の水洗い・注記・接合・復元・実測・写真撮影・収納、図面の修正・整理・収納、写真の整理・収納、報告書の図版作成・原稿執筆・編集作業を行い、平成20年３月13日までにすべての作業を終了した。

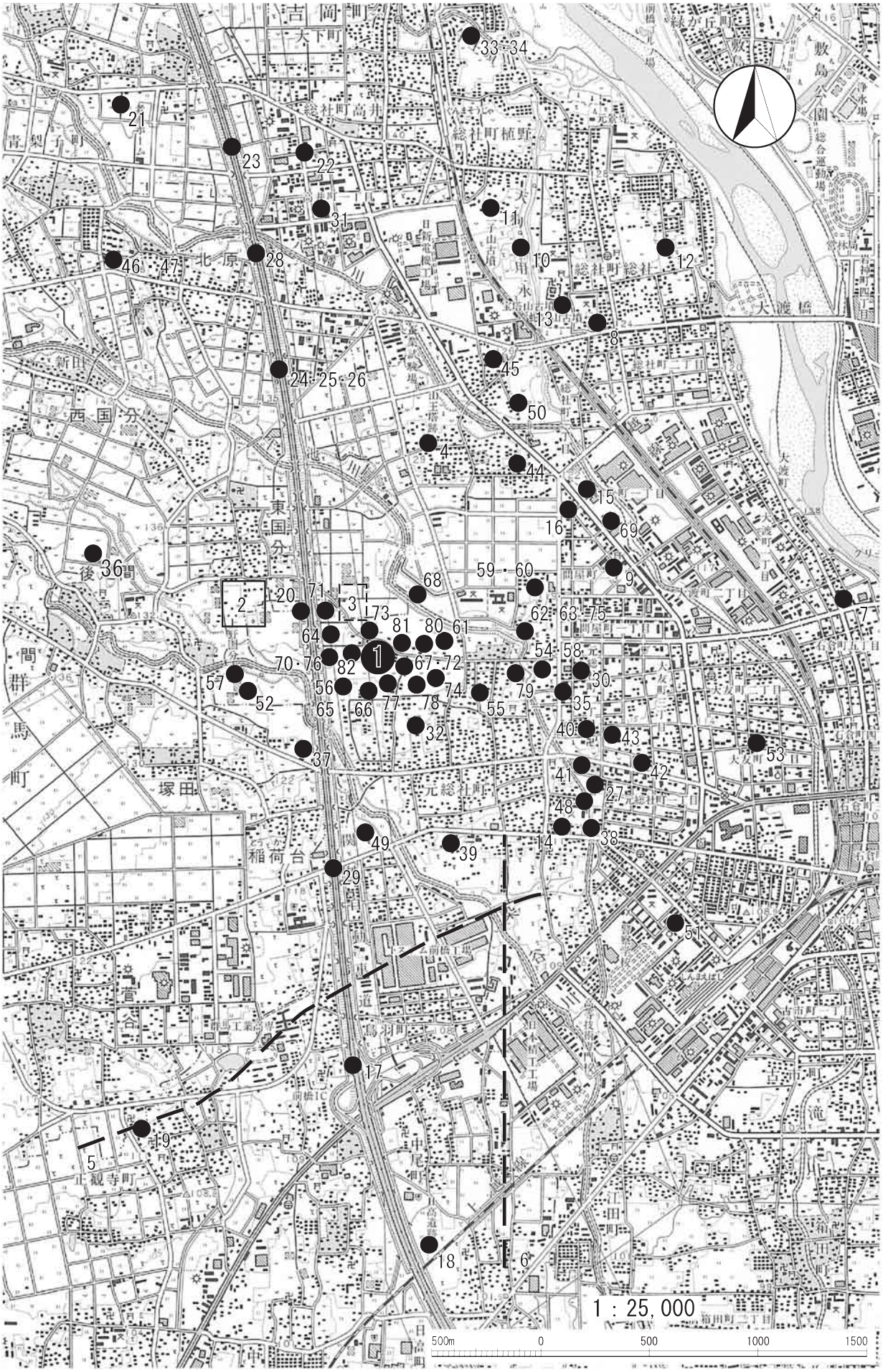


Fig. 2　周辺遺跡図

Tab. 1　元総社蒼海遺跡群周辺遺跡概要一覧表

番号	遺　跡　名	調査年度	時代：主な遺構・出土遺物
1	元総社蒼海遺跡群（18）	2007	本遺跡
2	上野国分寺跡（県教委）	1980～88	奈良：金堂基壇・塔基壇
3	上野国分尼寺跡	（1999）	奈良：西南隅・東南隅築垣
4	山王廃寺跡	（1974）	古墳：塔心礎・根巻石
5	東山道（推定）		
6	日高道（推定）		
7	王山古墳	1972	古墳：前方後円墳（６Ｃ中）
8	蛇穴古墳	1975	古墳：方墳（８Ｃ初）
9	稲荷山古墳	1988	古墳：円墳（６Ｃ後半）
10	愛宕山古墳	1996	古墳：円墳（７Ｃ初）
11	総社二子山古墳	未調査	古墳：前方後円墳（６Ｃ末～７Ｃ初）
12	遠見山古墳	未調査	古墳：前方後円墳（５Ｃ後半）
13	宝塔山古墳	未調査	古墳：方墳（７Ｃ末）
14	元総社小学校校庭遺跡	1962	平安：掘立柱建物跡・柱穴群・周濠跡
15	産業道路東遺跡	1966	縄文：住居跡
16	産業道路西遺跡		縄文：住居跡
17	中尾遺跡（事業団）	1976	奈良・平安：住居跡
18	日高遺跡（事業団）	1977	弥生：水田跡・方形周溝墓・住居跡・木製農具、平安：条里制水田跡
19	正観寺遺跡Ⅰ～Ⅳ（高崎市）	1979～81	弥生：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
20	上野国分僧寺・尼寺中間地域（事業団）	1980～83	縄文：住居跡・配石遺構、弥生：住居跡・方形周溝墓、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：掘立柱建物跡・溝状遺構・道路状遺構
21	清里南部遺跡群Ⅲ	1980	縄文：ピット、奈良・平安：住居跡・溝跡
22	中島遺跡	1980	奈良・平安：住居跡
23	下東西遺跡（事業団）	1980～84	縄文：屋外埋甕、弥生：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・柵列、中世：溝跡
24	国分境遺跡（事業団）	1990	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
25	国分境Ⅱ遺跡	1991	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
26	国分境Ⅲ遺跡（群馬町）	1991	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・畠跡、中世：土壙墓
27	元総社明神遺跡Ⅰ～Ⅲ	1982～96	古墳：住居跡・水田跡・堀跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・大形人形、中世：住居跡・溝跡・天目茶碗
28	北原遺跡（群馬町）	1982	縄文：土坑・集石遺構、古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡
29	鳥羽遺跡（事業団）	1978～83	古墳：住居跡・鍛冶場跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡（神殿跡）
30	閑泉樋遺跡	1983	奈良・平安：溝跡（上幅6.5～７ｍ、下幅3.24ｍ、深さ２ｍ）
31	柿木遺跡・Ⅱ遺跡	1983、1988	奈良・平安：住居跡・溝跡
32	草作遺跡	1984	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：井戸跡
33	桜ヶ丘遺跡		弥生：住居跡
34	総社桜ヶ丘遺跡・Ⅱ遺跡	1985、87	奈良・平安：住居跡
35	閑泉樋南遺跡	1985	古墳：住居跡、奈良・平安：溝跡
36	後疋間遺跡Ⅰ～Ⅲ（群馬町）	1985～87	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：道路状遺構
37	塚田村東遺跡（群馬町）	1985	平安：住居跡
38	寺田遺跡	1986	平安：溝跡・木製品
39	天神遺跡・Ⅱ遺跡	1986、88	奈良・平安：住居跡
40	屋敷遺跡・Ⅱ遺跡	1986、95	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：堀跡・石敷遺構
41	大友屋敷Ⅱ・Ⅲ遺跡	1987	古墳：住居跡、平安：住居跡・溝跡・地下式土坑
42	堰越遺跡	1987	奈良・平安：住居跡・溝跡
43	堰越Ⅱ遺跡	1988	平安：住居跡
44	昌楽寺廻向遺跡・Ⅱ遺跡	1988	奈良・平安：住居跡
45	村東遺跡	1988	古墳：住居跡・溝跡、奈良・平安：住居跡、中世：堀跡
46	熊野谷遺跡	1988	縄文：住居跡、平安：住居跡・溝跡
47	熊野谷Ⅱ・Ⅲ遺跡	1989	平安：住居跡
48	元総社寺田遺跡Ⅰ～Ⅲ（事業団）	1988～91	古墳：水田跡・溝跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・人形・斎串・墨書土器、中世：溝跡
49	弥勒遺跡・Ⅱ遺跡	1989、95	古墳：住居跡、平安：住居跡
50	大屋敷遺跡Ⅰ～Ⅵ	1992～2000	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：掘立柱建物跡・地下式土坑・溝跡
51	元総社稲葉遺跡	1993	縄文：土坑、平安：住居跡・瓦塔
52	上野国分寺参道遺跡	1996	古墳：住居跡、平安：住居跡
53	大友宅地添遺跡	1998	平安：水田
54	総社閑泉明神北遺跡	1999	古墳：畠跡・水田跡・溝跡、中世：溝跡
55	元総社宅地遺跡１～23トレンチ	2000	古墳：住居跡、平安：住居跡・掘立柱建物跡・鍛冶場跡・溝跡・道路状遺構、中世：溝跡、近世：住居跡・五輪塔・椀類
56	元総社小見遺跡	2000	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡・道路状遺構
57	元総社西川遺跡（事業団）	2000	古墳：住居跡・畠跡、奈良・平安：住居跡・溝跡
58	総社閑泉明神北Ⅱ遺跡	2001	古墳：住居跡・溝跡、平安：住居跡・溝跡
59	総社甲稲荷塚大道西遺跡	2001	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：畠跡、近世：溝跡
60	総社甲稲荷塚大道西Ⅱ遺跡	2001	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、近世：溝跡
61	元総社小見内Ⅲ遺跡	2001	古墳：住居跡・溝跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡、中世：掘立柱建物跡・溝跡
62	総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺跡	2002	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・畠跡・溝跡
63	総社閑泉明神北Ⅲ遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
64	元総社小見Ⅱ遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：溝跡・道路状遺構
65	元総社小見Ⅲ遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡・道路状遺構
66	元総社草作Ⅴ遺跡	2002	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
67	元総社小見内Ⅳ遺跡	2002	奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡、中世：土壙墓・掘立柱建物跡・溝跡
68	元総社北川遺跡（事業団）	2002～04	古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡・畠跡、中・近世：掘立柱建物跡・水田跡・火葬墓
69	稲荷塚道東遺跡（事業団）	2003	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・竈構築材採掘痕・井戸跡
70	元総社小見Ⅳ遺跡	2003	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
71	元総社小見Ⅴ遺跡	2003	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：掘立柱建物跡
72	元総社小見内Ⅵ遺跡	2003	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：井戸跡
73	元総社小見内Ⅶ遺跡	2003	縄文：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：畠跡、溝跡
74	元総社小見内Ⅷ遺跡	2003	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：竪穴状遺構
75	総社甲稲荷塚大道西Ⅳ遺跡	2003	古墳：畠跡、中世：畠跡
76	元総社小見Ⅶ遺跡	2004	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
77	元総社小見内Ⅸ遺跡	2004	奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
78	元総社小見内Ⅹ遺跡	2004	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・工房跡・粘土採掘坑・金片・金粒、中世：溝跡、土壙墓
79	総社閑泉明神北Ⅴ遺跡	2004	古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡
80	元総社蒼海遺跡群（５）	2005	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：周溝状遺構、土壙墓
81	元総社蒼海遺跡群（15）	2007	報告書作成中
82	元総社蒼海遺跡群（16）	2007	報告書作成中

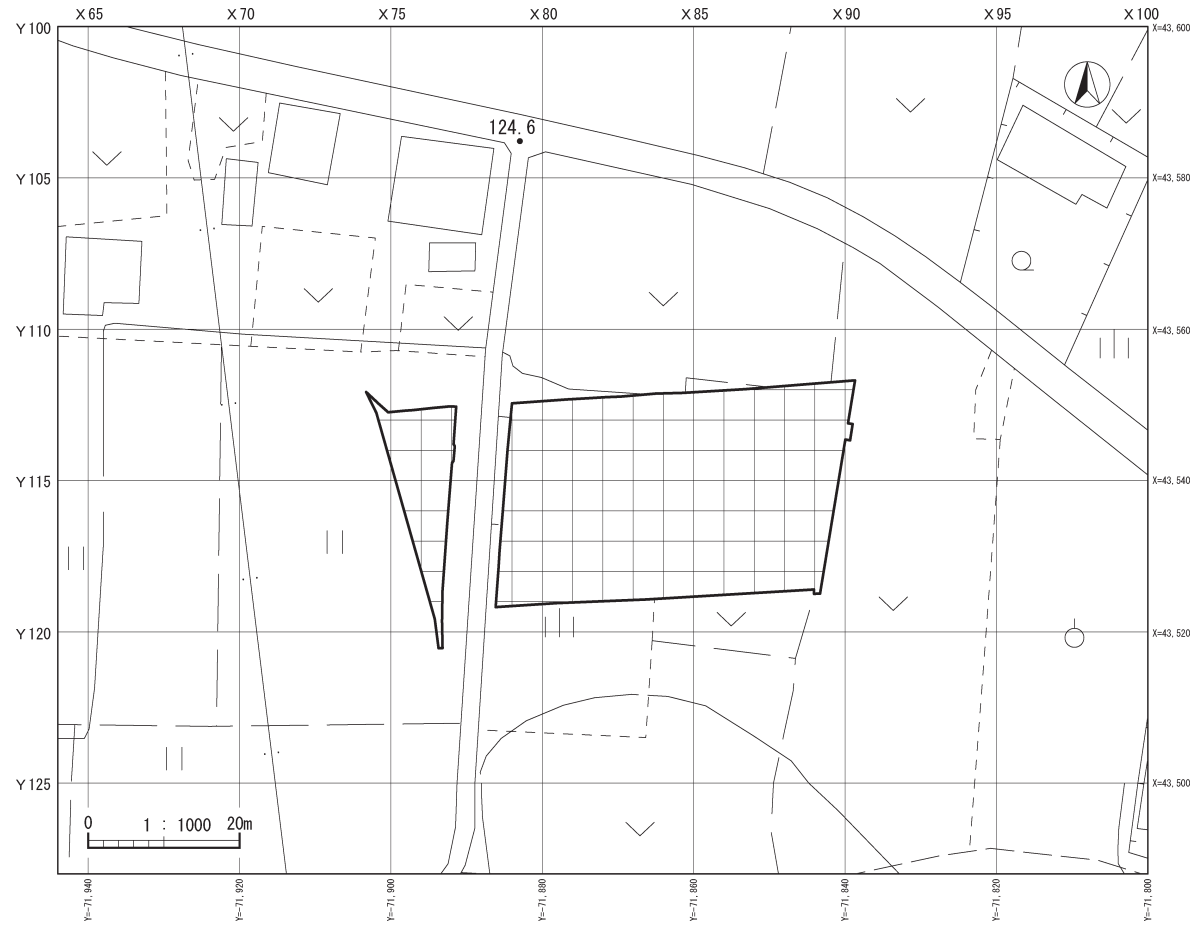


Fig. 3　グリッド設定図

Ⅳ　基本層序

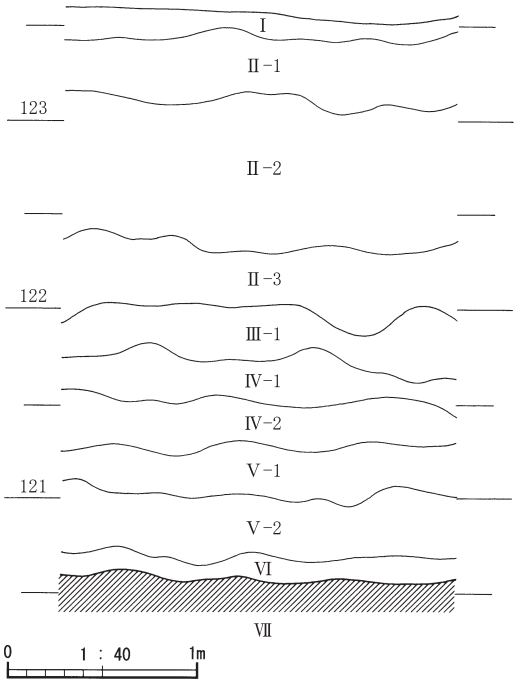


Fig. 4　基本層序

Ⅰ　10YR3/3　暗褐。表土層。旧耕作土で、地点によって鉄分を含む硬質な「シキ床」（田床）が見られる。

Ⅱ　As-B、As-C を若干含むやや砂っぽい層で、3 枚に分層される。　Ⅱ－1　10YR3/2　黒褐。　Ⅱ－2　10YR3/2　黒褐。　Ⅱ－3　10YR3/2　黒褐。粘性は無く、締まる。蒼海（16）Ⅳ～Ⅵ層に相当する。

Ⅲ　As-B を多量に含む層で、Ⅲ－2 は純層であるが、A 区には見られず、B 区北壁に観察される。　Ⅲ－1 は10YR3/1 黒褐の B 混土。蒼海（16）Ⅶ層に相当する。

Ⅳ　As-C を多く含む層で、蒼海（16）のⅧ～Ⅹ層に相当する。Ⅳ－1　10YR2/3　黒褐。茶色味があり、奈良・平安期の遺物を含む。　Ⅳ－2　10YR2/1　黒。「C 黒」で、遺構確認面。Hr-FP を微量含む。粘性ややあり、締まる。

Ⅴ　粘質土。　Ⅴ－1　10YR2/1　黒。　Ⅴ－2　10YR4/1 褐灰。

Ⅵ　10YR5/8　黄褐。ローム（Ⅶ）漸移層。

Fig. 5　元総社蒼海遺跡群（18）全体図

Ⅴ　遺構と遺物

⑴　竪穴住居跡

Ｈ－１号住居跡（Fig. 7 ・33、PL. 2 ・11）

位置　X89、Y112グリッド　**主軸方位**　N－86°－W　**形状等**　長方形。東西2.67m、南北3.9m、最大壁高0.16m　**床面積**　9.0m²　**床面**　よく締まる。北側は一段高くなる。　**竈**　東壁南寄り。主軸方位はN－85°－W。壁を長70cm、幅70cm掘り込んで構築。煙道部は有段。　**出土遺物**　灰釉瓶、須恵器坏・高台坏・甕、土師器坏・甕、羽釜、瓦、こも石２点。　**備考**　年代は元総社蒼海遺跡群Ⅲ期10世紀代と推定。

Ｈ－２号住居跡（Fig. 8 ・ 9 ・33、PL. 2 ・11）

位置　X89、Y114グリッド　**主軸方位**　N－83°－W　**形状等**　長方形。東西（2.83）m、南北3.85m、最大壁高0.31m　**床面積**　（4.7）m²　**床面**　よく締まるが、とくに硬質な面はない。　**竈**　東壁南寄り。主軸方位N－83°－W　**貯蔵穴・柱穴等**　貯蔵穴は竈右脇の住居跡南東コーナー。73×53cm、深さ40cm。ピットは１本。　**出土遺物**　須恵器坏・高台坏・羽釜片、土師器甕、瓦。　**備考**　Ｈ－３号住居跡に切られる。年代は10世紀代と推定。

Ｈ－３号住居跡（Fig. 8 ・ 9 ・33、PL. 2 ・11）

位置　X89、Y114グリッド　**主軸方位**　N－83°－W　**形状等**　長方形。東西3.80m、南北3.45m、最大壁高0.32m　**床面積**　（6.9）m²　**床面**　竈前面がやや硬質化する。　**竈**　東壁南寄り。主軸方位N－83°－W。壁を長26cm、幅50cm掘り込んで構築。左右袖は地山を長45～50cmほど掘り残している。焚口左右に軟砂岩の方形の切石を据えている。間隔幅34cm。　**柱穴等**　ピットは５本あり、南壁際に４本が並ぶ。床下土坑１基。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、羽釜、土師器坏片・甕片、瓦。破片が多い。Fig.32－10の羽釜は竈前面に散乱していた。　**備考**　Ｈ－２号住居跡を切り、Ｈ－28号住居跡に切られる。年代は10世紀代と推定。

Ｈ－４号住居跡（Fig.10・33、PL. 2 ・11）

位置　X87、Y114グリッド　**主軸方位**　N－82°－W　**形状等**　長方形。東西2.43m、南北3.37m、最大壁高0.12m　**床面積**　7.95m²　**床面**　よく締まるが、とくに硬質面はない。　**竈**　東壁南寄り。N－82°－W壁を長56cm、幅64cm掘り込んで構築。壁面・燃焼部に赤化した部分はない。煙道部寄りに２個一対の円礫を据えている。　**貯蔵穴・柱穴等**　ピットは２本。他のピットはＢ混土で新しい。床下土坑２基。Ｐ１は貯蔵穴の可能性もある。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、羽釜。Fig.32－11は竈内出土で、土師質、足高の高台坏。　**備考**　10世紀後半代か。

Ｈ－５号住居跡（Fig.10・33、PL. 3 ・11）

位置　X87、Y117グリッド　**主軸方位**　N－82°－W　**形状等**　東西　（1.87）m、南北2.77m、最大壁高0.37m　**床面積**　（5.6）m²　**床面**　よく締まるが、とくに硬質面はない。　**竈**　東側をW－１号溝跡、土坑群２に切られて未検出。　**貯蔵穴・柱穴等**　ピットは３本。Ｐ１は竈前面に位置する落ち込みで、焼土・灰が混入している。他のピットは浅く、柱穴とは思われない。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、羽釜、瓦、砥石片。Fig.32－13高台坏はＰ１際出土。ほぼ完形。　**備考**　10世紀代と推定。

Ｈ－６号住居跡（Fig.12・33、PL. 3 ・11）

位置　X86、Y116グリッド　**主軸方位**　N－84°－W　**形状等**　長方形。東西2.46m、南北2.77m、最大壁高0.15m　**床面積**　6.3m²　**床面**　よく締まるが、特に硬質面はない。　**竈**　東壁やや南寄り。主軸方位N－84°－W。壁を長40cm、幅64cmに掘り込んで構築。壁面、燃焼部は被熱でよく締まるが、特に赤化部はない。焚口に軟砂岩切石（右側）、自然礫（左側）を据えるが、自然礫は遺構確認時に重機に抜き取られ、現状に復元し得なかった。薄い灰層が見られる。灰釉椀（Fig.32－14）、須恵器高台坏（15・17）、瓦が上面にまとまって検出された。　**貯蔵穴・柱穴等**　貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーにあり、71×55cm、深さ23cm、上面に瓦の大片出土。ピットは３本。Ｐ３は南西コーナーにあり、あるいは貯蔵穴か。Ｐ２の東側に続くピットはＢ混土の新しいピット。　**出土遺物**　灰釉椀。須恵器坏・高台坏、土師器坏・甕、瓦。羽釜は破片２点のみ。遺物は竈内出土が多い。　**備考**　10世紀後

半代か。

Ｈ－７号住居跡（Fig.13・34、PL.３・11）

位置　X86、Y117グリッド　**主軸方位**　N－83°－W　**形状等**　長方形。東西4.16m、南北3.82m、最大壁高0.14m　**床面積**　(7.1) ㎡　**床面**　全体にやや軟弱　**竈**　東壁中央やや南寄り。壁を長54㎝、幅75㎝の半円形状に掘り込んで構築。袖部は地山を44㎝掘り残す。煙道部は有段。燃焼部は被熱でよく締まる。灰層が認められる。中央に軟砂岩切石が据えられている。支脚か。　**柱穴等**　ピットは７本。いずれも浅めで、並びは見られない。　**出土遺物**　灰釉皿・瓶、須恵器坏・高台坏、羽釜、瓦等。竈周辺からの出土が多い。羽釜（Fig.33－23）は竈左側から東壁外上面に分布しているものが接合した。銅椀（Fig.33－22）は西壁際埋土上面出土で、当住居跡に伴うものであるかどうか微妙なところであるが、周囲や遺物下側にＢ混土は無く、住居埋土中出土である。21は足高の高台坏（あるいは椀）。　**備考**　Ｈ－30号住居跡は床下検出。年代は10世紀後半代か。

Ｈ－８号住居跡（Fig.12、PL.３）

位置　X86、Y117グリッド　**主軸方位**　N－87°－W　**形状等**　長方形。東西3.04m、南北3.95m、最大壁高0.10m　**床面積**　11.3㎡　**床面**　全体に軟弱。　**竈**　東側南寄り。主軸方位N－85°－W。壁を長27㎝、幅58㎝の半円形状に掘り込んで構築。煙道部は低い有段をもつ。全体に軟弱。　**柱穴等**　ピットはＢ混土。　**出土遺物**　破片が数点あるのみ。　**備考**　Ｈ－９を切る。年代不明。

Ｈ－９号住居跡（Fig.12・34、PL.３・11）

位置　X85、Y114グリッド　**主軸方位**　N－82°－W　**形状等**　方形。東西2.97m、南北2.72m、最大壁高0.12m　**床面積**　7.3㎡　**床面**　全体に軟弱。　**竈**　東壁中央。壁を長37㎝、幅61㎝の方形に掘り込んで構築。燃焼部は浅い皿状にへこみ、被熱で締まっている。焚口右に自然礫が１個残る。　**柱穴等**　ピットはＢ混土で新しい。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、羽釜、土師器甕片、瓦。須恵器（Fig.33－24）は竈燃焼部内出土で、完形品である。他は破片のみ。　**備考**　Ｈ－８に切られる。年代は10世紀代と推定。

Ｈ－10号住居跡（Fig.14・34、PL.３・11）

位置　X85、Y113グリッド　**主軸方位**　N－85°－W　**形状等**　長方形。東西2.83m、南北3.33m、最大壁高0.15m　**床面積**　(8.14)㎡　**床面**　よく締まる。竈前面に部分的に硬質部がある。　**竈**　主軸方位N－85°－W。東壁南寄り。壁を長41㎝、幅65㎝の半円形状に掘り込んで構築される。燃焼部は皿状の掘り込みで、焼土・灰が分布するが、とくに赤化は認められない。左袖部に平瓦が地山に18㎝ほど打ち込まれて立てられている。遺物は少ない。須恵器高台坏（Fig.33－26）は、左袖部前面に正立状態で出土。羽釜（28）は竈前面の床直上に貼りついたように出土。　**貯蔵穴・柱穴等**　貯蔵穴は竈右脇の南東コーナーにある。63㎝×54㎝、深さ12㎝。上面に瓦片がまとまる。ピットは２本（Ｐ１、Ｐ２）で、掘り込みは浅い。　**出土遺物**　現地調査ではＨ－12号住居跡との重複完形がしばらく把握できず、一括取り上げ遺物はＨ－12号住居跡と混在してしまっている。　**備考**　Ｈ－12号住居跡に切られている。年代は10世紀代と推定。

Ｈ－11号住居跡（Fig.14・35、PL.４・11）

位置　X84、Y113グリッド　**主軸方位**　N－78°－W　**形状等**　長方形。東西2.62m、南北3.32m、最大壁高0.15m　**床面積**　(4.1) ㎡　**竈**　主軸方位N－62°－W。壁を長71㎝、幅42㎝の半楕円形状に掘り込んで構築される。煙道部は有段。燃焼部は住居外にあり、壁面に瓦を多用している。右壁面の瓦は比較的遺存がよく、主として平瓦を立てて壁面としている。煙道部先端にも、右側に軒丸瓦、左側に平瓦を埋め込んで立て並べている。焚口付近は左側にも平瓦を立てており、焚口の左側壁面を構成する瓦と思われる。燃焼部の焼土・灰の分布は多く、底面も部分的に硬質化している。　**貯蔵穴・柱穴等**　貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーにあり、62×50㎝、深さ７㎝。東側にＢ混土のピットが２本重複する。上面より須恵器高台坏（Fig.34－36）出土。ピットは５本（Ｐ３～Ｐ７）。いずれも浅い掘り込みで、特に、柱穴のアタリ痕も認められない。Ｐ３・Ｐ５・Ｐ７には焼土粒が混入していた。**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、小形甕、羽釜、土師器甕、瓦、こも石１点。瓦は29点。大片が多く、「千」をもつ文字瓦や、重弁４弁蓮華文の軒丸瓦がある。　**備考**　Ｈ－12号住居跡を切り、Ｈ－31号住居跡上に構築さ

れおり、重複する４軒のうち、もっとも新しい住居跡。年代は10世紀代に推定。

Ｈ―12号住居跡（Fig.14・34・35、PL.３・12）

位置　Ｘ85、Ｙ113グリッド　**主軸方位**　南壁でＮ―83°―Ｗ　**形状等**　長（1.45）ｍの南壁と南東コーナー付近の壁が遺存するのみ。東壁はＨ―10号住居埋土中であるが、検出しえていない。土層断面（C-C'）でも確認し得なかった。住居跡西半はＨ―11号住居跡に切られる。最大壁高0.10ｍ　**床面積**　不明　**床面**　Ｈ―10号住居跡と同じレベルにある。よく締まるが特に硬質部はない。　**東竈**　主軸方位はＮ―81°―Ｗ。燃焼部は52×26㎝の皿状の掘り込みで、よく焼けて硬質化している。上面に遺物が集中しており、瓦の遺存状態も燃焼部の壁面を構成していたことが窺われる。　**貯蔵穴・柱穴等**　貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーにあり、西側過半をＢ混土ピットで切られている。上面を覆った平瓦もピット掘削時に破壊されている。　**南竈**　南壁のほぼ中央に位置する。壁を長20㎝、幅55㎝の半円形状に掘り込んで構築される。煙道上面に自然礫と、約10㎝浮いた状態で平瓦大片２枚が検出された。竈前面にはＨ―11号住居跡の竈構築材の瓦が立ち並んでおり、Ｈ―11号住居跡より古いことが分かる。燃焼部は掘り方調査段階でも検出されなかった。　**出土遺物**　現地調査での一括遺物の取り上げはＨ―10号住居跡出土遺物として採取したが、当住居跡の重複が判明した段階で判断すると、取り上げ遺物の大半は当住居跡埋土中のものと思われる。灰釉片、須恵器坏・高台坏・鉢、羽釜、土師器甕、瓦、磨石１点、こも石１点。　**備考**　Ｈ―10号住居跡よりは新しく、Ｈ―11号住居跡よりは古い。年代は10世紀代を推定。

Ｈ―13号住居跡（Fig.15・35、PL.４・12）

位置　Ｘ84、Ｙ118グリッド　**主軸方位**　Ｎ―87°―Ｗ　**形状等**　長方形。東西2.78ｍ、南北3.55ｍ、最大壁高0.19ｍ。浅く幅狭の周溝が一部に巡る。　**床面積**　8.9㎡　**床面**　全体によく締まって硬質化している。床面構築土の主体は粘質土。　**竈**　東壁中央やや南寄り。壁を長60㎝、幅56㎝の半円形状に掘り込んで構築される。焚口は、右側に軟砂岩切石、左側に平瓦を立てている。燃焼部奥壁寄りに、軟砂岩切石２個が対称の位置に据えられており、右側の砂岩上に羽釜片がまとまっていた。壁面はよく焼けており、特に焚口左右壁面は赤化して硬化している。底面には焼土粒・灰の分布が著しいが、特に焼けて赤化した範囲は認められない。この灰層下にピット（Ｐ３、Ｐ２）がある。Ｐ３は深さ14㎝としっかりした掘り込みで埋土はかなり硬い。Ｐ２は皿状の掘り込みで、焼土･灰が混入していた。これを囲うように左袖部から、浅い溝状の掘り込みが伸びている。　**貯蔵穴･柱穴等**　貯蔵穴は３箇所。１は60×45㎝、深さ13センチ、２は53×47㎝、深さ28㎝、３は80×65㎝、深さ25㎝。遺物は小片のみで、とくに有機物らしい遺物も認められない。ピット１本（Ｐ１）で浅い掘り込み。Ｄ―86は床下土坑であるが、東接する土坑群１に関連する掘り込みの可能性もある。　**出土遺物**　灰釉椀、須恵器坏・高台坏・大甕、羽釜、瓦、こも石１点、鉄滓１点。Fig.35―39の須恵器坏（土師質）は南東コーナーの壁外近接地点から出土。　**備考**　土坑群１との切り合いは判然としないが、Ｄ―86が土坑群１と関連するならば住居跡の方が新しいことになる。年代は10世紀後半代以降と推定。

Ｈ―14号住居跡（Fig.16・36、PL.４）

位置　Ｘ81、Ｙ112グリッド　**主軸方位**　Ｎ―89°―Ｗ　**形状等**　長方形。東西2.37ｍ、南北（2.26）ｍ、最大壁高0.08ｍ　**床面積**　（5.0）㎡。　**床面**　よく締まるが、特に硬質面はない。　**竈**　東壁南寄り。壁を長40㎝、幅64㎝の長方形状に掘り込んで構築される。左袖部は地山を長30㎝掘り残して作られている。焚口部奥寄りの左壁に自然礫が立てられるが、右壁には立てられた石は無く、袖部上面に置かれたような状況である。燃焼部には薄い灰層が分布するが、底面に赤化部分は認められない。　**柱穴等**　ピットは３本。いずれも浅い掘り込みである。**出土遺物**　土師器坏・台付甕脚片、大礫１点。台付甕は竈右袖部上の自然礫に貼り付いて、大礫は住居跡中央出土。　**備考**　北側は調査区外域。年代は土師器坏からみて10世紀後半代。

Ｈ―15号住居跡（Fig.16・36、PL.４・12）

位置　Ｘ80、Ｙ113グリッド　**主軸方位**　Ｎ―81°―Ｗ　**形状等**　東西長軸の長方形か。西壁は未検出。東西（2.70）ｍ、南北2.86ｍ、最大壁高0.17ｍ。南壁東寄りにステップ状の掘り残し部分がある。　**床面積**　（7.5）㎡　**床面**　よく締まり、竈前面に部分的に硬質部が認められる。　**竈**　主軸方位Ｎ―81°―Ｗ。東壁中央。壁を長53㎝、幅80

cmに掘り込んで構築される。左袖部は若干地山を掘り残している。焚口左右に平瓦を埋め込んで立て、煙道左壁際に自然礫を据えている。右側には見られない。上面には平瓦大片が数枚検出された。　**柱穴等**　ピット１本。床下検出であるが、住居跡周辺にはAs-C混土のピットはほとんど分布しないことから、住居跡に伴うピットであろう。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、土師器甕片、瓦、こも石２点、磨石１点、偏平な自然礫４点。　**備考**　Ａ区西側では　長軸が東西にある長方形住居跡が何軒かある。Ｈ―17号住居跡、Ｈ―18号住居跡もその可能性があり、Ｂ区Ｈ―23号住居跡も同様である。年代は10世紀代を推定。

Ｈ―16号住居跡（Fig.15、PL.４）

位置　X78、Y113グリッド　**主軸方位**　N―50°―W。　**形状等**　不明。東西（1.80）m、南北（2.45）m、最大壁高0.13m　**床面積**　（1.60）㎡　**床面**　貼床は無く、黄褐色ローム層を床面としている。　**柱穴等**　コーナーに一部周溝が巡る。　**出土遺物**　小細片のみ　**備考**　大半が調査区外域にかかり、詳細不明。壁の方位が、他の住居跡とは異なり、竪穴住居跡ではない可能性もある。ただ埋土は他の住居跡と類似し、Ｃ混土の土坑とはやや異なる。

Ｈ―17号住居跡（Fig.17・36、PL.４・12）

位置　X79、Y115グリッド　**主軸方位**　N―89°―W　**形状等**　東西に長軸を持つ長方形。東西（2.85）m、南北（2.46）m、最大壁高0.18m　**床面積**　（6.5）㎡　**床面**　全体的によく締まり、Ｐ５周辺から東側に部分的に硬質面が認められる。　**竈**　東壁中央に位置するが、大半をW―３号溝に切られる。遺存は煙道部のみで、壁面は被熱でよく締まる。　**柱穴等**　周溝は西壁際を中心に巡る。西壁は周溝より、約28cmほど西に伸びており、周溝埋土の硬さから見てあるいは拡張が行われた可能性が強い。ピットは６本。北壁のピットはＢ混土。深さはＰ２―15cm、Ｐ３―25としっかりした掘り込みである。他は浅めで、Ｐ６はＢ混土のＤ―20号土坑底面から検出された。Ｐ５は皿状の掘り込みで、竈前面の位置にあり、焼土粒・焼土ブロックが混入する。　**出土遺物**　須恵器坏・高台坏、土師器坏・甕、羽釜、瓦の他銹化著しい器種不明鉄器１点、こも石３点。いずれも小細片のみである。Fig.36―45の須恵器高台坏（土師質）は埋土一括取り上げであるが、内面に「日天」の線刻文字がある。　**備考**　年代の推定は難しい。

Ｈ―18号住居跡（Fig.18・36、PL.５・12）

位置　X78、Y117グリッド　**主軸方位**　N―89°―E　**形状等**　東西に長軸をもつ長方形か。東西（2.43）m、南北2.79m、最大壁高0.28m　**床面積**　（5.6）㎡　**床面**　よく締まっており、竈前面から住居中央にかけて硬質化している。　**竈**　主軸方位N―88°―E。東壁南寄り。壁を長55cm、幅70cmの半円形状に掘り込んで構築される。右袖部は地山の掘り残し。構築材の遺存悪く、焚口左右に構築材の抜き取り痕。奥壁寄りに、軟砂岩を円錐状に切り出した支脚が据えられている。遺物はこの上からまとまって出土した。　**貯蔵穴・柱穴等**　貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーにあり、135×65cm、深さ12cm。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、羽釜、土師器甕、瓦。北東コーナーの壁外にほぼ接して、須恵器高台坏（Fig.36―46）が出土している。羽釜（47）は竈支脚上の一括遺物。**備考**　西側は調査区外域。年代は10世紀代を推定。

Ｈ―19号住居跡（Fig.17・36、PL.５・12）

位置　X78、Y118グリッド　**主軸方位**　N―86°―E　**形状等**　不明。大半が調査区外域にかかる。東西（0.35）m、南北（2.1）m、最大壁高0.30m　**床面積**　（0.2）㎡　**床面**　検出面が限られるが、よく締まっており、竈前面が硬質化している。　**竈**　主軸方位N―86°―E。壁を長54cm、幅76cmの隅丸方形状に掘り込んで構築される。右袖部には平瓦の大片４枚を重ねて立て並べ、奥壁寄りには軟砂岩切石を２個一対で据える。壁面は被熱で硬化するが、底面には顕著な硬化面はない。　**出土遺物**　須恵器坏・高台坏、羽釜、瓦。羽釜（Fig.35―49）は竈上面の大片と右袖部南側の床直大片が接合している。須恵器高台坏（48）は調査区壁面の床上10cmの埋土中出土。　**備考**　年代は10世紀代を推定。

Ｈ―20号住居跡（Fig.17・36、PL.５）

位置　X80、Y118グリッド　**主軸方位**　不明　**形状等**　Ｉ―３号井戸跡埋土上面に構築されており、住居壁は確

認することが出来なかった。一部調査区南壁にかかると思われるが、この壁の断面観察でも住居跡壁の立ち上がりは確認することが出来ない。　**竈**　燃焼部の掘り込みのみの検出。掘り込みは皿状で、規模は53×36㎝、深さ５㎝。厚さ３㎝が赤化してガチンガチンに硬質化している。東側に軟砂岩切石が据えられており、支脚の可能性がある。　**出土遺物**　須恵器坏・高台坏、羽釜、土師器甕、瓦。遺物は、支脚と思われる軟砂岩切石及びその周辺にまとまっている。瓦は、竈構築材として据えられている状況は見られない。　**備考**　年代は10世紀代を推定。

Ｈ―21号住居跡（Fig.17、PL.５）

位置　Ｘ81、Ｙ114グリッド　**主軸方位**　Ｎ―67°―Ｗ　**形状等**　方形。東西2.50m、南北2.55m、最大壁高0.10m　**床面積**　5.0㎡　**床面**　北側と南側が棚状に一段高くなっている。全体によく締まるが、とくに硬質な面は認められない。　**竈**　東壁中央の半円形の掘り込みを竈として調査したが、焼土・灰の分布はほとんどなく、遺物も皆無である。　**出土遺物**　土師器甕片、磨石１点、礫14点。礫中３点には煤が付着する。その他、須恵器大甕片３点で、底部片１点、胴部片２点、胴部は外面叩き、内面ナデ調整。　**備考**　年代不明。埋土１・２層には As-B が混入し、他の住居跡の埋土と異なる。As-B 混土はＢ区Ｈ―22号住居跡にも見られるが、この住居跡では竈がはっきりしている。Ｈ―21号住は住居跡とする積極的な根拠に欠けるが、とりあえず住居跡として報告しておく。埋土からみて、最も新しい段階の住居跡であろうか。

Ｈ―22号住居跡（Fig.19・36・37、PL.５・12）

位置　Ｘ75、Ｙ112グリッド　**主軸方位**　Ｎ―89°―Ｗ　**形状等**　北半が調査区外域にかかり形状不明。東西2.30m、南北（1.30）m、最大壁高0.10m　**床面積**　（2.2）㎡　**床面**　地山・Ｃ混暗褐色土を埋め戻し、貼床としているが、全体的に軟弱である。竈前面は薄い硬化面が形成されていた。　**竈**　主軸方位Ｎ―89°―Ｗ。壁を長40㎝、幅55㎝の隅丸方形状に掘り込んで構築される。無袖。燃焼部は若干へこみ、厚く灰層の堆積が認められ、竈前面には薄く皮膜状に黒色灰の流出が確認された。　**貯蔵穴・柱穴等**　貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーに位置し、南壁から張り出している。規模は50×45㎝、深さは22㎝。北側に浅い掘り込みを伴う。上面に平瓦が出土しており、貯蔵穴を被覆するような状況である。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、土師器甕、瓦、鉄器（刀子か）。貯蔵穴上の平瓦(Fig.37―55)はほぼ完存。凸面右上に、略文字か記号化不明だが、縦書きで３箇所に線刻がある。この他「井」の線刻文字をもつ平瓦がある。　**備考**　年代は10世紀代と推定される。埋土上層に As-B の堆積が確認される。

Ｈ―23号住居跡（Fig.20・37、PL.６・13）

位置　Ｘ75、Ｙ113グリッド　**主軸方位**　Ｎ―69°―Ｗ　**形状等**　長軸を東西にもつ長方形。東西3.25m、南北2.27m、最大壁高0.18m　**床面積**　6.3㎡　**床面**　住居中央部が窪む掘り方を有し、地山・Ｃ混土埋め戻して貼床としているが全体的に軟弱である。　**竈**　主軸方位Ｎ―69°―Ｗ。壁を長42㎝、幅62㎝の隅丸方形状に掘り込んで構築される。無袖。燃焼部は住居跡床面とほぼ同じ高さで、奥壁へ向かって緩やかに傾斜する。また、薄く灰層が形成されていた。　**出土遺物**　灰釉椀、須恵器皿・坏・高台坏、羽釜、土師器坏・甕、瓦（軒丸瓦の瓦当部片１点あり）、釘。Fig.37―56は須恵器高台皿、57は外面上半に指頭圧痕をもつ土師器坏で、内面に油煙が付着する。　**備考**　年代は10世紀代と推定される。Ｈ―24号住居跡を切る。

Ｈ―24号住居跡（Fig.20・21・37、PL.６・14）

位置　Ｘ75、Ｙ113グリッド　**主軸方位**　Ｎ―81°―Ｗ　**形状等**　方形。東西2.86m、南北2.92m、最大壁高　0.30m　**床面積**　7.2㎡　**床面**　地山・Ｃ混暗褐色土を埋め戻して貼床としており、全体的に締まっている。　**竈**　主軸方位Ｎ―81°―Ｗ。壁を長91㎝、幅75㎝の半楕円形状に掘り込んで構築される。煙道部幅31㎝。燃焼部は住居跡床面よりわずかにへこみ、煙道部へ向けて緩やかに傾斜し、奥壁は急に立ち上がる。また、底面は被熱による赤化が認められ、燃焼部から煙道部にかけて灰層の堆積が確認された。　**周溝・柱穴等**　東壁と西壁下の一部に周溝が巡る。ピットは４本。Ｐ４は南壁東寄りにあるステップ状の掘り込み。Ｐ３は南西コーナーにあり、規模は61×40㎝、深さ15㎝の掘り込みで貯蔵穴の可能性もある。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏・壺、羽釜片、土師器坏・甕、瓦、こも石２点、不明鉄器１点。土師器坏（Fig.37―62）は外面に指頭圧痕をもつもので、油煙の

付着が著しい。63は台付の小型甕。64は把手付の須恵器壺。瓦には「十」、「キ」の線刻文字をもつ破片がある。　**備考**　年代は10世紀代と推定。H―23号住居跡に切られる。

H―25号住居跡（Fig.19・38、PL.3・13）

位置　X76、Y119グリッド　**主軸方位**　N―80°―W　**形状等**　住居跡の大半が調査区外域にかかる。東西(1.25)m、南北3.93m、最大壁高0.38m　**床面積**　(1.5) m²　**床面**　掘り方はほとんど認められず、地山をそのまま床としており、全体的によく締まっている。北東部に被熱により焼土化する箇所がある。　**周溝等**　深さ3～5㎝。全周か。　**出土遺物**　須恵器坏・高台坏・甕、羽釜、甑、土師器坏・甕、瓦、こも石1点、不明鉄器1点。遺物は北西コーナー付近にまとまって出土している。土師器坏は外面に指頭圧痕をもつ破片、土師器甕はコの字状の口縁片。甑2個体はいずれも下半完存、上半欠損という特徴的な破損状況を示している。　**備考**　年代は10世紀代と推定。埋土上層にAs-Bの堆積が認められる。

H―26号住居跡（Fig.22・38、PL.6・14）

位置　X79、Y116グリッド　**主軸方位**　N―75°―E　**形状等**　方形。東西2.90m、南北2.93m、最大壁高0.28m　**床面積**　7.0m²　**床面**　全体によく締まるが、特に硬質な面はない。　**竈**　主軸方位N―82°―W。南東コーナー。構築材抜き取り痕がそれぞれ対である。右袖部には軟砂岩切石が遺存する。壁、底面は被熱でよく締まるが、特に赤化した部分はない。　**貯蔵穴・柱穴等**　貯蔵穴は、竈右脇にあり、80×55㎝、深さ18㎝。貯蔵穴2は65×55㎝、深さ32㎝で、掘り方調査時に検出。南西隅に床下土坑125×90㎝、深さ18㎝。北東隅を除き周溝が巡る。南北に間仕切り溝。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、土師器甕、瓦。　**備考**　年代は9世紀後半～10世紀を推定。

H―27号住居跡（Fig.8・10・38、PL.7）

位置　X88、Y112グリッド　**主軸方位**　N―88°―W　**形状等**　長方形。東西2.64m、南北3.08m、最大壁高0.25m。東側に東西0.75m、南北2.65m、深さ0.13mの棚状の施設が敷設される。　**床面積**　6.7m²　**床面**　全体に良く締まり、とくに竈前面から住居跡中央にかけて硬質化している。　**竈**　主軸方位N―88°―W。東壁南寄り。壁を長115㎝、幅55㎝の長楕円形状に掘り込んで構築される。煙道は2箇所で段をもつ。左右袖部に軟砂岩切石を据えている。ピットは5本。P2は竈前面の皿状の掘り込み。竈周辺を除き周溝が巡る。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、羽釜、瓦。　**備考**　H―8号住居跡に切られる。年代は9世紀後半～10世紀を推定。

H―28号住居跡（Fig.8・10・38、PL.7）

位置　X88、Y113グリッド　**主軸方位**　N―83°―W　**形状等**　長方形。東西3.10m、南北3.80m、最大壁高0.17m　**床面積**　9.5m²　**床面**　全体によく締まり、とくに竈前面から住居跡中央にかけて硬質化。　**竈**　主軸方位N―83°―W。東壁南寄り。壁を長71㎝、幅86㎝の隅丸方形状に掘り込んで構築される。燃焼部中央に恐らく支脚抜き取り痕、奥壁寄りに軟砂岩切石と板状の自然礫を据えている。　**貯蔵穴・柱穴等**　貯蔵穴は竈右脇、南東コーナーにあり、50×43㎝、深さ10㎝。ピットは3箇所。P3は貯蔵穴の可能がある。床下土坑2箇所。竈周辺を除き、周溝が巡る。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、羽釜、土師器甕、瓦。　**備考**　年代は10世紀後半代を推定。

H―29号住居跡（Fig.18・39）

位置　X87、Y118グリッド　**形状等**　大半がW―1・6号溝、土坑群2に切られて、北東コーナー部分と調査区際の西壁の一部及び竈付近の遺物群が依存するのみである。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏、羽釜、瓦。**備考**　灰釉椀の年代からみて10世紀前半代を推定。

H―30号住居跡（Fig.13、PL.3）

位置　X87、Y118グリッド　**主軸方位**　N―83°―W　**形状等**　長方形。東西2.18m、南北(1.88)m、最大壁高0.08m　**床面積**　(3.2) m²　**床面**　よく締まるがとくに硬質部はない。　**竈**　H―7号住居跡に破壊か。　**貯蔵穴・柱穴等**　貯蔵穴は南東コーナー。65×53㎝、深さ20㎝。ピットは6本。　**備考**　遺物は小細片のみ。年代不明。

Ｈ―31号住居跡（Fig.14、PL.３）

位置　Ｘ84、Ｙ113グリッド　**主軸方位**　Ｎ―89°―Ｗ　**形状等**　長方形。東西1.60m、南北2.32m、最大壁高0.16m　**床面積**　3.9m²　**床面**　よく締まる。　**竈**　Ｈ―11号住居跡に破壊。　**貯蔵穴**　南東コーナー。67×56㎝、深さ15㎝。　**備考**　遺物は小細片のみ。年代不明。

⑵　溝　　跡

Ｗ―１号溝跡（Fig.23、PL.７）

位置　Ｘ87、Ｙ116～118グリッド　**走向方向**　Ｎ―６°―Ｅ　**断面形状**　箱型～Ｕ字形。　**形状等**　現長7.8m、上幅1.05～2.34m、下幅0.7～1.75m。南に向って溝底面のレベルを下げ、それにともなって、上幅･下幅も広がっている。　**重複**　Ｈ―５号住居跡を切る。　**出土遺物**　須恵器等。　**備考**　As-B を主体とする埋土。

Ｗ―２号溝跡（Fig.23）

位置　Ｘ79・80、Ｙ114グリッド　**走向方向**　Ｎ―87°―Ｗ　**断面形状**　Ｕ字形。　**形状等**　現長5.0m、上幅0.15～0.5m、下幅0.10～0.38m、深さ0.10m。溝底面のレベル差はほとんどない。　**重複**　Ｗ―３号溝、Ｈ―21号住居跡と重複するが、新旧不明。Ｗ―３号溝とは一連の溝と思われる。　**出土遺物**　なし。　**備考**　As-B を主体とする埋土。

Ｗ―３号溝跡（Fig.23、PL.７）

位置　Ｘ79、Ｙ114～118グリッド　**走向方向**　Ｎ―５°―Ｅ　**断面形状**　Ｕ字形。　**形状等**　現長17.3m、上幅0.65～0.76m、下幅0.45～0.53m。溝底面は北から南へ下り、比高差は20㎝を測る。　**重複**　Ｈ―17･18号住居跡、Ｗ―５号溝跡を切る。　**出土遺物**　須恵器等混入遺物。　**備考**　As-B を主体とする埋土。

Ｗ―４号溝跡（Fig.５）

位置　Ｘ75、Ｙ115グリッド　**走向方向**　Ｎ―89°―Ｅ　**断面形状**　Ｕ字形。　**形状等**　№16遺跡から連続する溝跡の一部で、上端0.80m、下幅0.49m、深さ0.20m。　**重複・出土遺物**　なし。　**備考**　Ｗ―５号溝跡と同じ遺構か。

Ｗ―５号溝跡（Fig.23、PL.７）

位置　Ｘ78・79、Ｙ115グリッド　**走向方向**　Ｎ―85°―Ｗ　**断面形状**　Ｕ字形。　**形状等**　現長4.2m、上幅0.45～0.85m、下幅0.38～0.49m、深さ0.17m。溝底面は比高差15㎝で東に向って下る。　**重複**　Ｈ―17号住居跡の床下に検出され、Ｗ―３号溝とＤ―35号土坑に切られている。　**出土遺物**　須恵器等。　**備考**　As-C 混土。

Ｗ―６号溝跡（Fig.23、PL.７）

位置　Ｘ87～89、Ｙ118グリッド　**走向方向**　Ｎ―82°―Ｗ　**断面形状**　Ｕ字形。　**形状等**　現長6.4m、上幅0.55m、下幅0.29m、深さ0.20m。溝底面のレベル差はほとんどない。　**重複**　Ｈ―29号住居跡、Ｄ―52・53号土坑を切る。　**出土遺物**　なし。　**備考**　As-B を主体とする埋土。Ｗ―１号溝跡との切り合い不明。

⑶　土　　坑（Fig.24～29・39、PL.７・８・14）

現地調査で、土坑番号を付した遺構は97基あるが、Ｂ区の２基（Ｄ―23・24）は№16遺跡で報告しており、Ｄ―69は没遺構としたため、総数94基となった。このうち、Ｄ―51・55・73・88・94の４基は竪穴住居跡の貯蔵穴と判断した。Ｄ―71はＨ―５号住居跡の竈前面のピットと思われる土坑である。これらの遺構は住居跡に図示して、個別には取り上げていない。住居跡床下検出の土坑は住居跡内に図示した上、個別に図示した。

埋土から見ると、As-C 混土の土坑（Fig.24・25のＤ―86まで）と As-B 混土（Fig.25のＤ―12以下）に分類される。形状は長方形・方形・円形である。Ｃ混土の土坑は、住居跡床下のものは大半が円形であるが、単独のものでは長方形が多い。Ｄ―４・15・19・35・36・37・70などで、Ｄ―19は舟形状を呈し、Ｄ―15は長軸3.78mと規模が大きい。Ｄ―85はＩ―４号井戸跡上面に構築された竪穴状の土坑である。土坑群１（Ｄ―74～84）は円形土坑の重複である。出土遺物は、Ｄ―19で灰釉椀・須恵器高台坏の完形品が出土して注目される。９世紀末～10

世紀前半の灰釉と思われる（Fig.39―85•86）。D―85では須恵器坏•高台坏、羽釜、瓦などが出土している（Fig.39―91・92）。土坑群からは、須恵器坏・高台坏などが出土している（Fig.39―88）。

B混土の土坑では、長方形の土坑がA区では南西部に、円形は対称的に北東部に比較的にまとまっている。D―12•14は規模が大きく、特にD―14は、柱穴をもつ上屋構造で、底面に炭化したムシロ敷きが検出されるなど、地下式倉庫の可能性が強い。土坑群２（D―52・53・56・59～67）は、W―１・６号溝跡と重複する土坑群で、遺構間の新旧は必ずしも明確ではない。D―53・56・61・62はAs-Bを顕著に含まない。D―61・62はH―29号住居跡の床下土坑である。出土遺物には古代の遺物の混入もあるが、D―14からは青磁細片、渥美系甕片、かわらけ片、D―40からは龍泉窯系の舶載青磁片（Fig.39―93）が出土している。

⑷ 土 壙 墓（Fig.29、PL.８）

W―６号溝跡上面構築のDB―１は石組み、B区のDB―２は大石を据え、いずれも木炭の分布が顕著で、焼骨微細片が含まれる。D―５からは４枚の古銭が銹着した状態で出土しており、土壙墓と考えられる。

⑸ 井 戸 跡

Ⅰ―１号井戸跡（Fig.30・39、PL.８・14）

位置　X83、Y114グリッド　**形状**　円形。断面漏斗状。上幅4.53×4.35m、直掘り部径2.0m、深さ（3.6）m。**出土遺物**　青磁細片、常滑系大甕片、古銭（元豊通宝）のほか、古代遺物混入。　**備考**　AS-B主体の埋土。足掛けあり。

Ⅰ―２号井戸跡（Fig.30）

位置　X82、Y116グリッド　**形状**　円形。上幅1.10×0.72m、深さ（2.7）m。　**備考**　AS-B主体の埋土。

Ⅰ―３号井戸跡（Fig.30、PL.９）

位置　X80、Y118グリッド　**形状**　円形。断面漏斗状。上幅3.85×3.50m、直掘り部径1.87m、深さ(3.30)m。**出土遺物**　須恵器蓋・坏・高盤・瓶・甕、土師器暗文坏・坏・甕、磨石１点、凹石１点、鉄滓１点。平安期以降の遺物は少量。X―１号跡と接合するものがある。　**備考**　As-C混土主体。

Ⅰ―４号井戸跡（Fig.31・41～45、PL.９・15～17）

位置　X88、Y115グリッド　**形状等**　上幅2.80×2.60m、下幅2.50×2.44m、深さ0.48mの隅丸方形状の掘り方中央に、径1.0mの井戸本体が直掘りされる。掘り方と井戸本体との境は部分的に面取りされ、瓦積みはこの上に行われている。瓦積みは、遺存の良い北側で見ると12枚前後、高さ約50cmを測る。南側や東側では遺存が悪く、とくに東側では瓦はほとんど残っていない。　**出土遺物**　灰釉片、須恵器坏・高台坏・羽釜、土師器甕、瓦。瓦は軒丸瓦７点、軒先瓦１点、男瓦部44点、平瓦240点（凸面格子叩き８点、縄叩き・回転162点、平行叩き９点、ナデ調整67点、ほかに小細片）。このうち、丸瓦に押印１点、平瓦に５点の線刻文字の「？舎」「十」（２点）「里」「？刄」がある。　**備考**　As-C混土主体。

⑹ そ の 他

X―１号跡（Fig.32・40・41、PL.９・10・14）

位置　X79～84、Y115～119グリッド　**形状等**　東西17.2m、南北（15.0）mの範囲を、ローム上面まで掘り込んだ遺構で、最大壁高は北壁にあって0.48mを計る。西側や北東側には平面不整形ないし長方形で、断面皿状の浅い掘り込みや、ピット状の落ち込みが40ヶ所ほどあるが、いずれも10cm内外の浅いもので、並びも不規則である。中央北寄りに、Ⅰ―２号井戸跡に過半が破壊された礫群がある。　**出土遺物**　須恵器蓋・坏・高台坏・盤・長頸瓶•甕、土師器暗文坏•有稜坏、甕など８世紀代の遺物が主体を占め、平安期以降の遺物はわずかである。　**備考**　遺構の性格不明。採土跡の可能性もあるか。

Ⅵ　ま と め

今回の調査では、奈良・平安時代・中近世に亘る遺構を確認した。この中で主体を占めるのは、平安時代の遺構であり、ついで中世である。遺物をみると、縄文時代では中期後半の土器片が主体を占め、前期後半が若干含まれる。この他、打製石斧片が採取されている。量的にはわずかであり、摩滅しているものが多い。遺物の主体も奈良・平安時代であり、中世では遺構数に比して遺物の量はわずかであるが、龍泉系や同安系の舶載青磁の出土は注目される。

本遺跡の奈良・平安時代の遺構を、元総社蒼海遺跡群における従来の時期区分に従って分類すると、Ⅱ期（７世紀後半～10世紀初頭）とⅢ期（10世紀前半～）である。Ⅱ期の遺構は、性格不明のＸ－１号跡とＩ－３号井戸跡であり、概ね８世紀代に位置づけられる。この両遺構出土の遺物構成はほぼ同様で、かつ接合関係をもち、同一個体と思われる遺物はさらに多い。遺構の性格が異なるため、同時共存とまでは言えないが、埋土の状況から見て、近接した時期が推定される。

ここで、今回同時並行で調査を行った元総社蒼海遺跡群（15）・（16）の成果を合わせ、若干の検討を行ってまとめとしたい。元総社蒼海遺跡群（18）の31軒の竪穴住居跡は、時期不明を除けば、概ねⅢ期に属し、隣接する蒼海遺跡群（15）・（16）のように、Ⅰ期あるいはⅡ期の住居跡の分布を見ない。この点からみると、（15）Ａ区から（18）Ａ・Ｂ区にかけて分布する住居跡群がⅢ期住居跡群の一つの中心部を形成していることが予想される。一方、（16）では、中央部に住居跡分布の空白地区があり、この西側にⅢ期の住居跡の分布が見られるようになる。この西側の地区が、もう一つの住居跡群を形成するのか、あるいは空白地区を巡って蒼海遺跡群（15）・（16）・（18）のⅢ期住居跡群が展開するのかは、今回得られた資料だけでは即断できない。いずれにしろ集落の動態を考えるうえでは、このⅢ期の細分が課題となるように思われる。

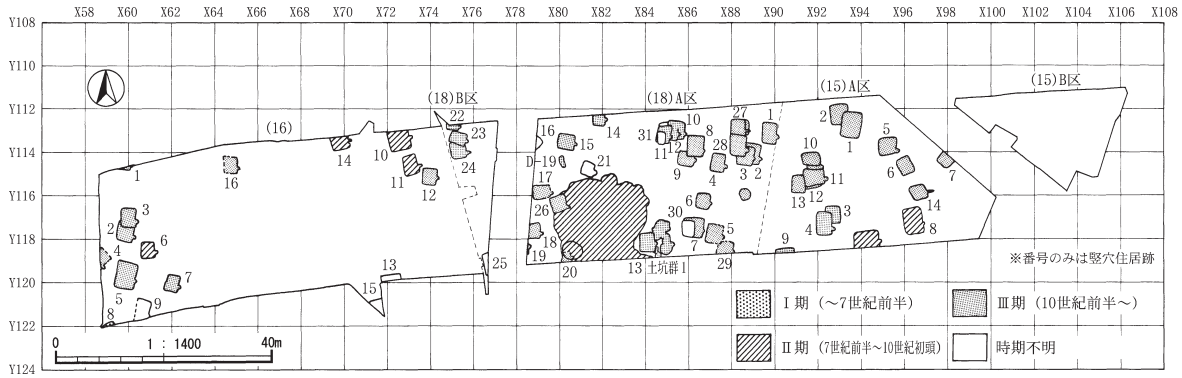


Fig. 6　元総社蒼海遺跡群（15）・（16）・（18）の竪穴住居跡時期別分布図

参考文献

前橋市埋蔵文化財発掘調査団『元総社小見遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2001年

前橋市埋蔵文化財発掘調査団『元総社小見Ⅲ遺跡　元総社草作Ⅴ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2003年

前橋市埋蔵文化財発掘調査団『元総社小見Ⅳ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2003年

前橋市埋蔵文化財発掘調査団『元総社小見内Ⅶ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2004年

前橋市埋蔵文化財発掘調査団『元総社小見内Ⅸ遺跡　総社閑泉明神北Ⅴ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団2005年

前橋市埋蔵文化財発掘調査団『元総社蒼海遺跡群（4）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2006年

前橋市埋蔵文化財発掘調査団『元総社蒼海遺跡群（5）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2006年

前橋市埋蔵文化財発掘調査団『元総社蒼海遺跡群（15）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2008年２月刊行予定

前橋市埋蔵文化財発掘調査団『元総社蒼海遺跡群（16）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2008年２月刊行予定

Tab. 2　竪穴住居跡一覧表

（　）現状値

遺構名	位　置	平面形	規模(m)		壁高	床面積	主軸方位	施　設				出土遺物・備考
			東西径	南北径	(m)	(㎡)		竈	ピット	貯蔵穴	周溝	
H-1	X89-Y112	長方形	2.67	3.9	0.16	9.0	N-86°-W	東壁南寄り	5	南東コーナー	—	灰釉瓶、坏、甕、羽釜、瓦
H-2	X89-Y114	長方形	(2.83)	3.85	0.31	(4.7)	N-83°-W	東壁南寄り	1	南東コーナー	—	坏、甕、羽釜
H-3	X88-Y114	長方形	3.80	3.45	0.32	(6.9)	N-83°-W	東壁南寄り	5	—	—	灰釉、甕、坏、羽釜、瓦
H-4	X87-Y114	長方形	2.43	3.37	0.12	7.9	N-82°-W	東壁南寄り	2	—	—	灰釉、坏、羽釜、硯？(小片)
H-5	X87-Y117	長方形	(1.87)	3.63	0.37	(5.6)	N-82°-W	W-1と重複	3	W-1と重複	一部	灰釉、坏、羽釜、瓦
H-6	X86-Y116	長方形	2.46	2.77	0.15	6.3	N-84°-W	東壁南寄り	3	南東コーナー	—	灰釉、坏、羽釜、瓦
H-7	X86-Y117	長方形	4.16	3.82	0.14	(7.1)	N-83°-W	東壁南寄り	7	—	—	灰釉、坏、羽釜、瓦、銅鋺
H-8	X86-Y113	長方形	3.04	3.95	0.10	11.3	N-87°-W	東壁南寄り	—	—	—	遺物はほとんどない
H-9	X85-Y114	方　形	2.97	2.72	0.12	7.3	N-82°-W	東壁中央	—	—	—	灰釉、坏、羽釜、瓦
H-10	X85-Y113	長方形	2.83	3.33	0.15	(8.4)	N-85°-W	東壁南寄り	2	南東コーナー	—	坏、羽釜、瓦
H-11	X84-Y113	長方形	2.62	3.32	0.15	(4.1)	N-78°-W	東壁南寄り	5	南東コーナー	—	坏、羽釜、瓦
H-12	X85-Y113	?	(1.45)	?	0.10	?	N-83°-W	東壁中央？	—	南東コーナー	—	坏、羽釜、瓦
H-13	X84-Y118	長方形	2.78	3.55	0.19	8.9	N-87°-E	東壁南寄り	3	3ヶ所	一部	灰釉、坏、羽釜、甕、瓦、こも石
H-14	X81-Y112	長方形	2.37	(2.26)	0.08	(5.0)	N-89°-W	東壁南寄り	3	—	—	坏、甕脚片、台石
H-15	X80-Y113	長方形	(2.70)	2.86	0.17	(7.5)	N-81°-W	東壁南寄り	1	—	—	灰釉、坏、瓦、こも石、台石
H-16	X78-Y113		(1.80)	(2.45)	0.13	(1.6)	N-50°-W	調査区外？	—	調査区外？	一部	小細片のみ
H-17	X79-Y115	長方形	(2.85)	2.46	0.18	(6.5)	N-89°-E	東壁南寄り	6	W-1と重複	一部	坏、羽釜、瓦、不明鉄器、こも石
H-18	X78-Y117	長方形	(2.43)	2.79	0.28	(5.6)	N-89°-E	東壁南寄り	—	南東コーナー	—	灰釉、坏、羽釜、瓦
H-19	X78-Y118	?	(0.35)	(2.1)	0.30	(0.2)	N-86°-E	東壁南寄り	—	—	—	坏、羽釜、瓦
H-20	X80-Y118	―― カマドのみの検出 ――										坏、瓦
H-21	X81-Y114	方　形	2.50	2.55	0.10	5.0	N-67°-W	?	—	—	—	磨石、煤付着礫
H-22	X75-Y112	?	2.30	(1.30)	0.10	(2.2)	N-89°-W	東壁南寄り	—	南東コーナー	—	灰釉、坏、瓦、鉄器
H-23	X75-Y113	長方形	3.25	2.27	0.18	6.3	N-69°-W	東壁中央	—	—	—	灰釉、坏、甕、瓦、鉄釘？
H-24	X75-Y113	方　形	2.86	2.92	0.30	7.2	N-81°-E	東壁南寄り	3	—	一部	灰釉、瓶、坏、甕、瓦、こも石
H-25	X76-Y119	?	(1.25)	3.93	0.38	(1.5)	N-80°-E	調査区外			一部	坏、甑、羽釜、鉄器、瓦
H-26	X79-Y116	方　形	2.90	2.93	0.28	7.0	N-75°-E	南東コーナー	—	南壁東寄り	一部	灰釉、坏、甕、羽釜、瓦
H-27	X88-Y112	長方形	2.64	3.08	0.25	6.7	N-88°-W	東壁南寄り	5	南東コーナー	全周	灰釉、坏、羽釜、瓦
H-28	X88-Y113	長方形	3.10	3.80	0.17	9.5	N-83°-W	東壁南寄り	3	南東コーナー	全周	灰釉、坏、羽釜、瓦
H-29	X87-Y118	―― W-1・土坑群に大半が破壊される ――										灰釉、坏、瓦
H-30	X86-Y117	長方形	2.18	(1.88)	0.08	(3.2)	N-83°-W	H-7と重複	6	南東コーナー	一部	遺物はほとんどない
H-31	X84-Y113	長方形	1.60	2.32	0.16	3.9	N-89°-W	H-11と重複	—	南東コーナー	—	遺物はほとんどない

Tab. 3　溝跡一覧表

覆土　B：B混土　C：C混土

遺構名	位　置	規　模（m）			走 向 方 位	断面形	覆土	溝底標高	遺 物 ・ 備 考
		上幅	下幅	深					
W-1	X87-Y116～118	2.34	1.75	0.58	N-6°-W	箱形	B	121.81	土坑群と重複　須恵器等混入遺物
W-2	X79・80-Y114	0.50	0.38	0.10	N-87°-W	U字	B	122.01～122.06	土坑群と重複　遺物なし
W-3	X79-Y114～118	0.76	0.53	0.31	N-5°-E	U字	B	121.83～122.02	北から南へ下る　須恵器等混入遺物
W-4	X75-Y115	0.80	0.55	0.20	N-89°-E	U字	C		№16からの延長部分　遺物なし
W-5	X78・79-Y115	0.80	0.49	0.17	N-85°-W	U字	C	121.86～122.01	東へ下る　須恵器等
W-6	X87～89-Y118	0.55	0.29	0.20	N-82°-W	U字	B	121.90～121.94	遺物なし

Tab. 4　土坑・墓坑・井戸一覧表

[　]：復元値　（　）：現状値　　埋土　B：B混土　C：C混土

遺構名	位　置	平面形	規　模（m）			覆土	備　考	遺構名	位　置	平面形	規　模（m）			覆土	備　考
			上　幅	下　幅	深						上　幅	下　幅	深		
D-1	X89-Y112	円　形	0.62×0.57	0.48×0.38	0.17	B		D-25	X80-Y118	円　形	0.87	0.79	0.16	B	I-3西壁
D-2	X88-Y113	円　形	1.02	0.89	0.13	B	H-28覆土中	D-26	X83-Y116	長方形	2.45×0.75	2.28×0.62	0.27	B	
D-3	X87-Y113	円　形	1.13	1.0×0.87	0.07	B	H-28西壁	D-27	X83-Y116	長方形	2.53×0.79	2.41×0.65	0.12	B	
D-4	X86-Y116	長方形	1.91×0.93	1.81×0.81	0.11	C	灰釉、羽釜	D-28	X84-Y113	円　形	0.79	0.68	0.14	B	
D-5	X88-Y118	長方形	1.06×0.67	0.93×0.51	0.21	C	古銭	D-29	X84-Y114	円　形	1.07×0.97	0.96×0.84	0.34	B	
D-6	X88-Y118	円　形	0.85×0.77	0.75×0.69	0.22	B		D-30	X75-Y112	長方形	(3.56)×1.46	(3.55)×3.46	0.17	B？	H-23覆土中
D-7	X87-Y116	円　形	1.11	0.98	0.34	B		D-31	X83-Y113	楕円形	(1.53)×0.98	(1.45)×0.80	0.22	B	D-14南壁
D-8	X87-Y116	長方形	1.20×0.66	1.02×0.54	0.11	B		D-32	X83-Y115	溝　状	2.77×0.72	2.65×0.52	0.07	B	
D-9	X86-Y117	長方形	0.76×0.56	0.63×0.46	0.16	C	高台椀	D-33	X80-Y114	楕円形	1.16×0.97	0.97×0.73	0.22	B	
D-10	X85-Y116	円　形	0.70×0.63	0.37×0.30	0.19	C		D-34	X80-Y113	楕円形	1.33×1.02	1.24×0.81	0.35	C	瓦
D-11	X85-Y115	円　形	0.97×0.92	0.86×0.81	0.17	B		D-35	X79-Y115	長方形	〔1.75〕×0.95	〔1.65〕×0.87	0.16	C	
D-12	X85-Y115	長方形	2.58×1.68	2.50×1.54	0.20	B		D-36	X80-Y115	長方形	1.33×0.78	1.21×0.54	0.18	C	
D-13	X84-Y113	円　形	0.75	0.66	0.07	B		D-37	X83-Y113	長方形	1.08×0.58	1.01×0.51	0.10	C	
D-14	X83-Y112	長方形	2.88×2.53	2.78×2.39	0.50	B	陶器、かわらけ	D-38	X84-Y118	円　形	0.76×0.70	0.67×0.57	0.10	B	H-13覆土中
D-15	X82-Y113	長方形	3.78×1.34	3.67×1.17	0.28	C		D-39	X83-Y112	長方形	(1.08)×0.65	(1.03)×0.49	0.10	B	
D-16	X83-Y116	長方形	2.51×(0.98)	2.42×(0.91)	0.25	B		D-40	X87-Y112	円　形	0.93	0.85	0.08	B	青磁
D-17	X83-Y116	長方形	3.45×1.20	3.31×1.10	0.22	B		D-41	X87-Y112	楕円形	0.81×0.66	0.72×0.55	0.05	B	
D-18	×80-Y115	楕円形	0.50×0.40	0.45×0.28	0.05	B	炭を貼る	D-42	X87-Y117	楕円形	1.67×1.38	1.54×1.24	0.10	B	
D-19	X80-Y114	舟　形	2.09×0.85	1.93×0.72	0.23	C	灰釉椀、高台坏	D-43	X82-Y117	長方形	1.46×0.80	1.41×0.68	0.05	B	
D-20	X79-Y116	長方形	2.8×0.9	2.63×0.77	0.20	B	H-17南壁	D-44	X81-Y116	溝　状	1.77×0.35	1.67×0.26	0.15	B	
D-21	X78-Y117	長方形	1.83×0.77	1.71×0.6	0.15	B	H-18覆土中	D-45	X82-Y116	方　形	0.73	0.62	0.06	B	
D-22	X76-Y114	長方形	0.75×0.65	0.61×0.48	0.04	?		D-46	X88-Y112	方　形	1.10×0.97	0.97×0.84	0.14	C	
D-23	欠番							D-47	X87-Y114	円　形	0.95×0.77	0.55×0.48	0.23	C	H-4床面
D-24	欠番							D-48	X86-Y114	円　形	1.13×0.96	0.52×0.41	0.27	C	H-4床面

遺構名	位　置	平面形	規　模（m）			覆土	備　　考	遺構名	位　置	平面形	規　模（m）			覆土	備　　考
			上　幅	下　幅	深						上　幅	下　幅	深		
D-49	X89-Y113	楕円形	0.50×0.41	0.39×0.32	0.17	C	H-１床面	D-77	X85-Y118	楕円形	1.65×1.31	1.39×0.95	0.41	C	土坑群１
D-50	X89-Y113	円　形	0.61×0.57	0.48×0.41	0.20	C	H-１床面	D-78	X84-Y118	楕円形	1.91×1.15	1.35×0.81	0.22	C	土坑群１
D-51	X89-Y113	楕円形	0.85×0.63	0.73×0.45	0.20	C	H-１貯蔵穴	D-79	X84-Y117	楕円形	(1.20)×1.48	(1.05)×1.20	0.40	C	土坑群１
D-52	X88-Y118	長方形	(0.44)×0.63	(0.38)×0.52	0.05	B	W-６と重複	D-80	X84-Y117	楕円形	0.88×0.60	0.36×0.27	0.15	C	土坑群１
D-53	X88-Y118	楕円形	1.20×(0.55)	1.07×(0.48)	0.21	C	W-６と重複	D-81	X84-Y117	楕円形	(0.38)×1.38	(0.38)×0.70	0.22	C	土坑群１
D-54	X88-Y114	円　形	0.69	0.42×0.30	0.17	C	H-28床面	D-82	X85-Y117	円　形	0.46×0.37	0.29	0.37	C	坏
D-55	X88-Y114	円　形	0.53×0.42	0.35×0.28	0.24	C	H-28貯蔵穴	D-83	X84-Y117	楕円形	(1.05)×0.89	0.74×0.50	0.40	C	坏
D-56	X87-Y118	長方形	2.26×0.79	2.06×0.60	0.24	C	W-1と重複	D-84	X84-Y117	楕円形	1.34×0.90	0.91×(0.4)	0.40	C	坏
D-57	X88-Y113	円　形	0.98	0.70	0.16	C	H-28のP_4	D-85	X88-Y115	方　形	2.72×2.6	2.5×2.34	0.10	C	坏、羽釜
D-58	X88-Y113	円　形	0.91	0.73×0.55	0.18	C	青磁混入	D-86	X84-Y118	楕円形	1.21×0.76	1.01×0.57	0.07	C	H-13床下
D-59	X88-Y118	長方形	2.13×0.46	1.96×0.31	0.20	B	W-６と重複	D-87	X88-Y114	楕円形	1.09×0.61	0.91×0.35	0.12	C	H-３床面
D-60	X88-X118	長方形	1.08×(0.41)	0.86×(0.28)	0.34	B	土坑群２	D-88	X86-Y117	楕円形	0.65×0.53	0.34×0.29	0.20	C	H-30貯蔵穴
D-61	X87-Y118	楕円形	1.20×0.92	0.80×0.56	0.46	C	H-29床面	D-89	X86-Y117	長方形	1.30×0.90	1.07×0.68	0.28	B	H-７覆土中
D-62	X87-Y118	楕円形	0.98×0.76	0.53×0.38	0.30	C	瓦	D-90	X86-Y117	長方形	1.06×0.62	0.90×0.50	0.20	B	H-７覆土中
D-63	X87-Y117	楕円形	(1.1)×0.44	0.76×0.22	0.49		土坑群２	D-91	X85-Y117	楕円形	0.80×0.62	0.64×0.47	0.14	C	H-30床面
D-64	X87-Y117	楕円形	2.65×0.62	1.91×0.30	0.48		土坑群２	D-92	X85-Y114	円　形	1.02	0.82	0.26	C	H-９床下
D-65	X87-Y117	楕円形	0.91×0.57	0.55×0.39	0.40		土坑群２	D-93	X88-Y114	楕円形	(0.48)×0.30	(0.40)×0.18	0.10	C？	H-２床面
D-66	X87-Y118	楕円形	0.85×0.64	0.54×0.36	0.33		土坑群２	D-94	X89-Y114	長方形	0.70×0.54	0.50×0.37	0.10	C	H-２貯蔵穴
D-67	X87-Y118	円　形	0.44	0.27	0.46		土坑群２	D-95	X75-Y112	円形？	0.98×(0.48)	0.90×(0.42)	0.07	B？	
D-68	X85-Y116	円　形	0.78×0.55	0.53×0.38	0.10	C		D-96	X75-Y113	円　形	0.75-0.72	0.60×0.53	0.20	C？	
D-69	欠番							D-97	X76-Y114	円　形	1.0×0.94	0.83×0.78	0.24	B？	
D-70	X84-Y116	長方形	1.03×0.70	0.87×0.56	0.10	C		DB-1	X88-Y118	長方形	1.07×0.52			B？	石組み
D-71	X87-Y117	楕円形	0.80×0.67	0.60×0.44	0.11	C	H-５のP_1	DB-2	X76-Y113	長方形	120×0.77	0.99×0.64	0.15	B？	
D-72	X88-Y116	長方形	0.77×0.66	0.62×0.52	0.11	C	Ｉ-４の南	Ｉ-１	X83-Y114	円　形	4.53×4.35	(1.77×1.69)	(3.6)	B	漏斗状、古銭
D-73	X86-Y116	楕円形	0.77×0.53	0.55×0.43	0.20	C	H-６貯蔵穴	Ｉ-２	X82-Y116	円　形	1.1×0.72	(1.70×1.34)	(2.7)	B	
D-74	X84-Y118	楕円形	(1.0)×1.0	(0.8)×0.73	0.25	C	土坑群１	Ｉ-３	X80-Y118	円　形	3.85×3.5	(1.87×1.82)	(3.3)	C	遺物多い
D-75	X84-Y118	楕円形	1.33×1.08	1.07×0.84	0.17	C	土坑群１	Ｉ-４	X88-Y115	円　形	2.80×2.60	(0.90×0.8)	(3.1)	C	瓦積み
D-76	X84-Y118	楕円形	(0.67)×0.55	(0.51)×0.31	0.22	C	土坑群１	X-１	X79～84-Y115～119		17.2×(15.0)	16.8×(14.8)	0.48	C	遺物多い

Tab. 5　ピット一覧表

遺構名	位置	平面形	深(cm)	底面標高	覆土	遺物・備考	遺構名	位置	平面形	深(cm)	底面標高	覆土	遺物・備考
P-１	X87-Y117	円	14	122.11	B	土坑群２	P-42	X87-Y113	円	14	122.14	B	
P-２	X89-Y114	円	14	122.33	B		P-43	X87-Y113	円	27	122.03	B	
P-３	X89-Y114	円	31	122.20	B		P-44	X87-Y113	円	23	122.08	B	
P-４	X88-Y114	楕円	26	122.19	B		P-45	X87-Y113	円	13	122.16	B	
P-５	X89-Y114	円	17	122.39	B		P-46	X87-Y113	円	7	122.19	B	
P-６	X89-Y111	円	25	122.31	B		P-47	X86-Y114	円	17	122.11	C	
P-７	X89-Y112	円	6	122.50	B		P-48	X86-Y114	円	14	122.14	C	
P-８	X89-Y112	円	7	122.42	B		P-49	X86-Y114	円	13	122.15	C	
P-９	X88-Y112	円	9	122.44	B		P-50	X86-Y114	円	23	122.06	B	
P-10	X88-Y112	円	8	122.44	C		P-51	X86-Y114	楕円	15	122.15	B	
P-11	X88-Y112	円	16	122.37	B		P-52	X86-Y114	円	15	122.15	B	
P-12	X89-Y112	円	27	122.26	B		P-53	X86-Y114	円	41	121.87	B	ピット２本
P-13	X88-Y113	円	31	122.23	B		P-54	X87-Y114	円	12	122.14	B	
P-14	X88-Y113	楕円	?	?	B	H-２内	P-55	X87-Y114	円	4	122.19	B	H-４内
P-15	X88-Y113	円	35	122.14	B	H-27内	P-56	X87-Y114	円	27	121.95	B	H-４内
P-16	X88-Y113	円	8	122.13	B	H-28内、下にP-82	P-57	X87-Y114	円	10	122.12	B	H-４内
P-17	X88-Y113	円	24	122.21	B	H-28内、下にP-80	P-58	X87-Y114	円	30	121.90	B	H-４内
P-18	X88-Y113	円	8	122.11	B	H-28内、下にP-85	P-59	X87-Y114	円	12	122.08	B	H-４内
P-19	X88-Y113	円	13	122.25	C	H-28のP_3	P-60	X87-Y114	円	28	121.95	B	H-４内
P-20	X87-Y114	円	21	122.12	B		P-61	X87-Y114	円	10	122.13	B	
P-21	X88-Y114	円	29	122.09	B		P-62	X89-Y112	円	7	122.39	C	H-１のP_2
P-22	X87-Y114	円	14	122.21	B		P-63	X89-Y112	円	9	122.37	C	H-１のP_1
P-23	X87-Y114	円	37	122.00	B		P-64	X89-Y113	円	4	122.37	C	H-１のP_3
P-24	X87-Y112	楕円	7	122.40	B		P-65	X89-Y113	円	23	122.18	B	H-１内
P-25	X87-Y112	楕円	4	122.38	B		P-66	X89-Y113	円	14	122.36	B	H-１内
P-26	X87-Y112	円	9	122.30	B		P-67	X89-Y113	円	6	122.36	C	H-１のP_5
P-27	X87-Y112	楕円	6	122.34	B		P-68	X89-Y113	楕円	14	122.28	C	H-１のP_4
P-28	X86-Y112	円	8	122.29	B		P-69	X86-Y118	円	11	122.02	B	
P-29	X86-Y112	円	9	122.28	B		P-70	X86-Y118	円	13	121.97	C	
P-30	X86-Y112	円	8	122.28	B		P-71	X85-Y118	円	20	121.83	B	
P-31	X87-Y112	円	10	122.26	B		P-72	X85-Y118	円	36	121.78	B	
P-32	X87-Y113	円	18	122.17	B		P-73	X85-Y117	円	12	122.02	C	H-30のP_6
P-33	X86-Y113	円	27	122.08	B		P-74	X85-Y117	楕円	11	122.04	C	
P-34	X87-Y113	円	22	122.11	B		P-75	X88-Y112	楕円	10	122.14	C	H-27のP_1
P-35	X87-Y113	円	9	122.23	B		P-76	X88-Y112	円	3	122.21	C	H-27のP_2
P-36	X87-Y113	円	19	122.08	B		P-77	X88-Y113	楕円	3	122.20	C	H-27のP_3
P-37	X87-Y113	円	26	122.08	B		P-78	X88-Y113	円	9	122.14	B	
P-38	X87-Y113	円	29	122.09	B		P-79	X88-Y112	円	4	122.20	B	
P-39	X87-Y113	円	7	122.32	B		P-80	X88-Y113	円	1	122.19	B	H-28内、P-17の下
P-40	X87-Y113	円	24	122.13	B		P-81	X87-Y113	円		122.03	B	H-28西壁
P-41	X86-Y113	円	16	122.11	B		P-82	X88-Y113	円	9	122.13	B	H-28内、P-16の下

遺構名	位置	平面形	深(cm)	底面標高	覆土	遺物・備考	遺構名	位置	平面形	深(cm)	底面標高	覆土	遺物・備考
P-83	X88-Y113	円	4	122.18	C	H-28のP$_1$	P-152	X85-Y115	円	9	122.09	B	
P-84	X88-Y113	円	11	122.09	B	H-28内	P-153	X85-Y115	円	15	122.21	B	
P-85	X88-Y113	円	9	122.11	B	H-28内、P-18の下	P-154	X85-Y115	円	9	122.06	B	
P-86	X88-Y113	円	19	121.98	B	H-28内、P-18の下	P-155	X85-Y115	円	10	122.05	B	
P-87	欠番						P-156	X85-Y115	円	22	121.99	B	
P-88	X88-Y114	楕円	23	121.95	B	H-28内	P-157	X84-Y115	円	10	122.12	B	
P-89	X88-Y113	円	29	121.92	C	H-28のP$_2$	P-158	X84-Y115	楕円	10	122.12	B	
P-90	X88-Y112	円	9	122.29	B	H-27内	P-159	X84-Y115	円	6	122.11	B	
P-91	X88-Y112	円	16	122.21	C	H-27のP$_5$	P-160	X84-Y115	円	11	122.07	B	
P-92	X87-Y117	円	30	121.99	B		P-161	X84-Y115	円	5	122.15	B	
P-93	X85-Y116	円	18	122.02	C		P-162	X84-Y115	円	8	122.12	B	
P-94	X85-Y116	円	12	122.04	C		P-163	X84-Y115	楕円	21	122.01	B	
P-95	X85-Y116	円	23	121.93	C		P-164	X84-Y115	楕円	18	122.02	B	
P-96	X85-Y117	円	18	121.97	C		P-165	X84-Y115	方	22	121.98	B	
P-97	X85-Y117	楕円	11	122.04	C		P-166	X84-Y114	円	10	122.18	B	
P-98	X84-Y115	円	8	122.09	B		P-167	X84-Y114	円	11	122.15	C	
P-99	X84-Y116	楕円	4	122.11	B		P-168	X84-Y114	円	20	122.07	B	
P-100	X85-Y116	円	20	121.98	B		P-169	X84-Y114	円	14	122.14	C	
P-101	X85-Y116	円	21	121.90	C		P-170	X84-Y114	円	40	121.88	B	
P-102	X84-Y117	円	8	122.03	C		P-171	X84-Y114	円	11	122.19	C	
P-103	X84-Y116	円	3	122.09	C		P-172	X84-Y114	楕円	12	122.18	C	
P-104	X86-Y117	円	8	121.85	C	H-5のP$_2$	P-173	X84-Y114	方	9	122.21	B	
P-105	X87-Y118	円	7	121.85	C	H-5のP$_3$	P-174	X84-Y114	円	12	122.18	B	
P-106	欠番						P-175	X84-Y114	円	7	122.23	B	
P-107	X86-Y116	円	7	122.05	C	H-6のP$_1$	P-176	X84-Y114	円	18	122.12	B	
P-108	X86-Y116	円	8	122.02	C	H-6のP$_2$	P-177	X85-Y114	円	14	122.16	B	
P-109	X86-Y116	楕円	11	122.01	C	H-6のP$_3$	P-178	X85-Y114	方	27	122.02	B	
P-110	X86-Y116	円	13	122.05	B	H-6内	P-179	X85-Y114	円	16	122.14	B	
P-111	X87-Y114	円	10	122.12	B	H-4のP$_1$	P-180	X85-Y114	円	10	122.20	B	
P-112	X87-Y114	円	27	121.96	C	H-4のP$_2$	P-181	X85-Y114	円	44	121.82	B	
P-113	X87-Y114	円	27	121.93	C	H-4内	P-182	X85-Y114	円	19	122.08	B	
P-114	X88-Y113	円	5	121.14	B	H-3内	P-183	X85-Y114	円	8	122.19	C	
P-115	X88-Y114	円	5	122.12	B	H-3内	P-184	X85-Y114	楕円	46	121.80	B	
P-116	X88-Y113	円	2	122.15	C	H-3のP$_1$	P-185	X85-Y114	円	29	121.95	B	
P-117	X88-Y114	円	7	122.07	C	H-3のP$_2$	P-186	X85-Y114	円	25	121.99	B	
P-118	X88-Y114	円	6	122.07	C	H-3のP$_5$	P-187	X85-Y114	円	24	121.98	B	
P-119	X88-Y114	円	9	122.01	B	H-3内	P-188	X85-Y114	円	9	122.13	B	
P-120	X88-Y114	円	7	122.03	B	H-3内	P-189	X85-Y114	円	10	122.08	B	H-9内
P-121	X88-Y114	円	7	122.05	C	H-3のP$_3$	P-190	X85-Y114	円	15	122.04	B	H-9内
P-122	X88-Y114	円	15	121.98	C	H-3のP$_4$	P-191	X85-Y114	円	27	122.00	B	
P-123	X86-Y117	楕円	7	122.02	C	H-7のP$_1$	P-192	X85-Y114	円	25	122.02	B	
P-124	X86-Y117	円	7	122.03	C	H-7のP$_2$	P-193	X85-Y113	円	10	122.17	B	H-8西壁
P-125	X86-Y117	円	6	122.01	C	H-7のP$_3$	P-194	X85-Y113	円	13	122.18	B	
P-126	X86-Y117	円	11	121.95	C	H-7のP$_6$	P-195	X85-Y113	円	9	122.21	B	
P-127	X86-Y117	楕円	8	122.00	C	H-7のP$_5$	P-196	X85-Y113	円	12	122.21	B	H-12内
P-128	X86-Y117	円	9	121.91	C	H-7のP$_4$	P-197	X85-Y113	円	43	121.82	B	H-11内
P-129	X85-Y117	楕円	13	121.87	C	H-30のP$_1$	P-198	X85-Y113	円	21	122.10	B	H-11内
P-130	X85-Y117	円	9	121.90	C	H-30のP$_2$	P-199	X85-Y112	方	8	122.17	B	H-10内
P-131	X85-Y117	円	12	121.87	C	H-30のP$_3$	P-200	X85-Y112	方	14	122.16	B	H-10内
P-132	X86-Y117	円	9	121.90	C	H-30のP$_4$	P-201	X85-Y112	円	26	122.05	B	
P-133	X85-Y117	円	14	121.85	C	H-30のP$_5$	P-202	X85-Y112	円	4	122.26	B	
P-134	X86-Y117	円	16	121.90	C	H-7のP$_7$	P-203	X85-Y112	方	30	122.00	B	
P-135	X89-Y113	円	11	122.16	C	H-2のP$_1$	P-204	X85-Y112	円	13	122.18	B	
P-136	X86-Y112	円	11	122.25	B		P-205	X85-Y112	円	24	122.08	C	
P-137	X86-Y112	円	8	122.30	B		P-206	X85-Y112	円	28	122.06	C	
P-138	X86-Y112	円	14	122.21	B		P-207	X85-Y112	円	20	122.12	C	
P-139	X86-Y113	円	18	122.13	B		P-208	X85-Y113	円	10	122.22	C	
P-140	X86-Y113	円	13	122.20	B		P-209	X84-Y113	円	30	122.05	B	
P-141	X86-Y113	円	12	122.21	B		P-210	X84-Y113	円	39	121.95	B	
P-142	X86-Y113	円	3	122.19	B	H-8内	P-211	X84-Y112	方	17	122.13	B	
P-143	X86-Y113	円	7	122.13	B	H-8内	P-212	X84-Y112	円	17	122.14	B	
P-144	X86-Y113	円	4	122.15	B	H-8内	P-213	X84-Y112	円	20	122.14	B	
P-145	X86-Y113	円	14	122.06	B	H-8内	P-214	X84-Y112	方	19	122.15	B	
P-146	X86-Y114	円	5	122.12	B	H-9内	P-215	X84-Y112	円	22	122.15	C	
P-147	X86-Y115	円	17	121.92	B	D-12内	P-216	X84-Y112	方	8	122.15	B	H-11北壁
P-148	X86-Y115	円	6	122.03	B	D-12内	P-217	X84-Y112	方	15	122.08	B	
P-149	X86-Y115	円	17	121.94	B	D-12内	P-218	X83-Y112	方	11	122.25	B	
P-150	X85-Y115	方	8	122.01	B	D-12内	P-219	X84-Y112	円	13	122.23	B	
P-151	X85-Y115	円	16	122.02	B		P-220	X83-Y112	円	9	122.27	B	

遺構名	位置	平面形	深(cm)	底面標高	覆土	遺物・備考	遺構名	位置	平面形	深(cm)	底面標高	覆土	遺物・備考
P-221	X83-Y112	方	28	122.02	B	D-39内	P-268	X79-Y115	円	23	121.87	C	
P-222	X83-Y112	円	17	122.34	B		P-269	X80-Y115	方	28	121.78	B	D-36内
P-223	X83-Y113	円	27	121.99	B		P-270	X79-Y116	円	16	121.77	C	D-20内
P-224	X82-Y112	円	17	122.18	B		P-271	X79-Y116	方	29	121.86	B	
P-225	X82-Y112	方	6	122.26	B		P-272	X78-Y116	方	23	121.96	B	
P-226	X82-Y112	円	12	122.21	C		P-273	X79-Y117	円	11	121.95	C	W-3と重複
P-227	X82-Y112	方	4	122.27	C		P-274	X79-Y117	円	41	121.65	C	W-3と重複
P-228	X82-Y112	方	21	122.11	C		P-275	X79-Y117	円	29	121.74	B	
P-229	X82-Y112	円	9	122.21	B		P-276	X79-Y117	円	19	121.81	C	
P-230	X82-Y112	円	28	122.03	B		P-277	X79-Y117	円	13	121.76	C	W-3底面
P-231	X82-Y112	円	7	122.25	B		P-278	X79-Y117	円	10	121.80	B	X-1と重複
P-232	X82-Y112	方	20	122.08	B		P-279	X79-Y118	円	12	121.86	C	
P-233	X82-Y112	方	9	122.19	B		P-280	X79-Y118	円	13	121.86	C	
P-234	X82-Y112	円	3	122.23	B		P-281	X80-Y118	円	16	121.66	C	
P-235	X82-Y113	方	16	122.12	B		P-282	X80-Y118	円	25	121.64	B	
P-236	X81-Y112	円	37	121.94	C		P-283	X80-Y115	円	9	121.82	B	
P-237	X81-Y113	円	24	121.99	B		P-284	X80-Y115	方	3	121.83	B	
P-238	X81-Y113	円	7	122.17	B		P-285	X80-Y115	方	11	121.78	B	
P-239	X81-Y113	円	7	122.15	B		P-286	X80-Y115	方	7	121.80	B	
P-240	X81-Y113	円	24	121.95	B		P-287	X81-Y115	円	11	121.94	B	
P-241	X81-Y113	円	13	122.07	B		P-288	X81-Y115	円	7	121.87	B	
P-242	X81-Y114	円	8	122.10	B		P-289	X83-Y118	円	10	121.70	B	H-13西壁
P-243	X81-Y114	円	3	122.12	C		P-290	X75-Y112	円	6	122.20	B	
P-244	X81-Y114	円	3	122.18	C		P-291	X76-Y112	楕円	14	122.07	B	
P-245	X81-Y114	円	23	121.94	B		P-292	X76-Y112	円	7	122.18	B	
P-246	X81-Y114	円	4	122.14	B		P-293	X76-Y112	円	18	122.03	B	
P-247	X81-Y114	円	9	122.07	B		P-294	X76-Y113	円	9	122.09	B	
P-248	X81-Y114	円	27	121.88	C		P-295	X76-Y113	円	17	122.02	B	
P-249	X81-Y115	方	16	121.45	B		P-296	X76-Y114	円	10	122.12	B	
P-250	X80-Y114	円	13	122.00	B	W-2重複	P-297	X76-Y114	楕円	8	122.18	B	
P-251	X80-Y114	円	9	122.01	B		P-298	X76-Y114	楕円	9	122.20	B	
P-252	X80-Y114	円	20	121.92	C		P-299	X76-Y114	円	17	122.08	B	
P-253	X79-Y113	円	19	121.84	C		P-300	X74-Y114	楕円	18	122.15	B	
P-254	X79-Y113	円	11	121.92	C		P-301	X75-Y114	円	4	122.26	B	
P-255	X79-Y113	円	20	121.83	C		P-302	X75-Y115	方	40	121.87	B	
P-256	X79-Y114	円	18	121.87	C		P-303	X76-Y115	円	24	121.95	B	
P-257	X79-Y114	円	18	121.87	C		P-304	X75-Y116	円	30	121.89	B	
P-258	X79-Y114	方	14	121.92	C		P-305	X75-Y116	円	21	121.97	B	
P-259	X78-Y114	方	12	122.03	B		P-306	X75-Y116	円	17	122.00	B	
P-260	X78-Y114	円	6	122.08	B		P-307	X75-Y116	方	22	121.92	B	
P-261	X78-Y114	円	20	121.94	C		P-308	X76-Y116	方	12	122.05	B	
P-262	X79-Y115	方	40	121.71	B	H-17北壁	P-309	X76-Y116	円	25	121.87	B	
P-263	X79-Y115	円	12	121.91	B		P-310	X76-Y116	円	20	121.97	B	
P-264	X79-Y115	円	21	121.85	B		P-311	X76-Y116	方	16	122.02	B	
P-265	X79-Y115	方	24	121.88	B	D-35内	P-312	X76-Y116	円	16	122.20	B	
P-266	X79-Y115	円	17	121.93	C		P-313	X76-Y116	円	14	122.06	B	
P-267	X79-Y115	円	26	121.84	C								

Tab. 6　出土土器観察表(1)

（　）現存値　［　］復元値

No.	遺構名	種別・器種	遺　存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備　考
1	H-1 床上	灰釉 瓶	口縁欠損	— (9.5) 5.0	轆轤成形。胴部下端に弱い回転削り。底面回転糸切り。厚手で、重量感あり。釉は粗略な潰け掛け	精選 淡灰色	硬　質	淡灰色	下半に煤付着
2	H-1 床上	須恵器 坏	底部完存 口縁2/3 欠損	[12.0] 4.6 5.0	轆轤成形。轆轤目はほとんどない。底径小で、体部は直線的に外反	精選	軟　質 土師質	黒茶褐色 一部茶褐色	
3	H-1 床上	須恵器 高台 坏	口縁欠損 高台完存	— (3.1) 7.6	轆轤成形。轆轤目弱い。回転糸切り後、高台貼付。高台は粗略なつくりで、断面箱形。貼り付け時の撫で以外、ほとんど成形していない	細砂粒 赤色粒 雲母片	良　好 土師質	黄褐色	全体に被熱痕
4	H-1 床上	土師器 甕	上半1/2残	21.2 (12.7) —	口唇部横撫で。頸部外面は横篦撫で。肩部に横削り、胴部は縦削り。内面は横篦撫で。口唇わずかにつまみあがる	細砂粒 角閃石	良　好	暗茶褐色	被熱痕。内外面に煤付着
5	H-2 床上	須恵器 高台 坏	口縁欠損 高台略完存	— (3.8) 6.85	轆轤成形。体部は直線的な立ちあがり。回転糸切り後高台貼付。高台はボテッとして粗略なつくり。全体に厚手のつくり	細砂粒 赤色粒 角閃石	良　好 土師質	灰黄褐色	
6	H-2 床上	土師器 坏	口縁～底部 まで1/5残	[12.2] 4.15 [5.4]	全体に厚手のつくり。平底。体部わずかに内湾、口縁外反。外面下半削り、上半は指押え、口縁・内面横撫で	細砂粒 赤色粒 角閃石	良　好	灰茶褐色	全体に被熱痕 煤付着

Tab. 6　出土土器観察表(2)

（　）現存値　［　］復元値

No.	遺構名	種別・器種	遺存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
7	H-2 貯蔵穴	土師器 甕	上半1/3残	20.95 (11.1) —	コの字状口縁。口縁肥厚する。全体にゆがむ。口唇横撫で、頸部横篦撫で、胸部は斜め削り。内面横篦撫で。外面に粘土紐痕	精選 細砂粒	良　好	茶褐色	
8	H-3 床上	須恵器 高台 坏	体部～口縁 欠損 高台完存	— (2.1) 6.8	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。粗略な高台で接地面の幅も極端に異なる	粗砂粒 赤色粒 小礫	良　好 土師質	淡黄褐色	
9	H-3 床上	須恵器 甕	上半1/5残	[17.8] (10.5) —	轆轤成形。肩の張りは弱い。広口。口縁部はわずかに外湾。口端面は角頭状で平担。全体に丁寧なつくり	精選 細砂粒	良　好 土師質	灰黄褐色	内外面に煤付着
10	H-3 床上	須恵器 羽釜	上半1/4残 下半一部残	[19.1] (22.6) —	轆轤成形。胴～口縁はゆるやかに内湾。鍔は細身のつくり。轆轤成形後、胴下半に斜めの強い篦撫であるいはケズリ	粗砂粒 赤色粒 小礫	良　好 土師質	灰茶褐色	下半は被熱痕 煤付着
11	H-4 床上	須恵器 高台 坏	口縁1/3の み欠損	12.4 4.8 7.5	轆轤成形。足高な高台。体部～口縁は直線的に外反する。回転糸切り後高台貼付	粗砂粒 角閃石多	良　好 土師質	暗黄褐色	被熱痕
12	H-4 床上	須恵器 羽釜	口縁～鍔 1/3残	[20.4] (7.6) —	轆轤成形。口縁内湾する	細砂粒 赤色粒 角閃石	良　好 土師質	灰黄褐色	被熱痕 粘土・煤付着
13	H-5 床面	須恵器 高台 坏	口縁部 欠損	13.1 4.5 6.2	轆轤成形。轆轤目は弱い。体部わずかに内湾し、口縁外反。口縁肥厚。回転糸切り後高台貼付	粗砂粒 赤色粒	良　好 黒　斑 土師質	橙褐色	
14	H-6 床上	灰釉 椀	口縁～体部 欠損 高台完存	— (1.75) 8.4	轆轤成形。三日月高台。高台貼付後、底面回転篦削り。釉は漬け掛けで、体部下端～高台部は無釉。内面に径7.8cmの重ね焼き痕	精選 長石少量 灰色	堅　緻	灰色	他の灰釉に比べ、胎土が暗色
15	H-6 床上	須恵器 坏	完存	12.2 3.5 5.9	轆轤成形。凹底。体部わずかに内湾気味。回転糸切り				
16	H-6 床上	須恵器 高台 坏	高台部欠損	13.5 (4.7) [6.8]	轆轤成形。体部内湾気味に立ち上がり、口縁ゆるやかに外湾。回転糸切り後、高台貼付。口唇肥厚	粗砂粒 小礫	硬　質	灰褐色	
17	H-6 床上	須恵器 高台 坏	口縁一部 欠損	13.5 4.9 6.85	轆轤成形。16と同工のつくり。体部内湾気味、口縁ゆるやかに外湾。回転糸切り後高台貼付。高台は断面台形の粗略なつくり	粗砂粒 赤色粒	良　好 土師質	灰茶褐色	被熱痕 煤付着
18	H-6 床上	土師器 坏	一部欠損	12.4 4.5 5.2	平底。体部わずかに内湾して立ち上がり、口縁部外反。ゆるやかな逆Sの字状を呈す。口縁横撫で、体部上半指押え、下半斜め削り。内面横撫で	粗砂粒 角閃石	良　好	灰茶褐色	被熱痕
19	H-7 床上	灰釉 皿	口縁一部残 体部～高台 1/3残	[12.0] 2.1 6.5	轆轤成形。凸底。体部は直線的に開く。口縁わずかに外反。高台貼付後底面回転篦削り。釉は漬け掛けで、口縁部に施釉	白色粒 黒色粒 淡灰色	堅　緻	淡灰色	
20	H-7 床上	須恵器 坏	体部～口縁 1/6残 高台完存	[10.4] 3.2 5.7	轆轤成形。厚手。体部わずかに内湾、口縁直線的に立ち上がる。底部回転糸切り	粗砂粒 角閃石多	良　好	灰茶褐色	被熱痕
21	H-7 床上	須恵器 高台 椀	口縁欠損 体部～高台 2/3残	— (5.85) 8.1	轆轤成形。内面轆轤目強い。高台貼付後底面回転篦削り。足の高い高台。体部内湾	細砂粒 赤色粗 雲母微片	良　好 土師質	淡橙褐色	
23	H-7 床上	須恵器 羽釜	口縁一部残 胴部1/3残	[23.6] 24.3 [6.7]	轆轤成形。胴部～口縁内湾、口唇部直立気味。口唇部肥厚し、口端面は平担。胴部下半に斜め篦削り。底面は撫でか	粗砂粒 黒色粒 白色粒	硬　質	灰褐色	
24	H-9 竈	須恵器 坏	完存	11.8 3.8 5.7	轆轤成形。全体に器壁厚く、口縁肥厚。平底・体部～口縁直線的に開く	粗砂粒 小礫 角閃石	堅　緻	淡灰 ～黒灰	被熱痕 全体にやや磨滅
25	H-9 床面	須恵器 羽釜	口縁～鍔 ⅕残	[19.6] (8.3) —	轆轤成形。胴部～口縁内湾、口縁やや肥厚し、口端面はやや丸めにおさめる。鍔はやや上向き	粗砂粒 小礫	硬　質	灰黄褐色	被熱痕 鍔下と内面は橙色に変色
26	H-10 床面	須恵器 高台 坏	口縁一部 欠損	13.9 5.5 6.9	轆轤成形。高台貼付後底面回転撫で。高台ハの字に開く。体部内湾気味、口縁は屈曲して外反。口縁肥厚	粗砂粒 黒色粒 小礫	堅　緻	暗青灰色	
27	H-10 竈	土師器 甕	上半1/2	11.8 (12.1) —	口縁ややコの字状を呈する。口縁肥厚。口唇部横撫で。頸部横篦撫で。肩部横削り、胴部縦削り。内面横篦撫で	細砂粒 赤色粒 角閃石	軟　質	暗茶褐色	
28	H-10 床面	須恵器 羽釜	口縁～胴部 1/2 底部欠損	18.65 (23.1) —	轆轤成形。胴部～口縁内湾、口端面平担で、外側に突出する。鍔は華奢なつくり。胴部下半に強弱のある篦撫で、順序・方向は一定しない	細砂粒 赤色粒 小礫	硬　質 黒　斑	灰茶褐色	被熱痕
29	H-12 竈	須恵器 高台 鉢	口縁1/2 高台欠損	[18.5] [6.0] —	一部轆轤使用。貼付高台。底面無調整。底部肥厚体部わずかに内湾、口縁直線的に外傾。口縁轆轤撫で。体部上半指押え、下半削り。内面指撫で	粗砂粒 角閃石 金雲母	堅　緻	灰褐色	
30	H-12 竈	須恵器 坏	口縁1/2 底部完存	12.15 4.5 5.6	轆轤成形。やや深めの器形。体部直線的に外反。口縁屈曲して外反。回転糸切り	精選 細砂粒	軟　質 土師質	灰黄褐色	被熱痕 全体に磨滅

Tab. 6　出土土器観察表(3)

（　）現存値　［　］復元値

No.	遺構名	種別・器種	遺存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
31	H-12 竈	須恵器 羽釜	口縁・鍔 完存 胴部1/2	18.6 (18.8) —	轆轤成形。胴部～口縁内湾。口縁肥高。口端面はMの字状にへこむ。胴部下半に弱い篦撫で	粗砂粒 小礫	堅　緻	灰褐色	被熱による変色部あり
32	H-12 床上	須恵器 羽釜	口縁～胴上 2/3残 胴下一部残	18.5 (19.7) —	轆轤成形。胴部～口縁内湾。全体に厚手で、とくに胴上半へ口縁肥厚。鍔はやや幅広。口端面Mの字状にへこむ。胴部下半に弱い縦篦撫で	粗砂粒 角閃石 小礫	硬　質	灰褐色	外面下半と内面全面被熱で器面荒れる
36	H-11 床上	須恵器 高台 坏	略完存	13.1 5.1 7.0	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。体部内湾気味で、口縁外反	粗砂粒 小礫多	堅　緻	灰褐色	
37	H-11 床上	須恵器 甕	上半1/8残 下半完存	[11.5] 12.5 6.0	轆轤成形。底部回転糸切り。底部肥厚。肩部の張りはない。短頸で、口縁外反。広口の小型甕	精選 細砂粒	硬　質 土師質	灰茶褐色	上半部は被熱で器面荒れる
38	H-13 床面	灰釉 椀	口縁欠損 体部～高台 1/3残	— (3.6) 7.0	轆轤成形。高台貼付後底面回転篦削り。高台はボテッとした断面Uの字状。遺存部に釉は見られない	精選 (灰黄)	堅　緻	灰色	
39	H-13 床上	須恵器 坏	口唇欠損	— (3.4) 5.9	轆轤成形。轆轤目なし。回転糸切り。全体に厚手。体部内湾。中世かわらけに似る	精選 赤色粒 金雲母片	軟　質 黒　斑 土師質	灰黄褐色	住居跡南東コーナー壁外近接出土
40	H-13 床上	須恵器 大甕	底部完存	— (7.1) 15.2	平底。外面上半縦篦撫で、下端は斜め・横篦撫で。内面横篦撫で。外底面篦削り。内底面は周辺のみ篦撫で	粗砂粒 長石	堅　緻	灰褐色	
41	H-13 床面	須恵器 羽釜	口縁～鍔 1/4残	[21.2] (6.3) —	轆轤成形。鍔は貼付。口縁部肥厚。胴部内湾か。口縁部は直線的に内傾、口端面は平担で水平	粗砂粒 赤色粒 角閃石多	硬　質 土師質	灰茶褐色	被熱痕
42	H-14 床面	土師器 坏	口縁～底部 1/2残	12.2 4.5 6.3	やや凸底。全体に器形ゆがみ、器厚もまちまち。体部～口縁はゆるい逆Sの字状。口縁横撫で、体部上半は指押え後横削り。内面横撫で	粗砂粒 赤色粒 角閃石多	良　好 黒　斑	橙褐色	内面に油煙付着
43	H-15 床面	須恵器 高台 坏	口縁のみ一部欠損	13.0 5.1 6.3	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。器形ゆがむ。体部内湾、口縁外反	粗砂粒 赤色粒 破砕礫	硬　質	淡灰色	内面に油煙付着
45	H-17 埋土	須恵器 高台 坏	破片	— (4.3) —	轆轤成形。轆轤目弱い。体部内湾。体部内面に「日天」の線刻文字	粗砂粒 赤色粒 角閃石	硬　質 土師質	赤橙褐色	被熱痕 器面磨耗
46	H-18 壁外	須恵器 高台 坏	完存	13.2 4.8 7.9	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。全体に粗略なつくりで、器形ゆがむ。高台接地面に棒状圧痕。体部～口縁直線的に開く。口唇部肥厚	細砂粒 赤色粒 破砕礫	硬　質	灰黄色～灰色と色むらあり	住居北東コーナーの壁外に検出
47	H-18 竈	須恵器 羽釜	口縁～胴部 1/8残 底部欠損	[18.0] (24.5) —	轆轤成形。鍔は貼付で華奢なつくり。器高があり胴部下半は直線的、上半～口縁内湾。口端面はMの字状で内傾	粗砂粒 赤色粒 小礫	堅　緻 須恵質	青灰色	口唇部に被熱痕
48	H-19 埋土	須恵器 高台 坏	口縁～体部 1/2残 高台完存	14.6 6.1 5.8	轆轤成形。轆轤目弱い。回転糸切り後高台貼付。器高があり椀形状。体部ゆるやかに内湾、口縁わずかに外反	粗砂粒 赤色粒 角閃石多	硬　質	灰黄色～灰色と色むらあり	
49	H-19 竈	須恵器 羽釜	上半1/3残	[18.5] (14.8) —	轆轤成形。鍔は貼付で、厚手。胴部～口縁内湾、胴部最大径はやや下にある。口端面は平担で、ほぼ水平	粗砂粒 小礫	硬　質	灰黄色	被熱痕 内面煤付着
50	H-20 竈	須恵器 高台 坏	高台完存	— (2.6) 6.5	轆轤成形。高台貼付後、底面回転撫で。高台は肉厚、体部内湾	細砂粒 赤色粒 角閃石多	硬　質	黒灰色 断面は黄褐色	
52	H-22 貯蔵穴	須恵器 坏	完存	12.6 4.2 6.3	轆轤成形。轆轤目弱い。右回転糸切り。凹底。体部直線的、口縁わずかに外反	粗砂粒 小礫 破砕礫	硬　質 黒　斑	灰黄色	器面荒れる
53	H-22 竈	須恵器 高台 坏	口縁1/2残 底部一部 欠損	[14.6] [4.7] 6.8	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。口縁ゆがむ。体部直線的、口縁わずかに外反	精選 小礫	堅　緻	灰褐色	
56	H-22 床上	須恵器 高台 皿	口縁～高台 1/2	14.0 2.8 6.4	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。高台は肉厚でハの字に開く。体部～口縁直線的に開く。口唇肥厚	細砂粒 赤色粒 雲母微片	硬　質 土師質	暗灰黄色	被熱痕
57	H-22 床上	土師器 坏	口縁～底部 1/4残	[12.2] 3.4 [5.6]	平底。体部～口縁ゆるやかな逆Sの字状。口縁横撫で、体部上半指押え、下半斜め・横削り。外底面削り。内面横篦撫で	細砂粒 角閃石	良　好	赤茶褐色	内面に油煙芯痕あり
58	H-23 床面	土師器 甕	口縁～肩部 1/4残	[22.5] (8.2) —	口縁部に粘土紐痕。肩の張りはゆるく、頸部～口縁コの字状。口唇わずかにつまみあげ。肩部横削り、胴部斜め削り。内面横篦撫で	細砂粒 角閃石	良　好	茶褐色	
61	H-24 床面	須恵器 高台 坏	口縁一部 欠損	13.8 5.1 6.2	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。高台はハの字に開く。体部はゆるやかに内湾、口縁外湾	細砂粒 赤色粗 角閃石	硬　質 土師質	灰黄～灰褐色と色むら	
62	H-24 床面	土師器 坏	完存	11.6 4.0 7.0	平底。全体に粗略なつくり。体部～口縁わずかに逆Sの字状。口縁横撫で、体部上半指押え、下半斜削り。外底面削り。内面横篦撫で	粗砂粒 小礫 角閃石	良　好	灰茶褐色	内面～口唇部油煙多量

Tab. 6　出土土器観察表(4)

（　）現存値　［　］復元値

No.	遺構名	種別・器種	遺存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
63	H-24 床上	土師器 台付 小型甕	脚台完存	— (3.3) 7.3	脚台はハの字状に開く。脚台横撫で、外面縦篦撫で、内面横篦撫で	細砂粒 赤色粒	良　好	赤茶褐色	
64	H-24 床面	須恵器 把手付 壺	口縁欠損 頸部～肩部 完存	— (14.8) —	轆轤成形。肩部～頸部の境内面に指押え。肩部なで肩。頸部は直線的に外反。肩部外面と頸部内面に回転篦撫で	精選	堅　緻	灰褐色	被熱質 煤付着
69	H-25 床面	須恵器 羽釜	胴部一部 欠損	19.6 27.3 7.1	轆轤成形。鍔は貼付で、突出度は低く、やや幅広。平底。胴部～口縁内湾、口端面は平担で内傾。胴部外面上半は篦撫で、下半は篦削り	粗砂粒 小礫	硬　質 須恵質	灰褐色	被熱痕。胴部下半に煤付着
70	H-25 床面	須恵器 甑	下半完存	— (22.4) 22.3	轆轤成形。底部は単孔で、ハの字状に大きく開き、端面は直。外面に弱い縦篦撫で。内面胴部下端に横回転篦撫で	粗砂粒 長石 赤色粒	硬　質 土師質	黒茶褐色	
71	H-25 床面	須恵器 甑	下半完存	— (17.9) 24.3	轆轤成形。70と同工異曲のつくり。胴下端に斜の篦撫で・削り。内面下端に横篦撫で	細砂粒 長石 赤色粒	硬　質 土師質	黒灰褐色	被熱痕
73	H-26 竈	須恵器 高台 坏	口縁～高台 1/3残	[12.2] 4.8 [6.2]	轆轤成形。轆轤目弱い。高台貼付後底面回転撫で。高台は高めの台形状で、ハの字状に開く。体部直線的に外傾、口唇外反	細砂粒 赤色粒 雲母細片	硬　質 土師質	灰黄色	器面磨耗
74	H-26 埋土	須恵器 坏	口縁～体部 1/6残 底部完存	[11.2] 3.5 4.9	轆轤成形。轆轤目弱い。平底。体部～口縁内湾、口唇外反	細砂粒 赤色粒 角閃石	硬　質 土師質	灰黄～黒灰と色むらあり	
75	H-26 床面	須恵器 羽釜	口縁～鍔 1/4残	[19.0] (5.3) —	轆轤成形。鍔は貼付で、突出は低く幅広。口縁直線的に内傾。口端面はMの字状	粗砂粒 小礫 角閃石	硬　質 土師質	灰黄色	被熱痕
77	H-27 床面	須恵器 高台 坏	口縁～高台 1/3残	[11.9] 4.4 [5.2]	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。全体に器壁厚め。高台は台形状。凹底。体部直線的に開く。口縁ゆるやかに外湾	細砂粒 小礫	硬　質 土師質	灰茶褐色	
78	H-27 床面	須恵器 坏	口縁～体部 1/4残 底部完存	[11.6] 3.7 5.6	轆轤成形。轆轤目弱い。回転糸切り。全体に肉厚。口縁肥厚。平底。体部内湾。口縁直線的に開く	細砂粒 赤色粒	硬　質 土師質	淡橙～橙褐色と色むらあり	器面磨耗
79	H-28 埋土	須恵器 坏	下半～底部 1/3残	— (2.8) [4.9]	轆轤成形。轆轤目弱い。回転糸切り。体部直線的。底面やや凹底	長石 角閃石 赤色粒	硬　質	外面灰褐色、内面黒灰色	
80	H-28 埋土	土師器 台付 小型甕	1/4残	— (3.0) [9.3]	内外面撫で。轆轤撫でか	細砂粒 角閃石 雲母微片	良　好	茶褐色	
81	H-28 竈	須恵器 羽釜	口縁～鍔 1/4残	[18.0] (7.8) —	轆轤成形。鍔は貼付で、高い突出。口縁肥厚し、わずかに内湾。口端面は平担で、やや内傾	細砂粒 赤色粒 小礫	硬　質 土師質	灰茶褐色	内外面に被熱による変色部あり
82	H-29 床面	灰釉 椀	高台部 1/3残	— (1.8) [8.0]	轆轤成形。高台貼付後底面回転篦撫で。三日月高台。釉は内面上端にわずかに見える	精選 黒色粒 白色粒	堅　緻	灰白色	
83	H-29 床面	須恵器 羽釜	口縁～鍔 1/6残	[18.8] (10.2) —	轆轤成形。鍔は貼付で、華奢なつくり。胴部～口縁内湾、口唇部直立気味。口端面平担で水平	細砂粒 長石 角閃石	硬　質	暗灰褐色	被熱痕 内面煤付着
84	D-9 埋土	須恵器 高台 椀	口縁～高台 1/2	15.8 6.3 8.7	轆轤成形。轆轤目弱い。高台貼付後底面回転撫で。体部～口縁内湾、口唇部わずかに外反。器形よく整う。あるいは鉢形	精選 赤色粒 角閃石	硬　質 土師質	灰黄色	口縁内面磨滅
85	D-19 埋土	灰釉 椀	完存	13.2 4.6 6.8	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。三日月状の高台。体部ゆるやかに内湾、口縁わずかに外反。釉は漬け掛けで、上半部のみ施釉	精選 黒色粒少 白色粒少	堅　緻	灰色	
86	D-19 埋土	須恵器 高台 坏	完存	12.6 5.0 6.3	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。高台は台形状で、ハの字に開く。貼付調整粗略。体部直線的に開き、口縁外反	粗砂粒 小礫	堅　緻	淡灰色	
88	D-82 底面	須恵器 坏	略完存	12.4 4.5 6.0	轆轤成形。回転糸切り。器形ゆがむ。凹底。体部内湾、口縁外反	赤色粒 角閃石 雲母微片	硬　質 土師質	灰黄～灰茶褐色と色むら	内面に油煙の剝落痕
89	D-88 底面	須恵器 高台 坏	口縁～体部 2/3残 高台完存	14.0 6.1 7.0	轆轤成形。高台貼付後底面回転撫で。高台は足高状で、ハの字に開く。体部わずかに内湾、口縁直線的に外反	粗砂粒 赤色粒 雲母微片	硬　質 土師質	黄褐色	被熱痕 器面磨耗
90	D-96 埋土	須恵器 高台 皿	口縁～高台 1/3残	[13.9] 2.9 [6.3]	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。凸底。高台は低い台形状でハの字に開く。体部わずかに内湾、口縁肥厚し、ゆるやかに外反	細砂粒 赤色粒 雲母微片	硬　質 土師質	灰茶～橙褐色と色むらあり	
91	D-85 底面	須恵器 羽釜	口縁～鍔 1/4残	[20.0] (5.8) —	轆轤成形。鍔は貼付で、上向き、やや華奢なつくり。口縁内湾。口端面平担で内傾	粗砂粒 長石	堅　緻	青灰色	
92	D-85 底面	須恵器 高台 坏	口縁～体部 1/5残 高台完存	[12.6] 5.4 6.4	轆轤成形。回転糸切り後高台貼付。高台半月状で肉厚。体部～口縁直線的に開く	粗砂粒 黒茶粗粒 白色粒多	堅　緻	暗灰褐色	

Tab. 6　出土土器観察表(5)　　（　）現存値　［　］復元値

No.	遺構名	種別・器種	遺 存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備 考
97	Ⅰ-3 埋土	須恵器 蓋	天井部 2/3残 端部一部残	15.3 6.6 [19.8]	轆轤成形。ボタン状摘み。箱形。体部ゆるやかに内湾。端部内面削ぎ状。天井部回転篦削り。短頸壺の蓋	黒色粒多 白色粒 破砕礫	堅　緻	灰色	
98	X-1 埋土	須恵器 蓋	2/3残	2.8 2.7 12.3	轆轤成形。環状摘み。断面三角形の返り。天井部回転篦削り	精選 黒色粒	堅　緻	灰色	
99	X-1 埋土	須恵器 蓋	摘み完存 天井～端部 2/3残	2.5 4.3 13.1	轆轤成形。擬宝珠摘み。断面三角形の低い返り。天井部回転篦削り	精選 小礫	堅　緻 自然釉	黒灰色	
100	X-1 Ⅰ-3 埋土	須恵器 坏	口縁～底部 1/2	12.5 3.5 8.0	轆轤成形。凸底。体部～口縁直線的に外反。底面手持ち篦削り後周辺回転篦削り	精選 黒色粒多	堅　緻	淡灰色	あるいは蓋か
101	X-1 埋土	須恵器 坏	1/2	12.0 2.4 8.4	轆轤成形。轆轤目弱い。凹底。体部～口縁直線的に外傾。底部回転撫で。体部下端回転篦削り	精選 白色微粒 黒茶粗粒	堅　緻	暗青灰色	
102	X-1 埋土	須恵器 坏	底部1/4残	— (1.3) [9.6]	轆轤成形。凹底。底部回転糸切り後周辺回転篦削り	精選 黒色粒 白色粒	堅　緻	灰色	
103	X-1 埋土	須恵器 高台 坏	口縁～底部 1/3残	[12.9] 3.5 [8.8]	轆轤成形。削り出し高台。凹底。体部～口縁わずかに内湾。底面回転撫で	精選 黒色粒 白色粒	堅　緻	灰色	
104	Ⅰ-3 埋土	須恵器 高台 椀	高台完存	— (3.6) 9.9	轆轤成形。やや凸底。削り出し高台。体部直線的。底面手持ち削り	精選 黒色粗粒	堅　緻	灰色	
105	Ⅰ-3 埋土	須恵器 盤	1/5残	[25.0] (3.5) —	轆轤成形。口縁直立、口端面はやや内削ぎ状に内傾。体部下端、内面カキ目	精選 黒色粒	堅　緻	淡青灰色	
106	X-1 埋土	須恵器 長頸壺	口縁～頸部 完存	8.6 (14.0) —	轆轤成形。沈線２条。直線的に立ち上がる。口端面は丸く収める。轆轤成形後外面回転篦撫で	精選 小礫	硬　質	淡灰色	
107	X-1 埋土	須恵器 長頸壺	口縁～頸部 完存	10.3 (16.9) —	轆轤成形。細身の頸部。口縁屈曲、口唇部直立。幅約1.7cmの粘土紐痕	精選 黒色粒多 白色粒	堅　緻 自然釉	灰色	
108	X-1 埋土	須恵器 甕	口縁1/3残	[20.1] (5.0) —	轆轤成形。口唇下に突帯を付す	精選	硬　質	暗灰褐色	
109	X-1 埋土	須恵器 甕	口縁1/8残	[22.8] (4.8) —	頸部大きく外湾。口唇部上下摘み上げ。外面叩き、内面撫で。頸部～口縁回転撫で	精選	堅　緻	灰色	
110	X-1 埋土	須恵器 甕	口縁1/8残	[25.2] (6.7) —	頸部大きく外湾。口唇部わずかに摘み上げ。肩部叩き。内面撫で。頸部～口縁回転撫で	精選 白色粒	堅　緻	灰色	
111	X-1 埋土	須恵器 壺	口縁欠損 胴部～底部 1/4残	— (16.3) [11.0]	轆轤成形。胴部に幅約1.5cmの粘土紐痕。平底。肩部の張り強い。胴部下半に回転篦撫で・削り。底面手持ち削り	精選 白色粒多 長石	堅　緻 自然釉	暗青灰色	
112	X-1 Ⅰ-3 埋土	須恵器 甕	口縁欠損 頸部～胴郎 1/3残	— (18.8) —	球胴。厚手。外面叩き、内面同心円当具痕。頸部回転撫で	精選 長石 白色粒	堅　緻 自然釉	黒灰色	
113	Ⅰ-3 埋土	須恵器 壺？	高台1/5残	— (4.6) [12.2]	轆轤成形。高台貼付後底面手持ち篦撫で。胴部わずかに内湾気味	精選 黒色粒	堅　緻	灰色	あるいは鉢
114	X-1 埋土	須恵器 鉢？	破片		胴部～頸部内湾。外面叩き、内面同心円当具痕。頸部横撫で	精選 白色粒	堅　緻	灰色	
115	X-1 埋土	須恵器 大甕	破片		肩部張る。外面叩き、内面浅い同心円当具痕。頸部横撫で	精選 白色粒 破砕礫	堅　緻 自然釉	灰色	
116	X-1 埋土	須恵器 甕	破片		外面叩き、内面深い同心円当具痕	精選 黒色粒多	堅　緻	青灰色	
117	X-1 埋土	土師器 暗文 坏	破片		内面に羽状の暗文	細砂粒 雲母細片	軟　質	橙褐色	
118	X-1 埋土	土師器 坏	口縁～底部 1/2	15.8 [4.8] 10.6	凸底。体部～口縁直線的に開く。器面磨滅して調整不明	細砂粒 赤色粒	軟　質	橙褐色	
119	X-1 埋土	土師器 坏	完存	12.6 3.8 —	丸底。口縁屈曲、ゆるやかに外湾して立ち上がる。口縁内外面横撫で。底部篦削り。内底面撫で	細砂粒 角閃石	硬　質	橙褐色	器面磨滅
120	X-1 埋土	土師器 坏	口縁～底部 1/4残	[12.0] 3.9 —	丸底。有稜。口縁直立。口縁横撫で。底部篦削り。内面撫で	細砂粒	軟　質	橙褐色	

Tab. 6　出土土器観察表(6)

（　）現存値　［　］復元値

No.	遺構名	種別・器種	遺存	法量(cm)	器形・技法の特徴	胎土	焼成	色調	備考
121	X-1 埋土	土師器 坏	口縁～底部 1/2	11.9 3.5 —	丸底。口縁部わずかに内湾、口唇内傾。口縁横撫で。底部篦削り。内面撫で	細砂粒 角閃石	硬　質	橙褐色	器面磨滅
122	X-1 埋土	灰釉 椀	高台完存	— (2.0) 6.5	轆轤成形。高台貼付後底面回転篦撫で。高台断面台形状でハの字状に開く。釉は漬け掛けで、上半部のみ施釉	精選	堅　緻	淡灰色	
124	I-4 埋土	須恵器 高坏	脚1/3残	— (5.6) —	幅約1cmの粘土紐痕。回転撫で調整。2本一対の沈線を3ヵ所に施す	精選	堅　緻	灰色	内面に煤付着あるいは盤か
125	I-4 埋土	土師器 甕	口縁～肩部 1/6残	[16.6] (8.4) —	頸部～口縁コの字状。口唇部を斜め上に摘み出す。頸部横篦撫で、肩部横削り。内面横篦撫で、一部刷毛目状	細砂粒 赤色粒	硬　質	暗茶褐色	

Tab. 7　出土瓦観察表(1)

幅は、平瓦で広端部、狭端部、丸瓦ではその逆の順で数値を示す。

No.	遺構名	種類	遺存	大きさ(cm)	瓦当部	凹　面	凸　面	胎土	焼成	色調	備考
33	H-12	丸	1/2	長(21.0) 幅(10.7)、— 厚　2.3		布目。両側縁・両端縁面取り	撫で。右側縁面取り。線刻文字	粗砂粒 長石 小礫	硬　質	暗灰褐色	赤化粘土付着
34	H-12	平	1/4	長(24.2) 幅　—、(9.7) 厚　2.2		布目。側縁、端縁に面取りなし。	縦撫で。側縁、端縁に幅狭の面取り。指紋多い。線刻文字	粗砂粒 破砕礫 小礫	堅　緻	暗灰褐色	赤化粘土付着
35	H-12	丸	1/2	長 35.6 幅 (8.5)、(13.5) 厚　2.2		布目。左側縁、下端縁面取り。上端縁は撫で。	縦撫で。右側縁、両端縁面取り。線刻文字「千」	粗砂粒 破砕礫 長石・小礫	堅　緻	黒灰色	
44	H-15	丸	破片	長(16.0) 幅　—、— 厚　2.3		布目。側縁面取り	縦撫で。線刻文字	粗砂粒 破砕礫 小礫	硬　質 須恵質	灰褐色	
51	H-20 竈	丸	1/8	長(21.5) 幅　—、(6.5) 厚　2.1		布目。端縁・側縁に面取り	縦篦撫で。端縁面取り	細砂粒 長石	硬　質 須恵質	暗灰褐色 断面は灰黄色	赤化粘土付着
54	H-22 貯蔵穴	平	1/2	長 36.6 幅(14.5)、(11.0) 厚　2.4		布目。側縁面取り。線刻記号？2ヵ所	縦篦撫で	粗砂粒 長石 小礫	堅　緻 須恵質	暗灰褐色	
55	H-22 貯蔵穴	平	完存	長 40.5 幅 30.7、24.7 厚　3.0		布目。左右側縁の一部面取り	縦篦撫で。 線刻文字(記号？)	粗砂粒 長石・小礫	堅　緻 須恵質	灰褐色	凹 面2/3に被熱痕
59	H-23 床面	軒丸	破片		重弁の蓮華文			黒茶粗粒 白色粒	堅　緻 須恵質	青灰色	
67	H-24 床上	平	破片	長 (6.5) 幅　—、— 厚　1.0		布目。 線刻文字2ヵ所	縦・斜めの篦撫で	精選 小礫	硬　質 須恵質	灰茶褐色	端面2面取り
68	H-24 床上	平	破片	長(14.8) 幅 (5.8)、— 厚　1.3		布目	縦撫で 線刻文字「＋」	長石 小礫	硬　質 須恵質	灰茶褐色 断面は灰黄色	
76	H-26 竈	丸	1/4	長(25.8) 幅　—、(7.6) 厚　1.7		布目。側縁・端縁面取り	縦篦撫で 線刻文字「手」(？)	小礫 破砕礫	堅　緻 須恵質	黒灰褐色 断面は青灰色	被熱痕
87	D-62 埋土	平	破片	長(12.5) 幅　—、(12.5) 厚　1.95		布目。端縁・側縁面取り	縦・横・斜めの篦撫で。端縁・側縁面取り。線刻文字	小礫 破砕礫	堅　緻 須恵質	灰褐色	
95	I-1 埋土	平	破片	長 (6.0) 幅 (6.7) 厚　1.95		布目。側縁下取り	縦篦撫で。 線刻文字「川」	長石 破砕礫	堅　緻 須恵質	暗灰褐色 断面暗茶褐色	
123	X-1 埋土	平	破片	長 (8.6) 幅 (7.2) 厚　1.5		布目	縦篦撫で。 押印「佑」	粗砂粒 白色粒	堅　緻 須恵質	黒灰褐色	
126	I-4	軒丸	破片		陰刻蓮華文。 裏面布目			精選 長石	堅　緻 須恵質	淡灰色	
127	I-4	軒先	破片		右偏向唐草文。 珠文。段顎	女瓦部：布目の上に撫で。側縁面取り	女瓦部：縦篦撫で	白色粒	硬　質 土師質	灰茶褐色	
128	I-4	軒丸	破片	瓦当部径 15.2	重弁5弁蓮華文。珠文。裏面は撫で	男瓦部：布目	男瓦部：縦撫で	精選	堅　緻 須恵質	灰色	
129	I-4	軒丸	破片	瓦当部径 14.6	重弁5弁蓮華文。蓮子5。裏面布目	男瓦部：布目	男瓦部：縦撫で	精選	堅　緻 須恵質	黒灰色	被熱痕
130	I-4	軒丸	破片	瓦当部径 15.7	重弁4弁蓮華文。蓮子5。裏面削り	男晋部：布目	男瓦部：撫で	精選 白色粒	堅　緻 須恵質	暗灰色	

Tab. 7　出土瓦観察表(2)

No.	遺構名	種類	遺存	大きさ(cm)	瓦当部	凹　面	凸　面	胎土	焼成	色調	備考
131	Ⅰ-4	軒丸	破片	瓦当部径[16.0]	単弁4弁蓮華文。蓮子は陰刻。裏面布目			精選 長石	堅　緻 須恵質	青灰色	
132	Ⅰ-4	軒丸	破片	瓦当部径[15.0]	重弁4弁蓮華文。蓮子5。裏面布目			精選 白色粒 長石	堅　緻 須恵質	暗灰色	被熱痕
133	Ⅰ-4	軒丸	破片	瓦当部径[15.0]	複弁7葉蓮華文の抽象化。弁間珠文			精選 黒色粒	堅　緻 須恵質	灰色	
134	Ⅰ-4	軒丸	瓦当部 欠損	長(21.3) 幅　—、— 厚　2.3		男瓦部：布目。両側縁面取り。玉縁：布目。側・端縁面取り	男瓦部：縄叩き後縦撫で。玉縁：横撫で。側・端縁面取り	精選 長石	堅　緻 須恵質	灰白色	
135	Ⅰ-4	軒丸	瓦当部 欠損	長(13.6) 幅　—、— 厚　3.1		男瓦郎：布目。側・端縁面取り。玉縁：側・端縁面取り	男瓦部：縄叩き後横撫で。側縁面取り。玉縁：側縁面取り	精選 黒・白色粒 長石	堅　緻 須恵質	暗灰色	
136	H-4	丸	一部 欠損	長 40.6 幅 14.3、(11.1) 厚　1.9		布目。両側縁・両端縁面取り	横篦撫で。両側縁面取り	精選	堅　緻 須恵質	淡灰色	凹面に被熱痕
137	Ⅰ-4	平	破片	長 (8.5) 幅　—、— 厚　1.0		撫で	縦撫で後格子叩き	精選 白色粒多	堅　緻 須恵質	黒灰色	
138	Ⅰ-4	平	破片	長(17.5) 幅　—、— 厚　2.2		布目。部分的に指撫で	縦撫で後斜格子叩き	砂粒多	硬　質 土師質	灰茶褐色	
139	Ⅰ-4	平	1/4	長(28.0) 幅(13.8、— 厚　2.0		布目。粘土板糸切り痕。端・側縁面取り	粘土板糸切り痕。縦撫で後格子叩き	精選 赤色粒	硬　質 土師質	橙褐色	
140	Ⅰ-4	平	1/2	長(30.5) 幅 29.0、— 厚　2.5		縦撫でによる布目擦り消し。両側縁面取り	粘土板糸切り痕。縦撫で後縄叩き	粗砂粒 赤色粒多 角閃石	硬　質 土師質	茶褐色	
141	Ⅰ-4	平	一部 欠損	長 39.1 幅(23.0、— 厚　1.7		模骨痕。粘土板糸切り痕。両側縁・両端縁削り	縄叩き後横篦撫でによる擦り消し	粗砂粒 長石多	硬　質 土師質	灰茶褐色	被熱痕
142	Ⅰ-4	平	1/2	長(25.4) 幅　—、(20.8) 厚　1.9		粘土板糸切り痕。両側縁・狭端縁面取り	縄回転	精選 黒色粒多	堅　緻 須恵質	灰色	
143	Ⅰ-4	平	破片	長(13.0) 幅　—、(10.0) 厚　1.5		粘土板糸切り痕。	横・縦の縄回転	精選 破砕礫	堅　緻 須恵質	淡灰色	
144	Ⅰ-4	平	破片	長(20.0) 幅(15.4、— 厚　1.6		布目。粘土板糸切り痕。端・側縁面取り	粘土板糸切り痕。平行叩き	粗砂粒 白色粒 茶褐色粒多	堅　緻 須恵質	灰色	
145	Ⅰ-4	平	1/2	長 39.5 幅(11.0)、(11.5) 厚　2.4		布目・模骨痕。側縁・両端縁面取り	縦篦撫で後斜め指撫で。線刻文字	粗砂粒 長石	堅　緻 須恵質	灰色	被熱痕
146	Ⅰ-4	平	1/2	長 38.4 幅(10.8)、(9.0) 厚　2.3		縦撫でによる布目擦り消し。側縁・広端縁面取り	粘土板糸切り痕。縄叩き後部分的に撫で	粗砂粒 白色粒多 赤色粒	硬　質 土師質	灰茶褐色	被熱痕
147	Ⅰ-4	平	1/2	長(22.5) 幅 26.5、— 厚　1.8		粘土板糸切り痕。縦撫でによる布目擦り消し。両側縁面取り	縄回転？後横撫で	精選 長石	硬　質 須恵質	灰色 断面橙褐色	
148	Ⅰ-4	平	1/2	長(25.0) 幅 25.0、— 厚　2.5		布目。右側縁面取り。線刻文字「又」	縦篦撫で	粗砂粒 白色粒多 長石	堅　緻 須恵質	黒灰色	被熱痕
149	Ⅰ-4	平	1/4	長(22.0) 幅　—、(17.0) 厚　2.6		布目。右側縁面取り。線刻文字「＋」	縦篦撫で	精選 白色粒多	堅　緻 須恵質	黒灰色	
150	Ⅰ-4	平	破片	長 幅 厚　2.0		布目	縦撫で。 押印「毛」(？)	精選 白色粒 長石	堅　緻 須恵質	黒灰色	
151	Ⅰ-4	丸	破片	長 幅 厚　2.0		布目 押印「兆」(？)	縦撫で	精選 長石	硬　質 須恵質	暗灰色 断面灰茶褐色	
152	Ⅰ-4	平	1/6	長(12.5) 幅(11.7)、— 厚　1.8		布目。側縁面取り	縦篦撫で。 線刻文字「〇舎」(？)	粗砂粒 白色粒多 長石	硬　質 土師質	灰茶褐色	
153	Ⅰ-4	平	1/5	長(15.5) 幅(12.0)、— 厚　2.6		布目。側縁面取り。線刻文字「里」(？)	縦篦撫で	精選 長石	堅　緻 須恵質	黒灰色	被熱痕

Tab. 8　金属製品観察表

（　）現存値　［　］復元値

No.	遺構名	種別・器種	遺　存	法量・大きさ(cm)	重さ(g)	形状・技法の特徴	備　考
22	H-7 覆土	銅　製 鋺	脚欠損	口径8.2　現高4.5　器壁厚0.2		轆轤引きのカキ目は見られない。 外面に２本一対の沈線２ヵ所	
60	H-23 覆土	鉄　器 釘	銹化著しく、頭部不明	現長6.6　断面0.5		断面方形。	他に、同一片 １点あり
72	H-25 床面	鉄　器 不　明	銹化著しい。先端欠損か	現長12.5　幅1.8　断面0.8×0.2		断面長方形の鉄板を逆Uの字状に折り曲げてつくられている	毛ぬきか

Tab. 9　石製品観察表

No.	遺構名	器種	遺存	長さ(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石材	備　考
65	H-24	こも石	一部欠損	12.1	4.95	3.5	341.0	安山岩	
66	H-24	こも石	一部欠損	12.0	4.3	3.5	364.0	安山岩	剝離痕あり

Tab.10　磁器観察表

No.	遺構名	種別	器種	遺存	法量(cm)	器形・技法の特徴	素地	生産地	時代	備　考
93	D-40	青磁	碗	破片		外面櫛歯に鎬蓮弁文、内面箆描き画花文	灰白色	龍泉窯系	12C中 ～後	灰青緑色透明釉
94	D-58	青磁	碗	破片		内面櫛描文	灰色、気泡	同安窯系	12C中 ～後	灰緑色透明釉

Tab.11　古銭観察表

No.	遺構名	遺　存	銭名	初鑄年	書体	背文	外径(cm)	量目(g)	備　考
96	I-1	背面一部剝落	元豊通宝	北宋　1078	行書	無背	2.35	(2.90)	

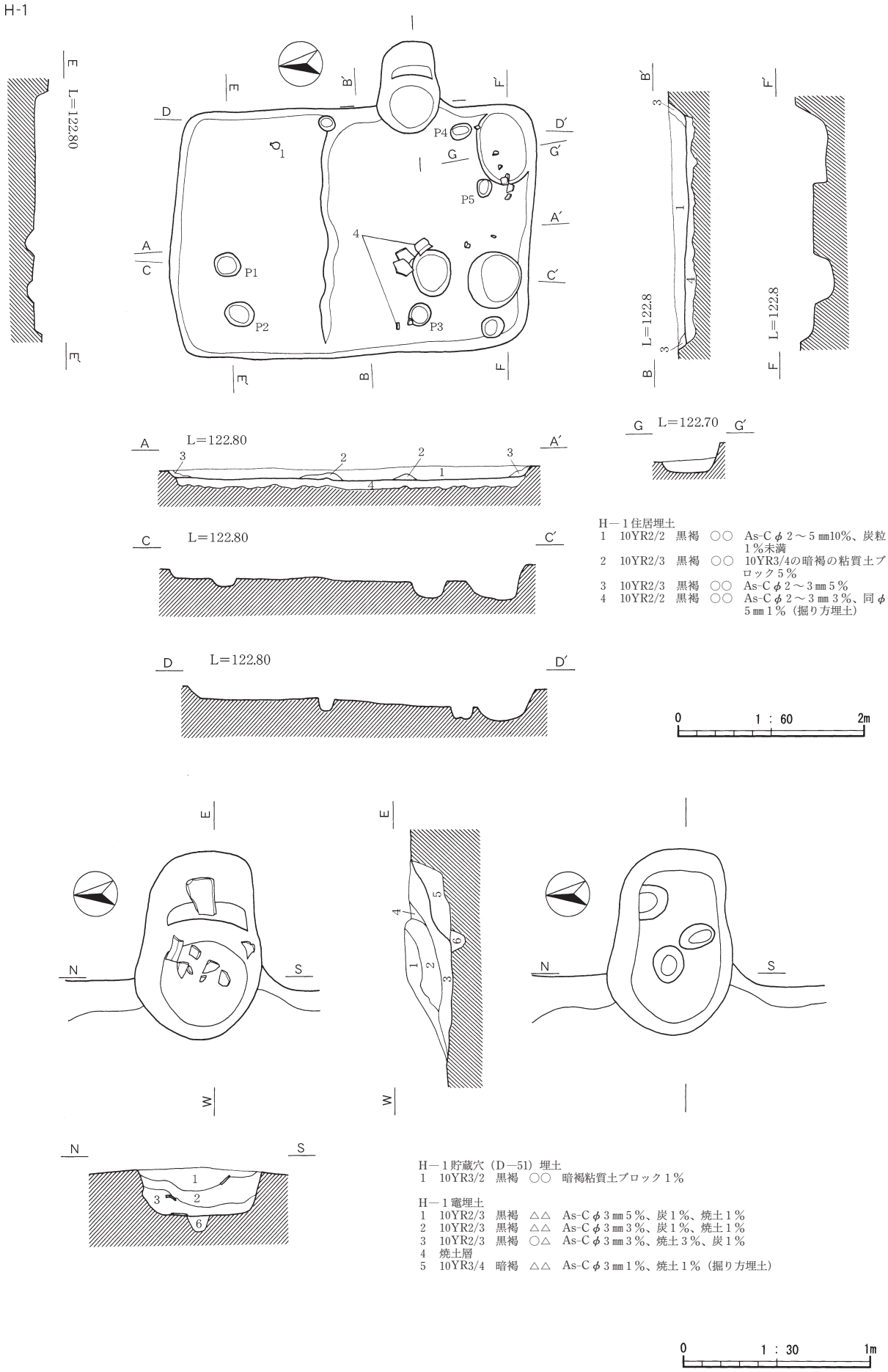

H-1
E L=122.80 E'
P1
P2
P3
P4
P5
A L=122.80 A'
C L=122.80 C'
D L=122.80 D'
B L=122.8 B'
F L=122.8 F'
G L=122.70 G'
H－１住居埋土
1 10YR2/2 黒褐 ○○ As-C φ２～５㎜10%、炭粒１%未満
2 10YR2/3 黒褐 ○○ 10YR3/4の暗褐の粘質土ブロック５%
3 10YR2/3 黒褐 ○○ As-C φ２～３㎜５%
4 10YR2/2 黒褐 ○○ As-C φ２～３㎜３%、同 φ５㎜１%（掘り方埋土）
0 1：60 2m
N S E W
H－１貯蔵穴（D－51）埋土
1 10YR3/2 黒褐 ○○ 暗褐粘質土ブロック１%
H－１竈埋土
1 10YR2/3 黒褐 △△ As-C φ３㎜５%、炭１%、焼土１%
2 10YR2/3 黒褐 △△ As-C φ３㎜３%、炭１%、焼土１%
3 10YR2/3 黒褐 ○△ As-C φ３㎜３%、焼土３%、炭１%
4 焼土層
5 10YR3/4 暗褐 △△ As-C φ３㎜１%、焼土１%（掘り方埋土）
0 1：30 1m

Fig. 7　H－１号住居跡

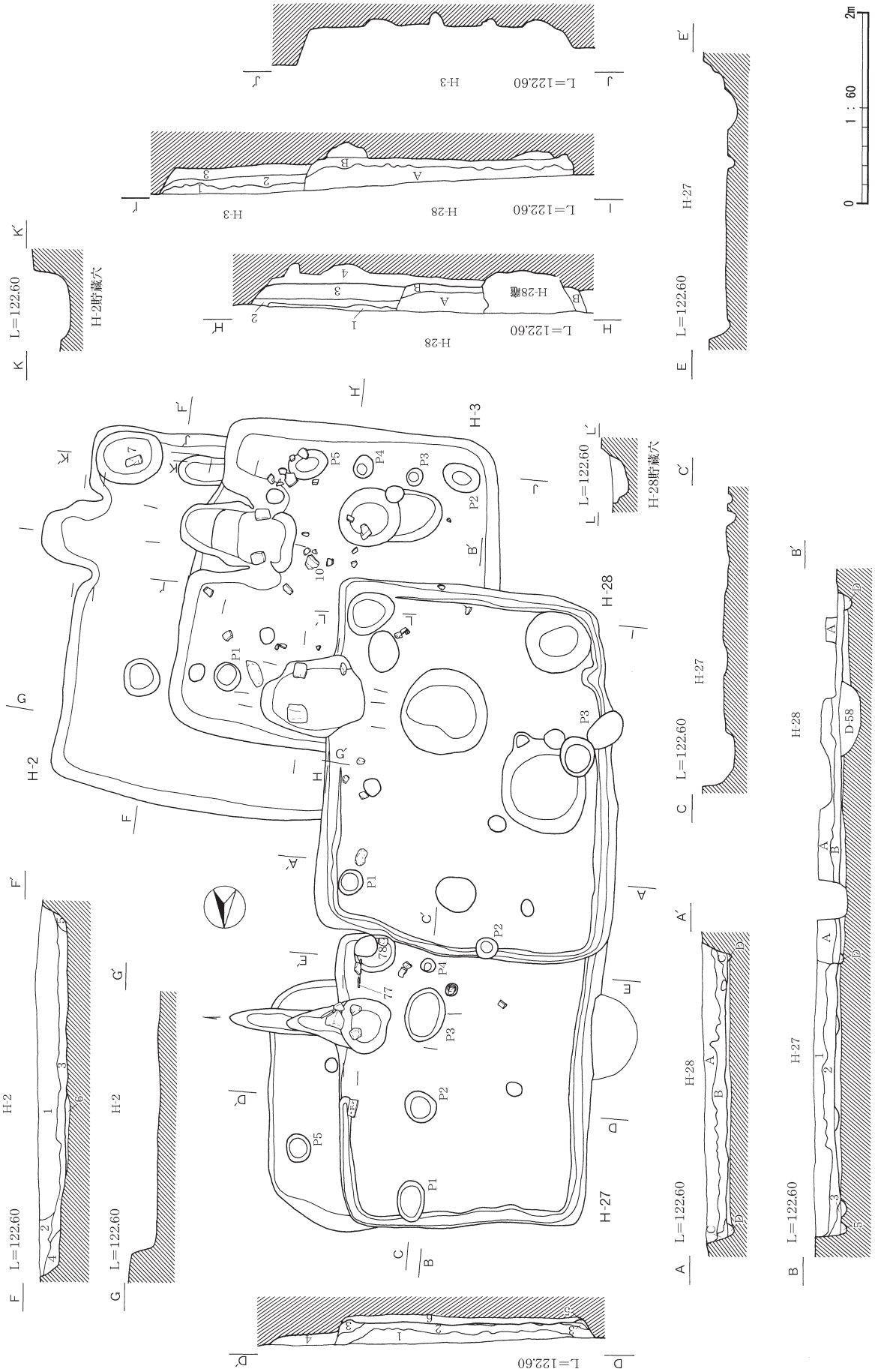


Fig. 8　H－2・3・27・28号住居跡

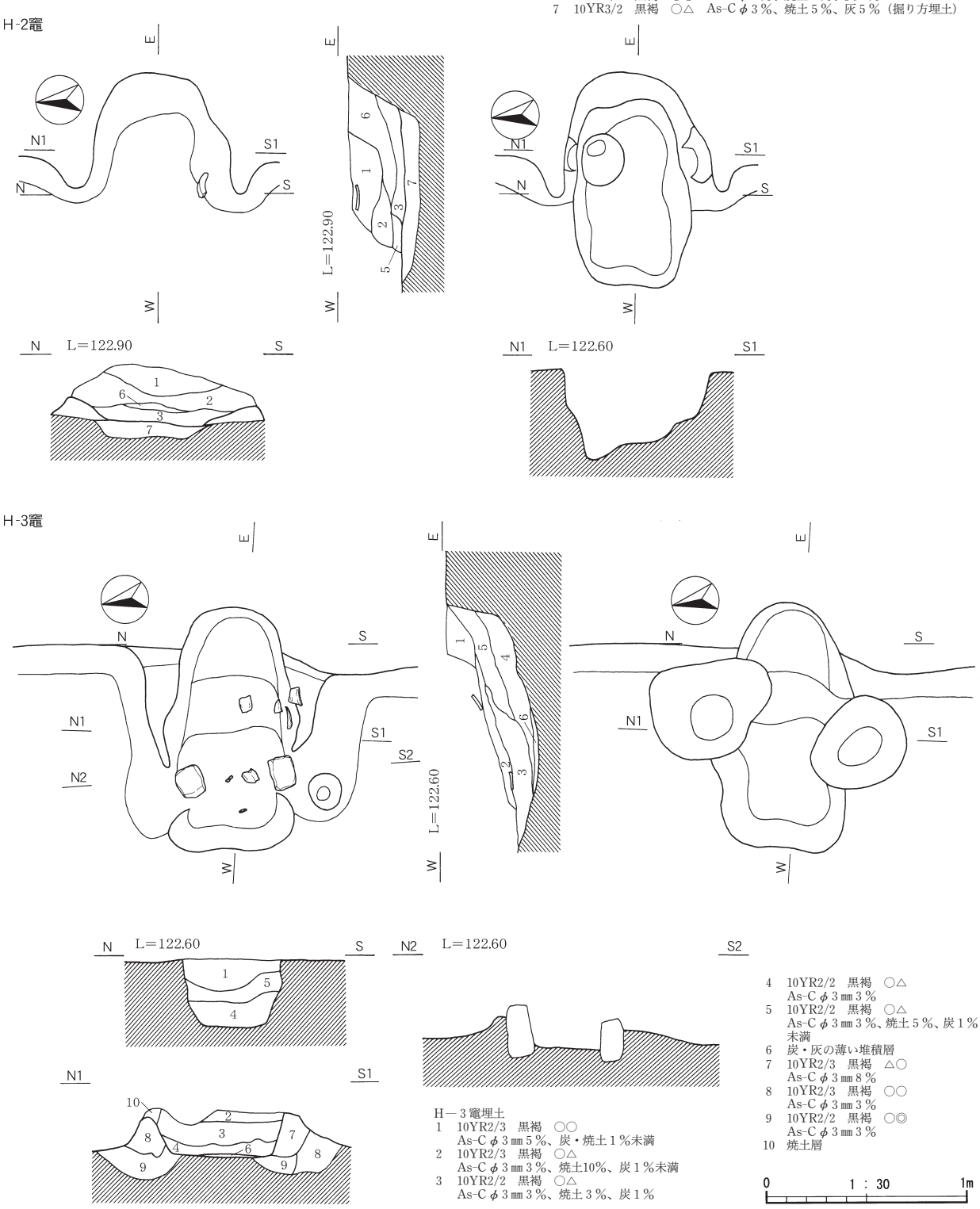
H－２住居埋土
1　10YR2/3　黒褐　△○　As-C φ５㎜15%
2　10YR2/2　黒褐　○○　As-C φ５㎜10%
3　10YR2/2　黒褐　○○　As-C φ５㎜５%、炭１%
4　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ５㎜２%
5　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ５㎜１%
6　10YR2/3　黒褐　○△　As-C φ２%（掘り方埋土）

H－３住居埋土
1　10YR3/2　黒褐　△△　As-C φ３㎜５%。褐色粘土ブロック混入
2　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ３～５㎜10%、炭１%未満
3　10YR2/3　黒褐　△△　As-C φ５㎜２%
4　掘り方

H－28住居埋土
A　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ２～３㎜25%
B　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ２～３㎜10%
C　10YR2/2　黒褐　○○　As-C φ２～３㎜５%
D　10YR2/3　黒褐　○△　As-C φ２～３㎜５%（周溝埋土）
E　掘り方

H－28貯蔵穴（D－55）埋土
10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ３㎜５%、炭１%未満

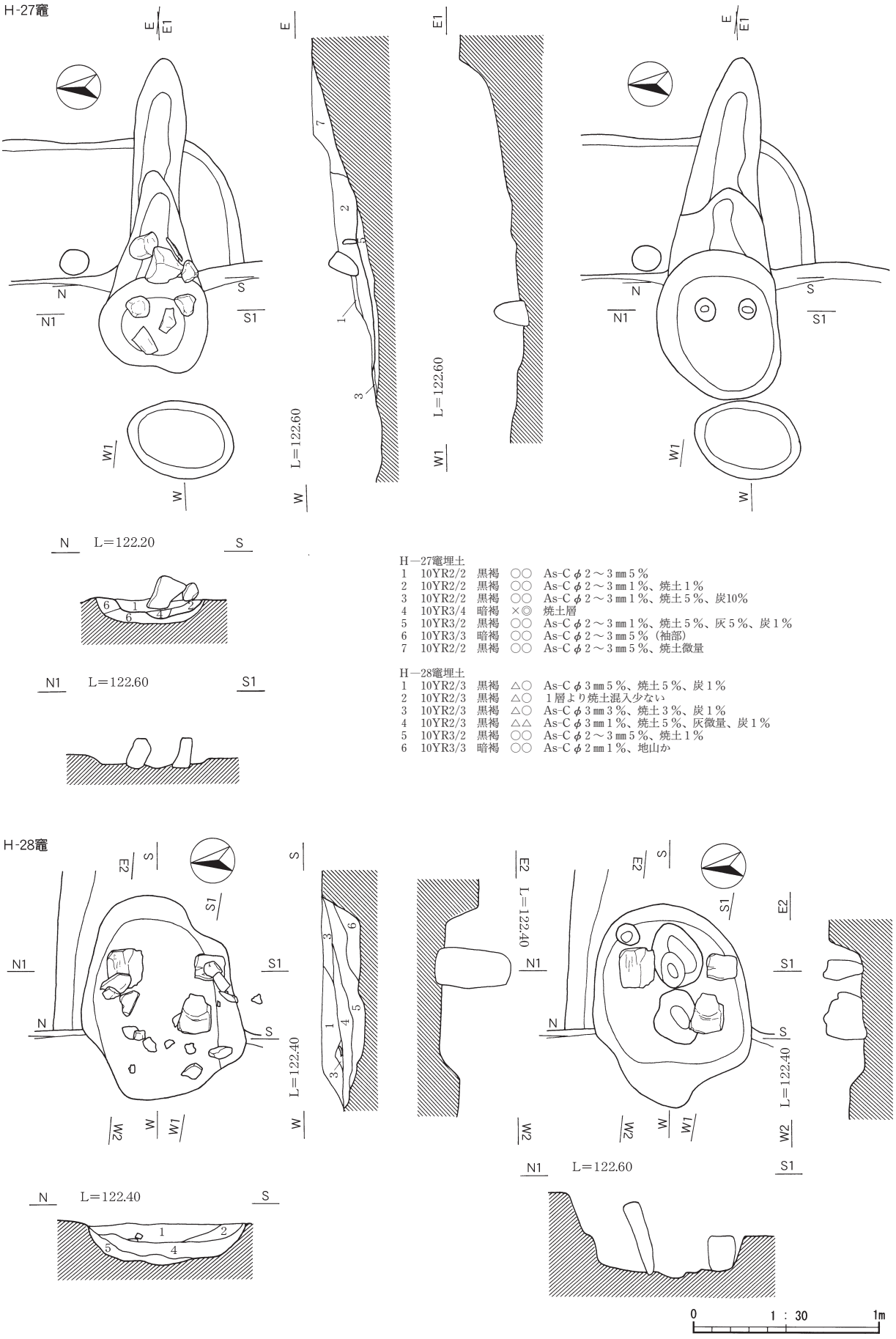
H－２竈埋土
1　10YR2/3　黒褐　△△　As-C φ３㎜３%、焼土１%
2　10YR2/2　黒褐　△○　As-C φ３㎜２%、焼土２%
3　10YR3/2　黒褐　○△　As-C φ１%、焼土３%
4　10YR3/2　黒褐　○○　As-C φ１%（袖部）
5　10YR3/2　黒褐　○○　As-C φ５%
6　10YR3/2　黒褐　○○　As-C φ５%、焼土20%、炭１%
7　10YR3/2　黒褐　○△　As-C φ３%、焼土５%、灰５%（掘り方埋土）



H－３竈埋土
1　10YR2/3　黒褐　○○
As-C φ３㎜５%、炭・焼土１%未満
2　10YR2/3　黒褐　○△
As-C φ３㎜３%、焼土10%、炭１%未満
3　10YR2/2　黒褐　○△
As-C φ３㎜３%、焼土３%、炭１%
4　10YR2/2　黒褐　○△
As-C φ３㎜３%
5　10YR2/2　黒褐　○△
As-C φ３㎜３%、焼土５%、炭１%未満
6　炭・灰の薄い堆積層
7　10YR2/3　黒褐　△○
As-C φ３㎜８%
8　10YR2/3　黒褐　○○
As-C φ３㎜３%
9　10YR2/2　黒褐　○◎
As-C φ３㎜３%
10　焼土層

0　1：30　1m

Fig. 9　H－２・３号住居跡竈



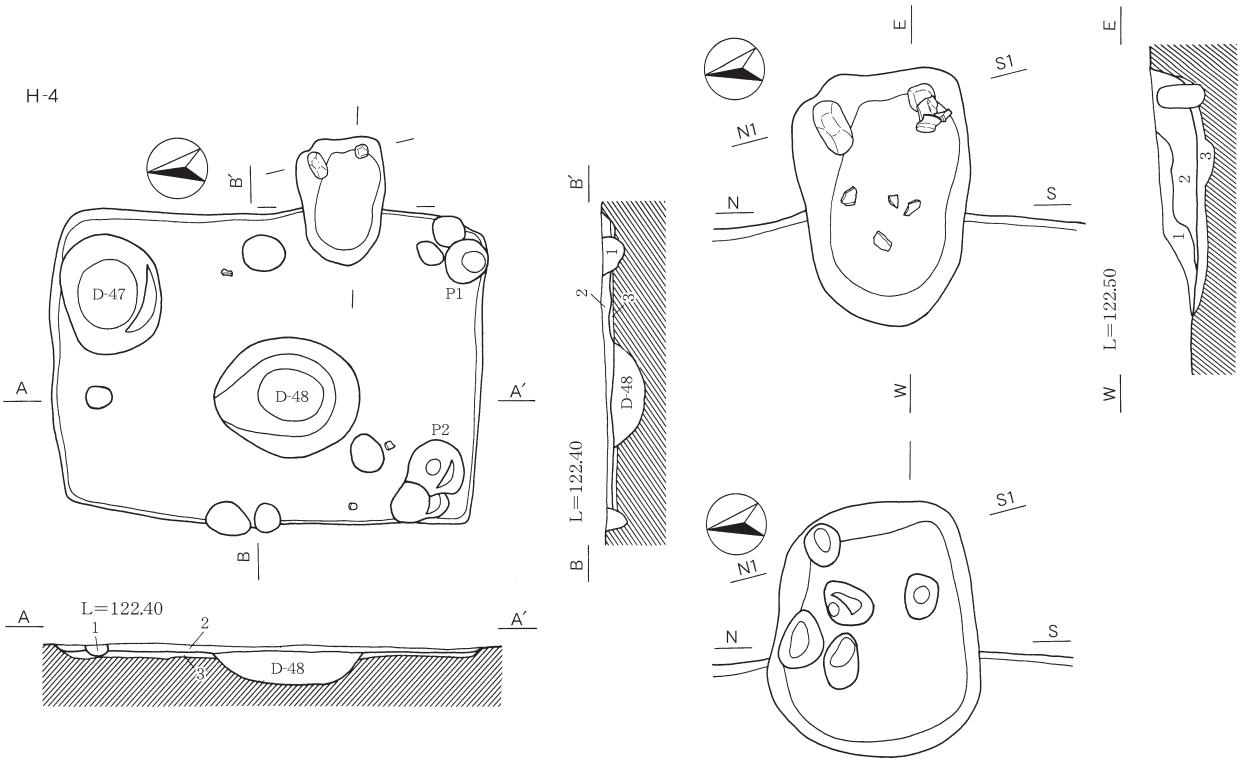
H—27竈埋土

1	10YR2/2	黒褐	○○	As-C φ２～３㎜５％
2	10YR2/2	黒褐	○○	As-C φ２～３㎜１％、焼土１％
3	10YR2/2	黒褐	○○	As-C φ２～３㎜１％、焼土５％、炭10％
4	10YR3/4	暗褐	×◎	焼土層
5	10YR3/2	黒褐	○○	As-C φ２～３㎜１％、焼土５％、灰５％、炭１％
6	10YR3/3	暗褐	○○	As-C φ２～３㎜５％（袖部）
7	10YR2/2	黒褐	○○	As-C φ２～３㎜５％、焼土微量

H—28竈埋土

1	10YR2/3	黒褐	△○	As-C φ３㎜５％、焼土５％、炭１％
2	10YR2/3	黒褐	△○	１層より焼土混入少ない
3	10YR2/3	黒褐	△○	As-C φ３㎜３％、焼土３％、炭１％
4	10YR2/3	黒褐	△△	As-C φ３㎜１％、焼土５％、灰微量、炭１％
5	10YR3/2	黒褐	○○	As-C φ２～３㎜５％、焼土１％
6	10YR3/3	暗褐	○○	As-C φ２㎜１％、地山か

Fig.10　H—27・28号住居跡竈

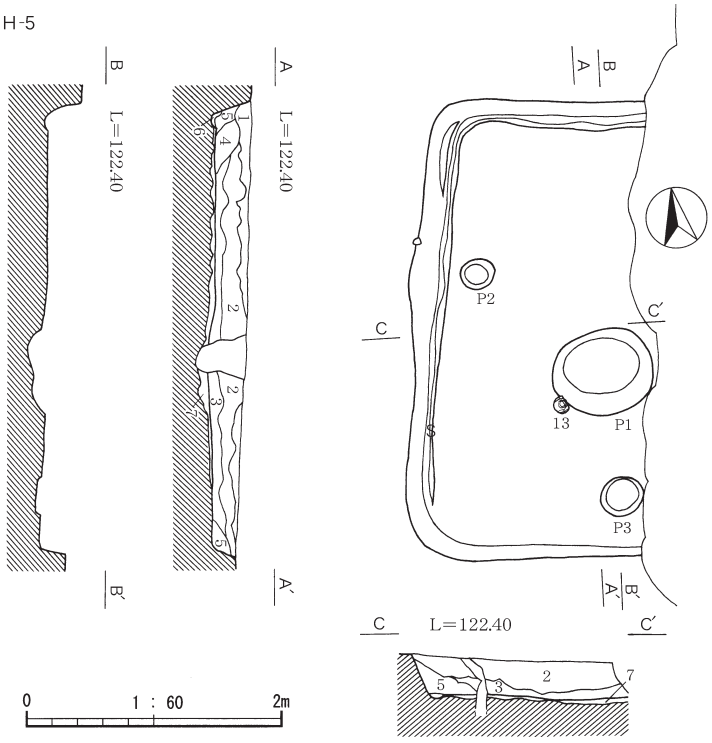


H－４住居埋土
1　10YR3/2　黒褐　×△　As-B混土。ザラザラ
2　10YR2/2　黒褐　○△　As-C φ３～５㎜５％、炭１％未満
3　10YR3/3　暗褐　○○　（掘り方埋土）

H－４竈埋土
1　10YR2/2　黒褐　○○　As-C φ３～５㎜15％
2　10YR2/2　栗褐　○○　１層に焼土５％、炭１％未満
3　10YR2/3　黒褐　△○　As-C φ３㎜５％、焼土30％、炭１％未満（掘り方埋土）

0　1：60　2m

0　1：30　1m



H－５住居埋土
1　10YR2/2　黒褐　△×　As-C φ２～３㎜５％
2　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ２～３㎜15％
3　19YR2/3　黒褐　○○　As-C φ２～３㎜５％
4　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ２～３㎜10％
5　10YR3/2　黒褐　○○　As-C φ２～３㎜１％
6　10YR3/2　黒褐　○○　As-C φ２～３㎜５％（周溝埋土）
7　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ２～３㎜５％（掘り方埋土）

0　1：60　2m

Fig.11　H－４・５号住居跡

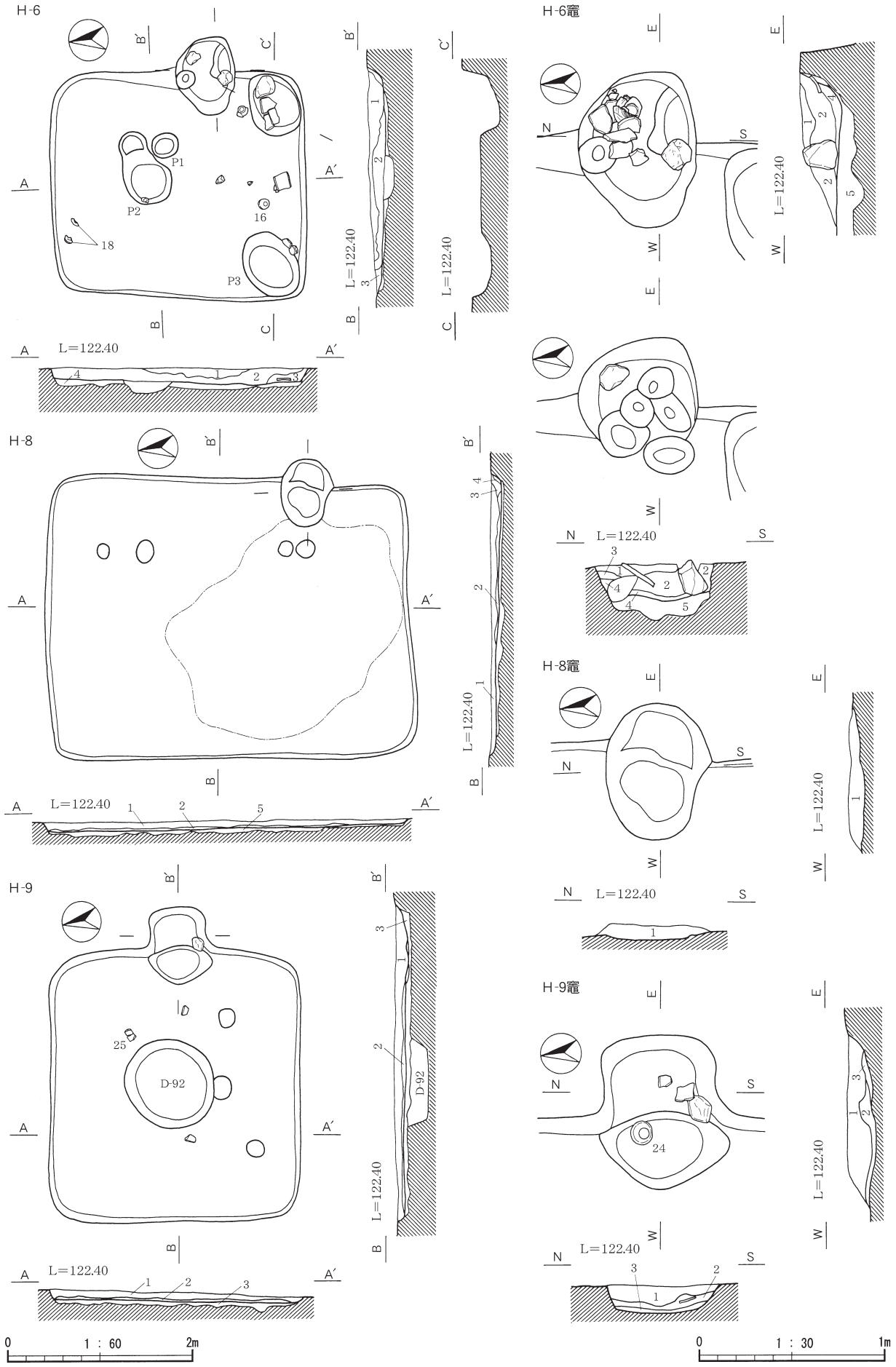
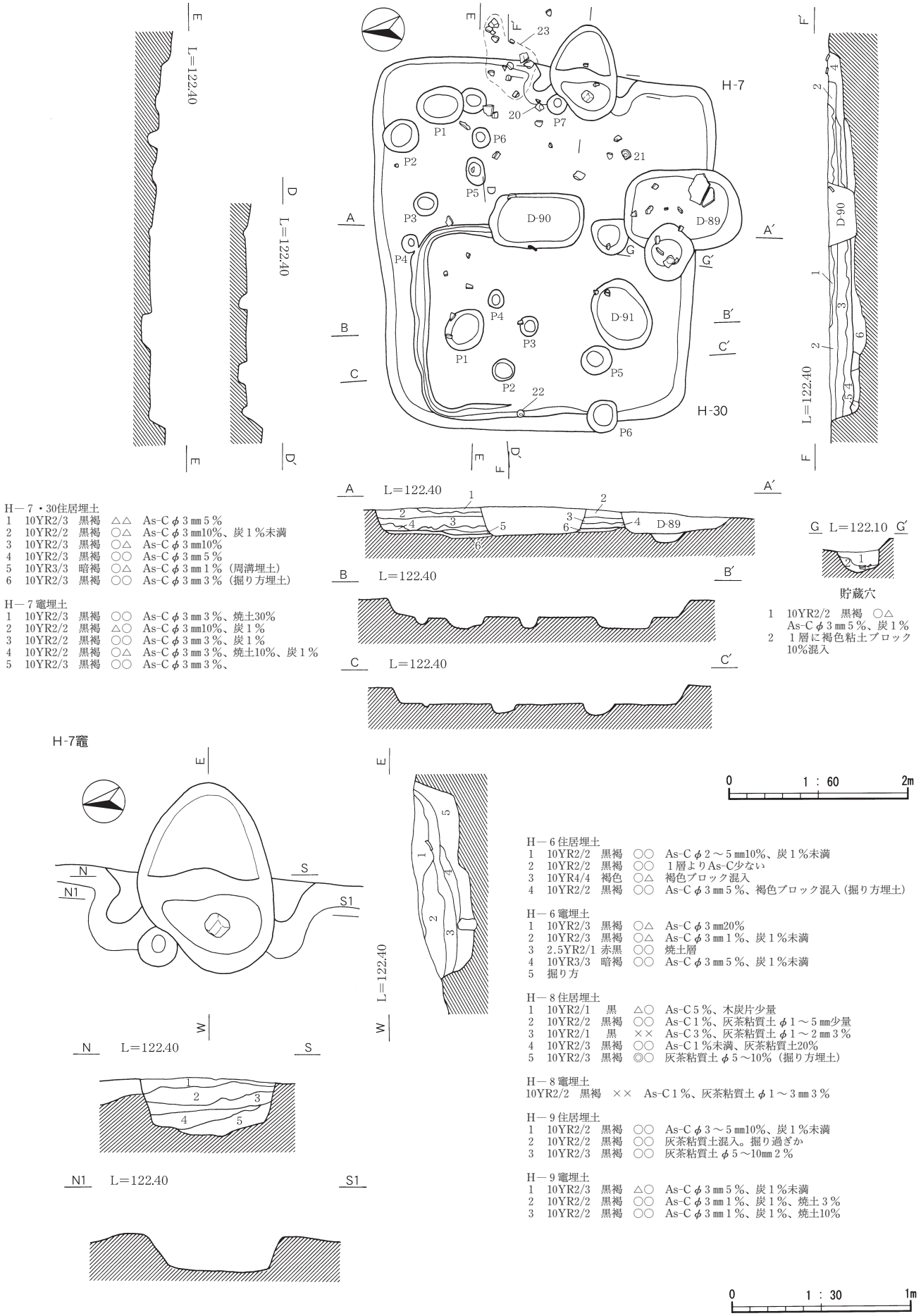


Fig.12　H－6・8・9号住居跡

H-7・30



H－7・30住居埋土
1　10YR2/3　黒褐　△△　As-C φ3㎜5％
2　10YR2/2　黒褐　○△　As-C φ3㎜10%、炭1％未満
3　10YR2/3　黒褐　○△　As-C φ3㎜10%
4　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ3㎜5％
5　10YR3/3　暗褐　○△　As-C φ3㎜1％（周溝埋土）
6　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ3㎜3％（掘り方埋土）

H－7竈埋土
1　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ3㎜3％、焼土30%
2　10YR2/2　黒褐　△○　As-C φ3㎜10%、炭1％
3　10YR2/2　黒褐　○○　As-C φ3㎜3％、炭1％
4　10YR2/2　黒褐　○△　As-C φ3㎜3％、焼土10%、炭1％
5　10YR2/3　黒褐　○○　As-C φ3㎜3％、

貯蔵穴
1　10YR2/2　黒褐　○△　As-C φ3㎜5％、炭1％
2　1層に褐色粘土ブロック10%混入

H－6住居埋土
1　10YR2/2　黒褐　○○　As-C φ2～5㎜10%、炭1％未満
2　10YR2/2　黒褐　○○　1層よりAs-C少ない
3　10YR4/4　褐色　○△　褐色ブロック混入
4　10YR2/2　黒褐　○○　As-C φ3㎜5％、褐色ブロック混入（掘り方埋土）

H－6竈埋土
1　10YR2/3　黒褐　○△　As-C φ3㎜20%
2　10YR2/3　黒褐　○△　As-C φ3㎜1％、炭1％未満
3　2.5YR2/1 赤黒　○○　焼土層
4　10YR3/3　暗褐　○○　As-C φ3㎜5％、炭1％未満
5　掘り方

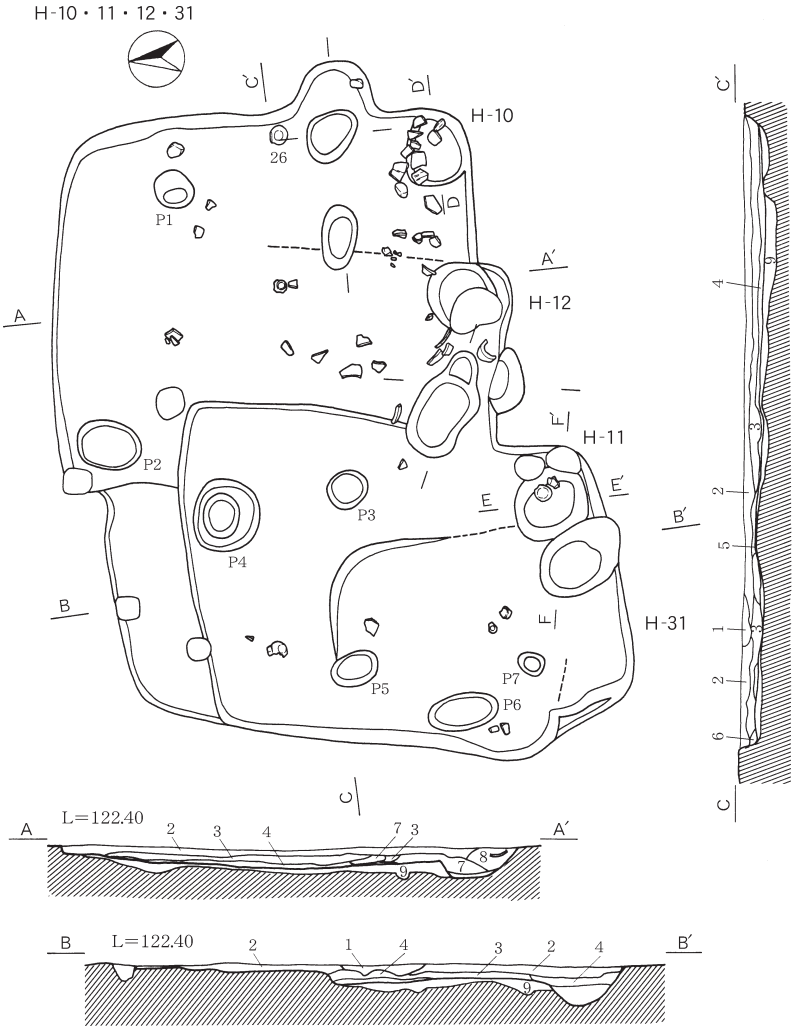
H－8住居埋土
1　10YR2/1　黒　△○　As-C 5％、木炭片少量
2　10YR2/2　黒褐　○○　As-C 1％、灰茶粘質土 φ1～5㎜少量
3　10YR2/1　黒　××　As-C 3％、灰茶粘質土 φ1～2㎜3％
4　10YR2/3　黒褐　○○　As-C 1％未満、灰茶粘質土20%
5　10YR2/3　黒褐　◎○　灰茶粘質土 φ5～10%（掘り方埋土）

H－8竈埋土
10YR2/2　黒褐　××　As-C 1％、灰茶粘質土 φ1～3㎜3％

H－9住居埋土
1　10YR2/2　黒褐　○○　As-C φ3～5㎜10%、炭1％未満
2　10YR2/2　黒褐　○○　灰茶粘質土混入。掘り過ぎか
3　10YR2/3　黒褐　○○　灰茶粘質土 φ5～10㎜2％

H－9竈埋土
1　10YR2/3　黒褐　△○　As-C φ3㎜5％、炭1％未満
2　10YR2/2　黒褐　○○　As-C φ3㎜1％、炭1％、焼土3％
3　10YR2/2　黒褐　○○　As-C φ3㎜1％、炭1％、焼土10%

Fig.13　H－7・30号住居跡



H—10・11・12・31住居埋土

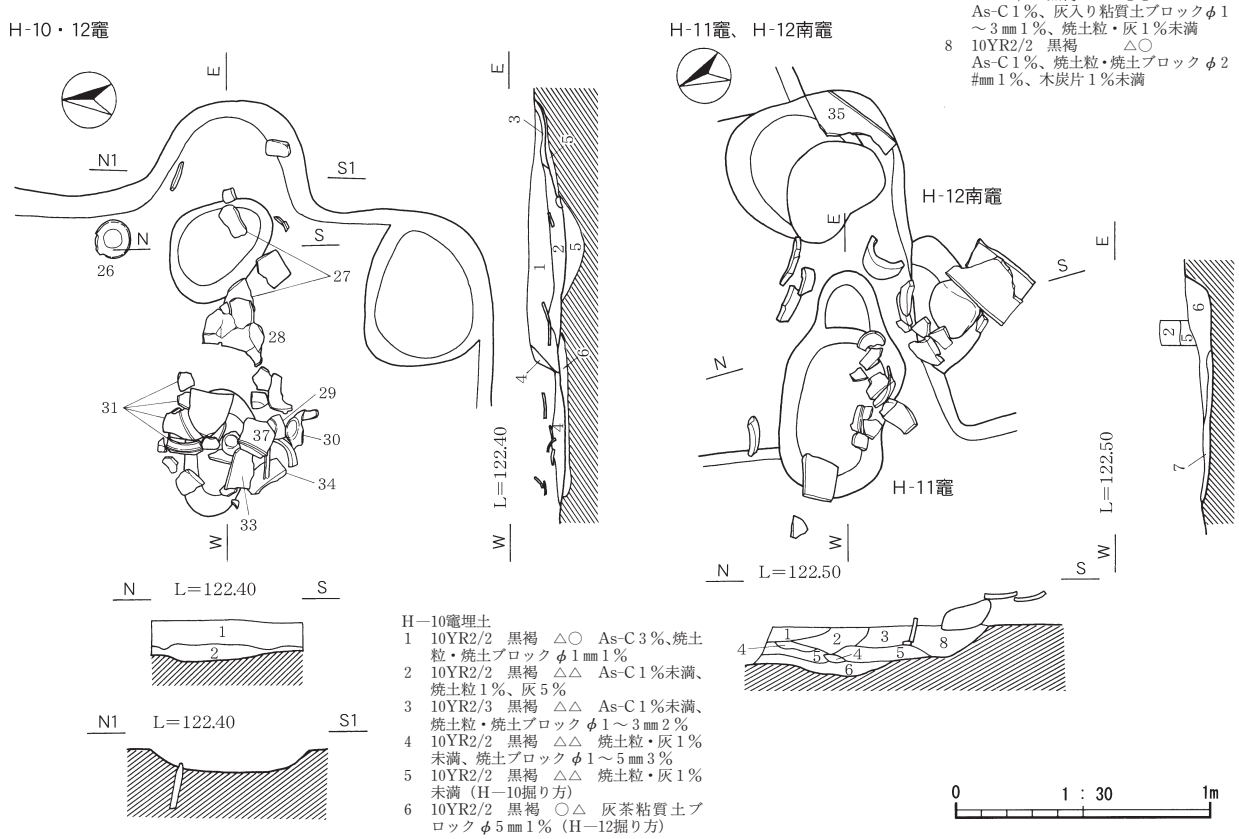
1	10YR2/3	黒褐	○○	As-C３％、焼土粒・焼土ブロック φ１～５㎜２％
2	10YR2/2	黒	×○	As-C10％、木炭１％未満
3	10YR2/2	黒褐	△○	As-C５％、灰色粘質土ブロック φ５㎜２％
4	10YR3/1	黒褐	○○	As-C１％未満、灰入り粘質土ブロック φ５～10㎜３％
5	10YR2/3	黒褐	△○	As-C１％未満、灰色粘質土ブロック φ１～５㎜１％
6	10YR3/1	黒褐	○○	灰20％、焼土１％
7	10R3/6	暗赤	△△	As-C１％未満、焼土粒・焼土ブロック φ１～５㎜10％
8	10YR4/1	褐灰	○○	灰色粘質土ブロック φ５～10㎜３％
9	10YR2/3	黒褐	◎△	灰色粘質土ブロック φ５～10㎜１％（掘り方埋土）

H—10・11・31貯蔵穴埋土

1	10YR2/1	黒	○△	As-C５％、木炭片・焼土粒１％未満
2	10YR4/1	褐灰	○○	灰色粘質土ブロック φ５～10㎜３％

H—11竈・12南竈埋土

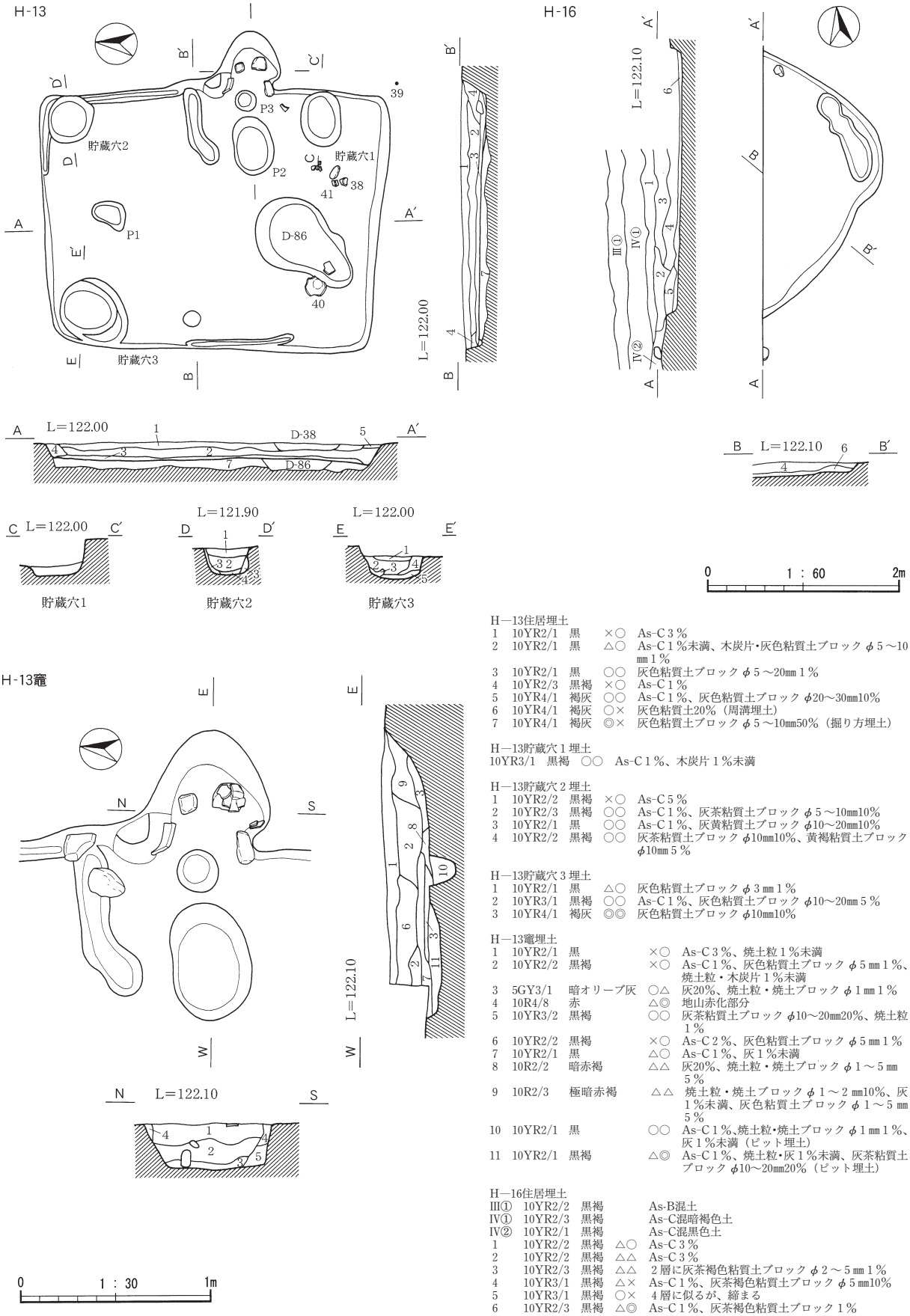
1	10R2/3	極暗赤褐	△△	As-C１％未満、焼土粒・焼土ブロック φ１～５㎜10％
2	10YR2/1	黒	△○	As-C１％、灰色粘質土ブロック φ１～３㎜２％、焼土粒１％未満
3	10YR2/2	黒褐	○○	灰色粘質土ブロック φ１～３㎜１％
4	10R2/2	極暗赤褐	△△	As-C１％未満、焼土粒・焼土ブロック φ１㎜20％
5	10YR2/2	黒褐	△○	As-C１％未満、焼土粒・灰１％
6	10YR2/2	黒褐	△○	As-C１％、焼土粒・焼土ブロックφ１㎜１％、灰１％未満
7	10YR2/2	黒褐	○○	As-C１％、灰入り粘質土ブロックφ１～３㎜１％、焼土粒・灰１％未満
8	10YR2/2	黒褐	△○	As-C１％、焼土粒・焼土ブロック φ２#㎜１％、木炭片１％未満



H—10竈埋土

1	10YR2/2	黒褐	△○	As-C３％、焼土粒・焼土ブロック φ１㎜１％
2	10YR2/2	黒褐	△△	As-C１％未満、焼土粒１％、灰５％
3	10YR2/3	黒褐	△△	As-C１％未満、焼土粒・焼土ブロック φ１～３㎜２％
4	10YR2/2	黒褐	△△	焼土粒・灰１％未満、焼土ブロック φ１～５㎜３％
5	10YR2/2	黒褐	△△	焼土粒・灰１％未満（H—10掘り方）
6	10YR2/2	黒褐	○△	灰茶粘質土ブロック φ５㎜１％（H—12掘り方）

Fig.14　H—10・11・12・31号住居跡



H—13住居埋土

1	10YR2/1	黒	×○	As-C３％
2	10YR2/1	黒	△○	As-C１％未満、木炭片・灰色粘質土ブロック φ５～10㎜１％
3	10YR2/1	黒	○○	灰色粘質土ブロック φ５～20㎜１％
4	10YR2/3	黒褐	×○	As-C１％
5	10YR4/1	褐灰	○○	As-C１％、灰色粘質土ブロック φ20～30㎜10％
6	10YR4/1	褐灰	○×	灰色粘質土20％（周溝埋土）
7	10YR4/1	褐灰	◎×	灰色粘質土ブロック φ５～10㎜50％（掘り方埋土）

H—13貯蔵穴１埋土

10YR3/1　黒褐　○○　As-C１％、木炭片１％未満

H—13貯蔵穴２埋土

1	10YR2/2	黒褐	×○	As-C５％
2	10YR2/3	黒褐	○○	As-C１％、灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜10％
3	10YR2/1	黒	○○	As-C１％、灰黄粘質土ブロック φ10～20㎜10％
4	10YR2/2	黒褐	○○	灰茶粘質土ブロック φ10㎜10％、黄褐粘質土ブロック φ10㎜５％

H—13貯蔵穴３埋土

1	10YR2/1	黒	△○	灰色粘質土ブロック φ３㎜１％
2	10YR3/1	黒褐	○○	As-C１％、灰色粘質土ブロック φ10～20㎜５％
3	10YR4/1	褐灰	◎◎	灰色粘質土ブロック φ10㎜10％

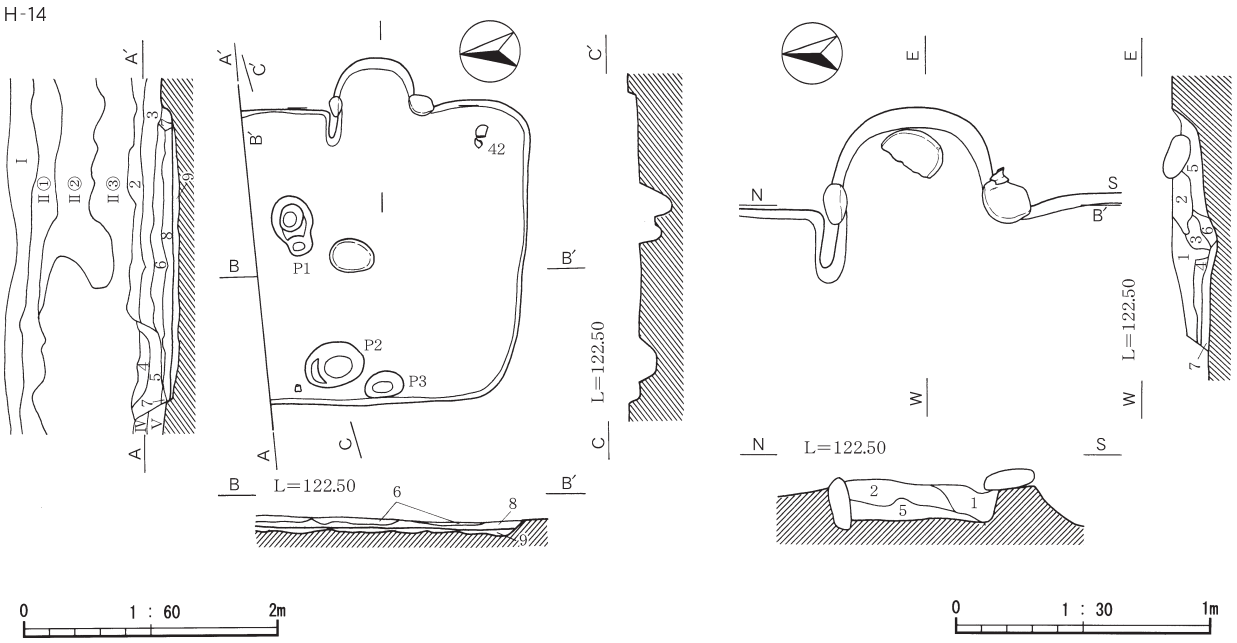
H—13竈埋土

1	10YR2/1	黒	×○	As-C３％、焼土粒１％未満
2	10YR2/2	黒褐	×○	As-C１％、灰色粘質土ブロック φ５㎜１％、焼土粒・木炭片１％未満
3	5GY3/1	暗オリーブ灰	○△	灰20％、焼土粒・焼土ブロック φ１㎜１％
4	10R4/8	赤	△◎	地山赤化部分
5	10YR3/2	黒褐	○○	灰茶粘質土ブロック φ10～20㎜20％、焼土粒１％
6	10YR2/2	黒褐	×○	As-C２％、灰色粘質土ブロック φ５㎜１％
7	10YR2/1	黒	△○	As-C１％、灰１％未満
8	10R2/2	暗赤褐	△△	灰20％、焼土粒・焼土ブロック φ１～５㎜５％
9	10R2/3	極暗赤褐	△△	焼土粒・焼土ブロック φ１～２㎜10％、灰１％未満、灰色粘質土ブロック φ１～５㎜５％
10	10YR2/1	黒	○○	As-C１％、焼土粒・焼土ブロック φ１㎜１％、灰１％未満（ピット埋土）
11	10YR2/1	黒褐	△◎	As-C１％、焼土粒・灰１％未満、灰茶粘質土ブロック φ10～20㎜20％（ピット埋土）

H—16住居埋土

Ⅲ①	10YR2/2	黒褐		As-B混土
Ⅳ①	10YR2/3	黒褐		As-C混暗褐色土
Ⅳ②	10YR2/1	黒褐		As-C混黒色土
1	10YR2/2	黒褐	△○	As-C３％
2	10YR2/2	黒褐	△△	As-C３％
3	10YR2/3	黒褐	△△	２層に灰茶褐色粘質土ブロック φ２～５㎜１％
4	10YR3/1	黒褐	△×	As-C１％、灰茶褐色粘質土ブロック φ５㎜10％
5	10YR3/1	黒褐	○×	４層に似るが、締まる
6	10YR2/3	黒褐	△◎	As-C１％、灰茶褐色粘質土ブロック１％

Fig.15　H—13号住居跡

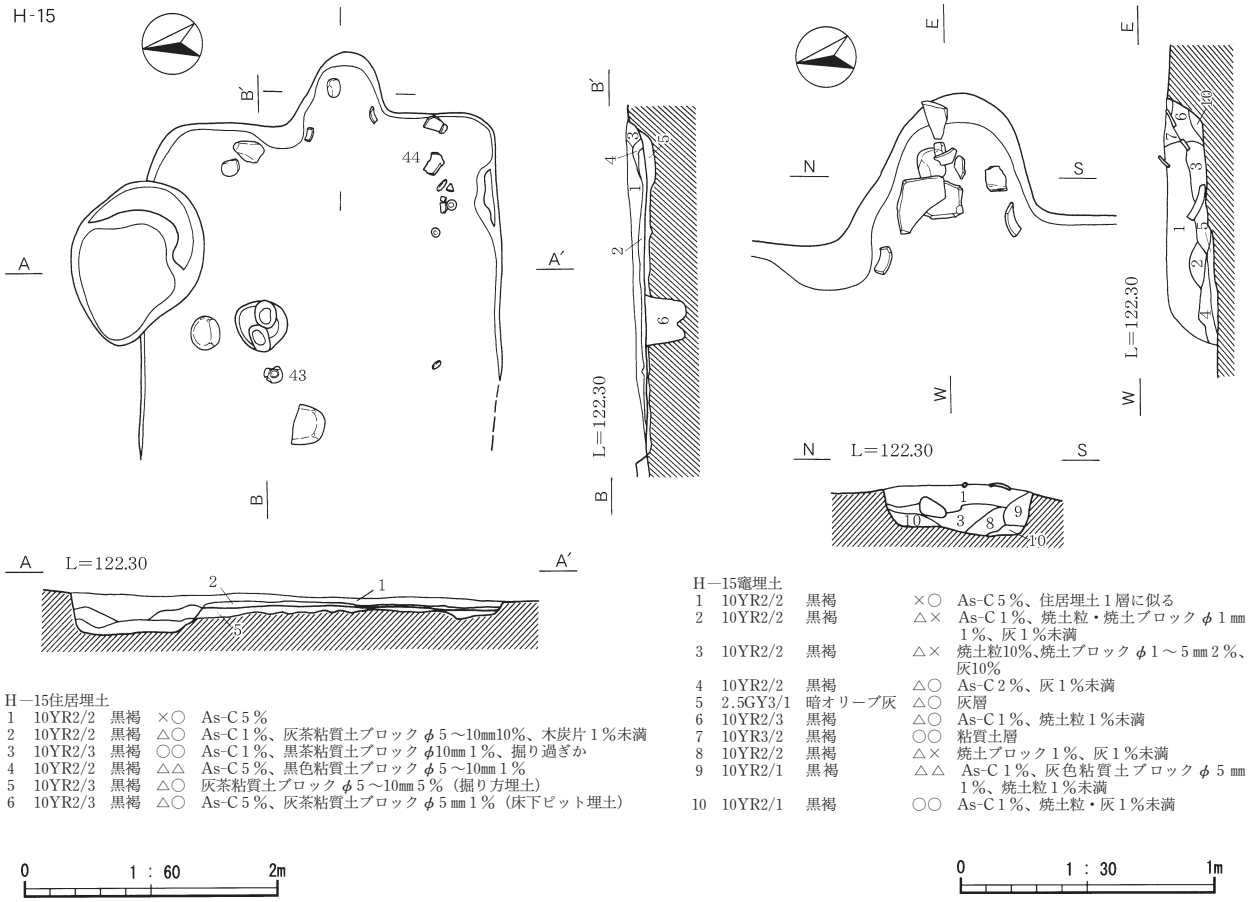


H—14住居埋土

Ⅰ	10YR4/3	にぶい黄褐	×△	表土層
Ⅱ①	10YR4/2	灰黄褐	×△	スコリア２％、砂質
Ⅱ②	10YR4/4	褐	×△	スコリア10％、砂質
Ⅱ③	10YR3/2	黒褐	×△	スコリア10％、砂質
Ⅲ	10YR3/1	黒褐	×△	スコリア１％、砂質、As-B相当層
Ⅳ	10YR2/2	黒褐	×◎	As-C20％、C混黒色土
Ⅴ	10YR2/1	黒	◎◎	As-C15％、黒色粘質土
1	10YR3/1	黒褐	×△	B混土のピット埋土
2	10YR3/2	黒褐	×○	As-C15％、木炭片１％未満
3	10YR3/3	暗褐	×△	As-C３％、木炭片・焼土ブロック φ２㎜１％
4	10YR3/1	黒褐	×△	As-C５％、木炭片・焼土ブロック φ１㎜１％
5	10YR3/2	黒褐	×△	As-C10％、黒色粘質土ブロック φ５～10㎜１％未満
6	10YR2/3	黒褐	○○	As-C１％、木炭片１％未満、灰茶粘質土ブロック φ10～20㎜１％
7	10YR3/1	黒褐	○○	As-C20％、灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜50％
8	10YR3/2	黒褐	○○	As-C１％未満、灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜20％
9	10YR4/1	褐灰	△○	灰茶粘質土ブロック φ10㎜２％（掘り方埋土）

H—14竈埋土

1	10YR2/1	黒	×○	As-C１％、焼土ブロック φ１～２㎜２％
2	2.5YR2/1	赤黒	×○	As-C１％、焼土粒・焼土ブロック φ１～５㎜10％
3	10YR2/1	黒	△○	As-C１％、灰20％、焼土ブロック φ１㎜２％
4	2.5YR2/1	赤黒	×○	As-C１％、焼土ブロック φ２㎜、灰含む
5	10YR2/2	黒褐	△○	As-C１％、焼土ブロック φ２㎜１％未満
6	10YR2/2	黒褐	△×	As-C１％、焼土粒・灰１％未満
7	10YR2/2	黒褐	△○	焼土粒・灰１％未満



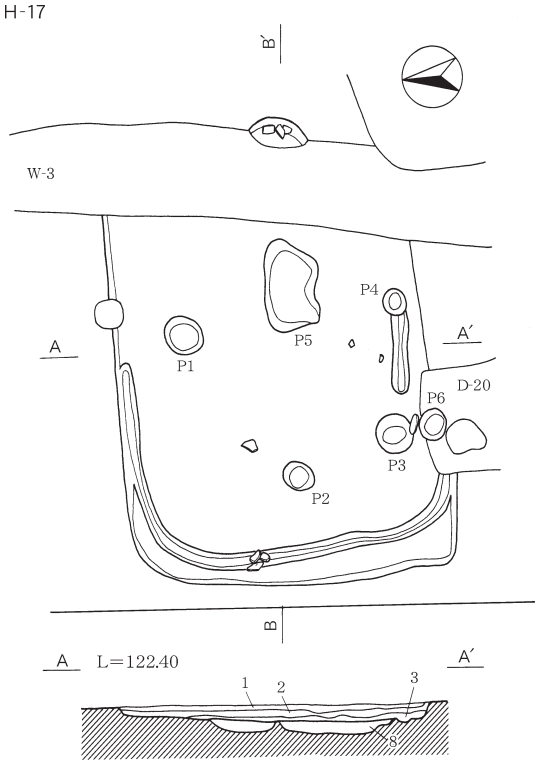
H—15住居埋土

1	10YR2/2	黒褐	×○	As-C５％
2	10YR2/2	黒褐	△○	As-C１％、灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜10％、木炭片１％未満
3	10YR2/3	黒褐	○○	As-C１％、黒茶粘質土ブロック φ10㎜１％、掘り過ぎか
4	10YR2/2	黒褐	△△	As-C５％、黒色粘質土ブロック φ５～10㎜１％
5	10YR2/3	黒褐	△○	灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜５％（掘り方埋土）
6	10YR2/3	黒褐	△○	As-C５％、灰茶粘質土ブロック φ５㎜１％（床下ピット埋土）

H—15竈埋土

1	10YR2/2	黒褐	×○	As-C５％、住居埋土１層に似る
2	10YR2/2	黒褐	△×	As-C１％、焼土粒・焼土ブロック φ１㎜１％、灰１％未満
3	10YR2/2	黒褐	△×	焼土粒10％、焼土ブロック φ１～５㎜２％、灰10％
4	10YR2/2	黒褐	△○	As-C２％、灰１％未満
5	2.5GY3/1	暗オリーブ灰	△○	灰層
6	10YR2/3	黒褐	△○	As-C１％、焼土粒１％未満
7	10YR3/2	黒褐	○○	粘質土層
8	10YR2/2	黒褐	△×	焼土ブロック１％、灰１％未満
9	10YR2/1	黒褐	△△	As-C１％、灰色粘質土ブロック φ５㎜１％、焼土粒１％未満
10	10YR2/1	黒褐	○○	As-C１％、焼土粒・灰１％未満

Fig.16　H—14・15号住居跡



H—17住居埋土

1	10YR2/3	黒褐	△○	As-C20%
2	10YR2/2	黒褐	△○	As-C１%、焼土ブロック φ２㎜１%、木炭片１%未満
3	10YR4/1	褐灰	○△	As-C１%未満　灰茶粘質土ブロック φ10～20㎜１%未満
4	10YR3/2	黒褐	△○	As-C10%、灰茶粘質土ブロック φ10㎜１%
5	2.5YR3/4	暗赤茶	△○	As-C１%未満、焼土粒・焼土ブロック φ１㎜５%（竈埋土）
6	10R2/3	極暗赤褐	×△	焼土粒・焼土ブロック φ１～５㎜７%
7	10YR3/3	暗褐	△○	As-C１%、焼土ブロック φ２㎜２%、黄褐粘質土ブロック φ５㎜５%
8	10YR3/3	暗褐	△○	灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜５%（掘り方）

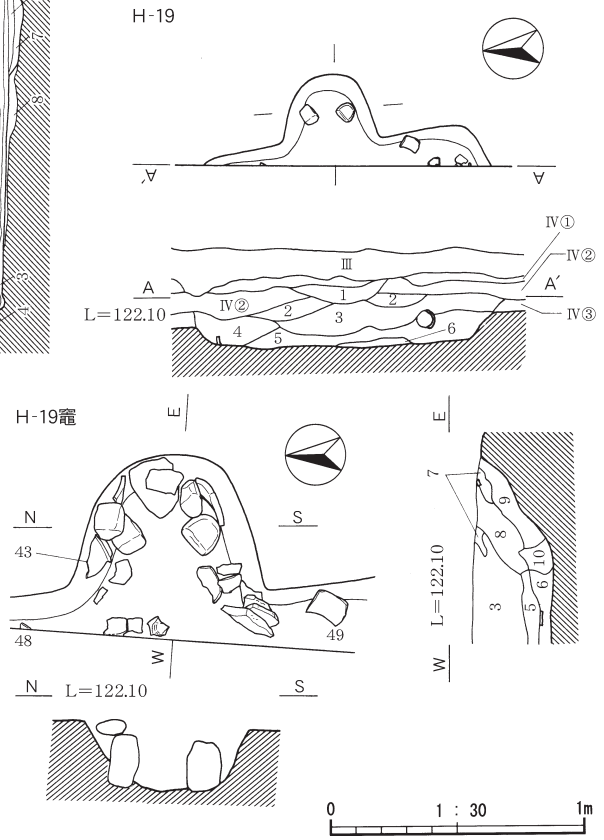
H—19住居埋土
Ⅲ～Ⅳ③　H—18住居跡と同じ

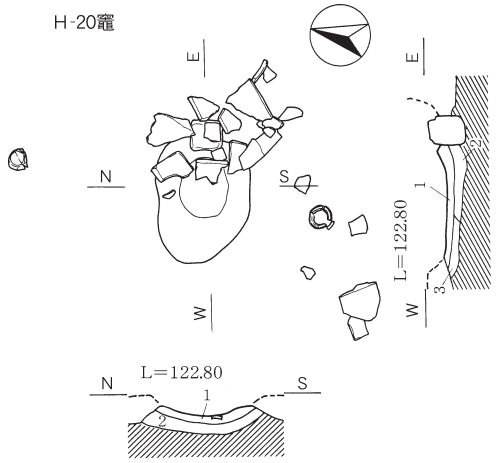
1	10YR2/3	黒褐	×△	Ⅳ②層類似。流出土か
2	10YR2/3	黒褐	×△	Ⅳ②層類似。流出土か
3	10YR2/3	黒褐	△○	As-C３%、２層より暗色
4	10YR2/3	黒褐	△○	Ⅳ②とⅣ③の混合土
5	10YR2/3	黒褐	○○	灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜30%
6	10YR3/1	黒褐	△×	５層に灰・焼土粒混入
7	2.5YR3/6	暗赤褐色	×○	As-C１%未満、焼土粒・焼土ブロック φ１～５㎜50%
8	10YR2/1	黒	×△	As-C５%、焼土粒・焼土ブロック φ１㎜１%
9	10YR2/1	黒	△×	As-C・焼土粒１%未満
10	10YR2/1	黒	△×	焼土粒多、焼土ブロック φ５㎜10%（７～10層は竈覆）

H—21住居埋土

1	10YR2/2	黒褐	×○	As-C１%未満、灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜１%、木炭片１%未満
2	10YR3/2	黒褐	○○	灰茶粘質土ブロック層
3	10YR3/3	黒褐	△×	As-C１%未満、灰茶粘質土ブロック φ10㎜２%
4	10YR3/3	黒褐	△○	灰茶粘質土ブロック φ５㎜30%
5	10YR3/3	黒褐	△○	灰茶粘質土ブロック φ10～20㎜20%
6	10YR2/1	黒	×○	As-C１%未満、As-B多
7	10YR4/1	褐灰	○○	灰色粘質土ブロック φ５～10㎜５%（掘り方）

※１～３層は砂質っぽく、As-Bを含むか





H—20竈埋土

1	10R4/	赤	△◎	ガチンガチン。竈火床部
2	10R3/3	暗赤褐	○×	焼土粒１%未満。（掘り方）
3	5YR2/4	極暗赤褐	△△	焼土粒多、木炭片１%未満
4	10YR3/2	黒褐		Ⅰ—３号井戸跡埋土

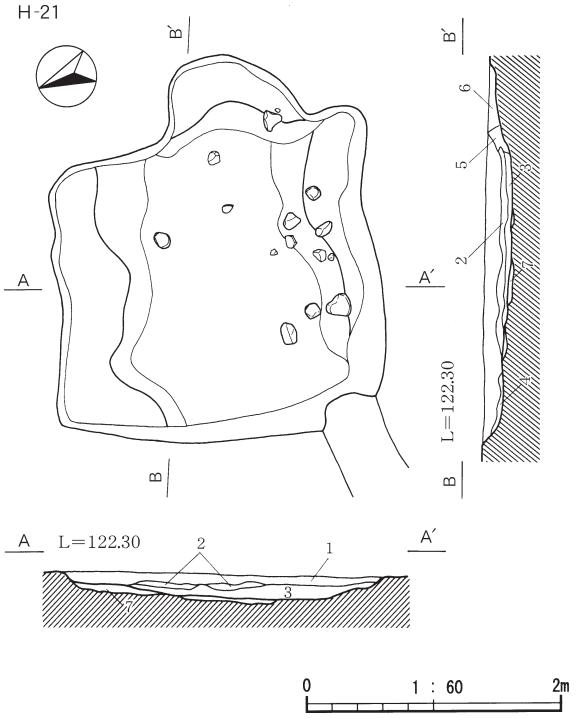
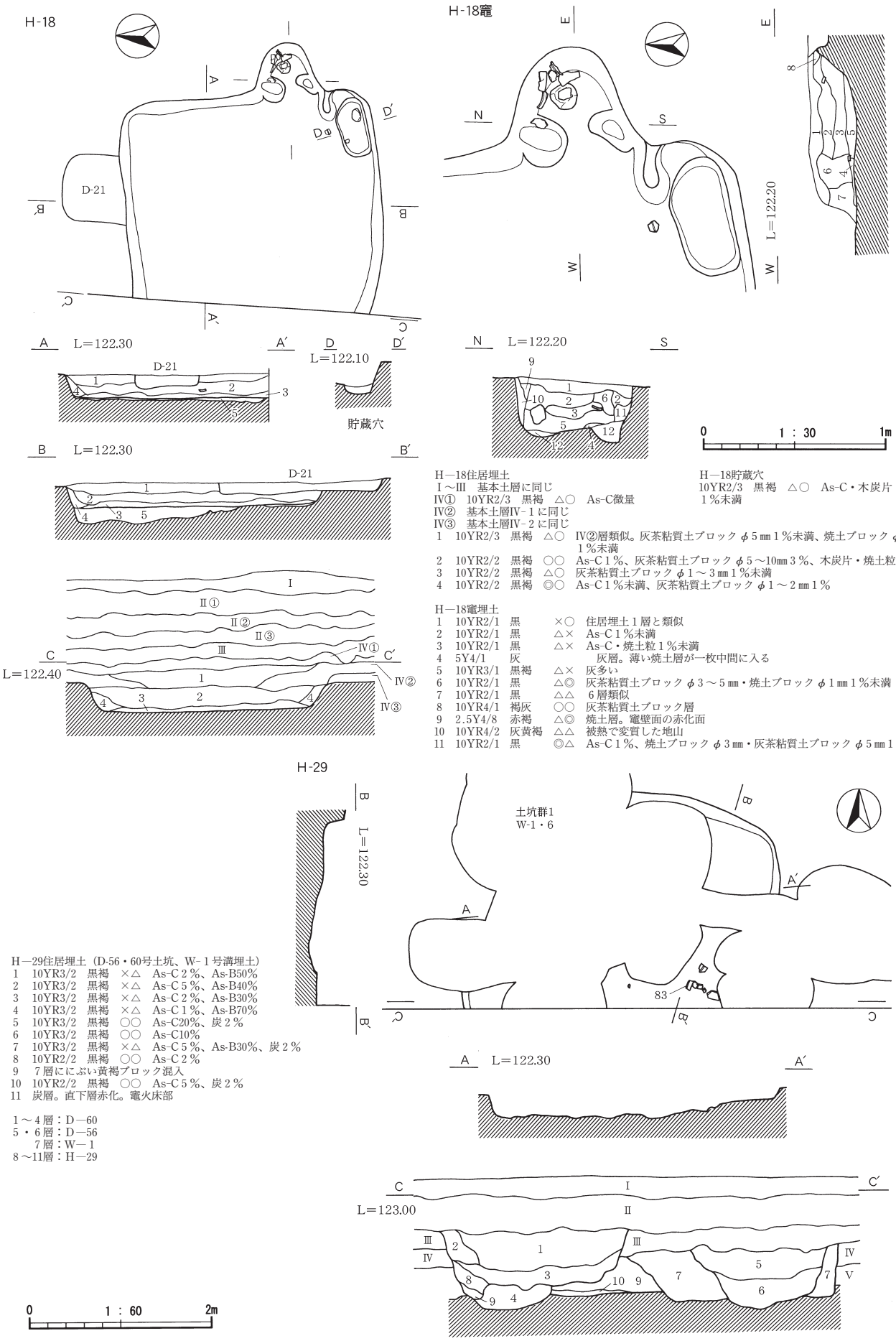


Fig.17　H—17・19・20・21号住居跡



H—18住居埋土
Ⅰ～Ⅲ　基本土層に同じ
Ⅳ①　10YR2/3　黒褐　△○　As-C微量
Ⅳ②　基本土層Ⅳ-1に同じ
Ⅳ③　基本土層Ⅳ-2に同じ
1　10YR2/3　黒褐　△○　Ⅳ②層類似。灰茶粘質土ブロック φ5㎜1％未満、焼土ブロック φ1～2㎜1％未満
2　10YR2/2　黒褐　○○　As-C1％、灰茶粘質土ブロック φ5～10㎜3％、木炭片・焼土粒1％未満
3　10YR2/2　黒褐　△○　灰茶粘質土ブロック φ1～3㎜1％未満
4　10YR2/2　黒褐　◎○　As-C1％未満、灰茶粘質土ブロック φ1～2㎜1％

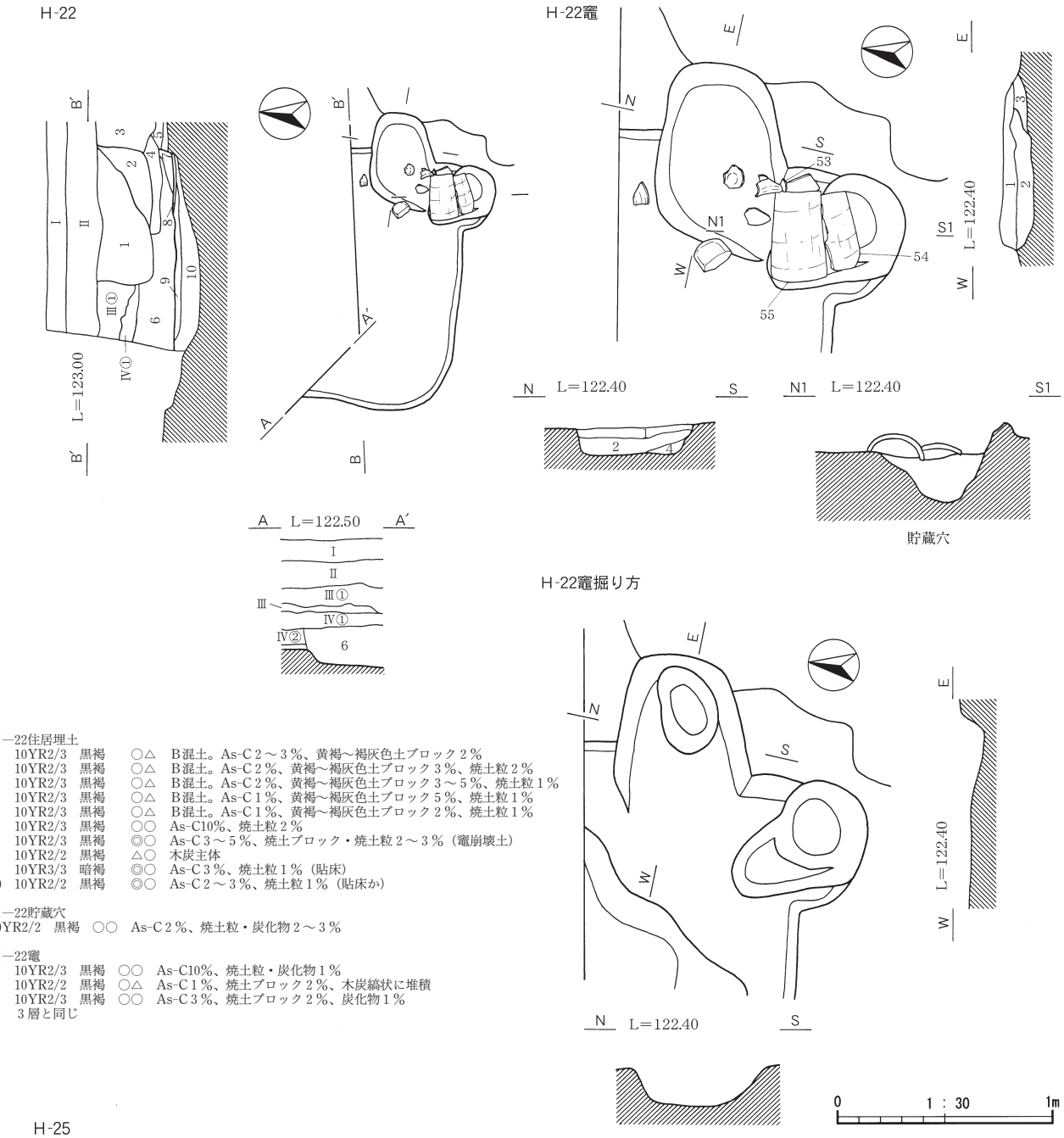
H—18貯蔵穴
10YR2/3　黒褐　△○　As-C・木炭片1％未満

H—18竈埋土
1　10YR2/1　黒　×○　住居埋土1層と類似
2　10YR2/1　黒　△×　As-C1％未満
3　10YR2/1　黒　△×　As-C・焼土粒1％未満
4　5Y4/1　灰　灰層。薄い焼土層が一枚中間に入る
5　10YR3/1　黒褐　△×　灰多い
6　10YR2/1　黒　△◎　灰茶粘質土ブロック φ3～5㎜・焼土ブロック φ1㎜1％未満
7　10YR2/1　黒　△△　6層類似
8　10YR4/1　褐灰　○○　灰茶粘質土ブロック層
9　2.5Y4/8　赤褐　△◎　焼土層。竈壁面の赤化面
10　10YR4/2　灰黄褐　△△　被熱で変質した地山
11　10YR2/1　黒　◎△　As-C1％、焼土ブロック φ3㎜・灰茶粘質土ブロック φ5㎜1％未満

H—29住居埋土（D-56・60号土坑、W-1号溝埋土）
1　10YR3/2　黒褐　×△　As-C2％、As-B50％
2　10YR3/2　黒褐　×△　As-C5％、As-B40％
3　10YR3/2　黒褐　×△　As-C2％、As-B30％
4　10YR3/2　黒褐　×△　As-C1％、As-B70％
5　10YR3/2　黒褐　○○　As-C20％、炭2％
6　10YR3/2　黒褐　○○　As-C10％
7　10YR3/2　黒褐　×△　As-C5％、As-B30％、炭2％
8　10YR2/2　黒褐　○○　As-C2％
9　7層ににぶい黄褐ブロック混入
10　10YR2/2　黒褐　○○　As-C5％、炭2％
11　炭層。直下層赤化。竈火床部

1～4層：D—60
5・6層：D—56
7層：W—1
8～11層：H—29

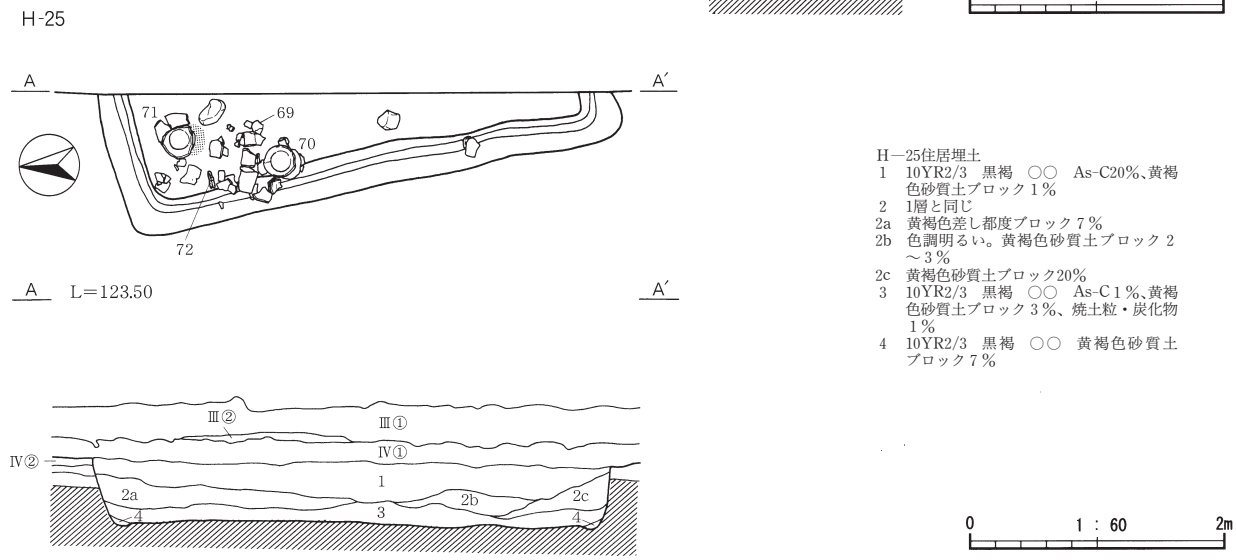
Fig.18　H—18・29号住居跡



H—22住居埋土
1　10YR2/3　黒褐　○△　B混土。As-C２～３％、黄褐～褐灰色土ブロック２％
2　10YR2/3　黒褐　○△　B混土。As-C２％、黄褐～褐灰色土ブロック３％、焼土粒２％
3　10YR2/3　黒褐　○△　B混土。As-C２％、黄褐～褐灰色土ブロック３～５％、焼土粒１％
4　10YR2/3　黒褐　○△　B混土。As-C１％、黄褐～褐灰色土ブロック５％、焼土粒１％
5　10YR2/3　黒褐　○△　B混土。As-C１％、黄褐～褐灰色土ブロック２％、焼土粒１％
6　10YR2/3　黒褐　○○　As-C10％、焼土粒２％
7　10YR2/3　黒褐　◎○　As-C３～５％、焼土ブロック・焼土粒２～３％（竈崩壊土）
8　10YR2/2　黒褐　△○　木炭主体
9　10YR3/3　暗褐　◎○　As-C３％、焼土粒１％（貼床）
10　10YR2/2　黒褐　◎○　As-C２～３％、焼土粒１％（貼床か）

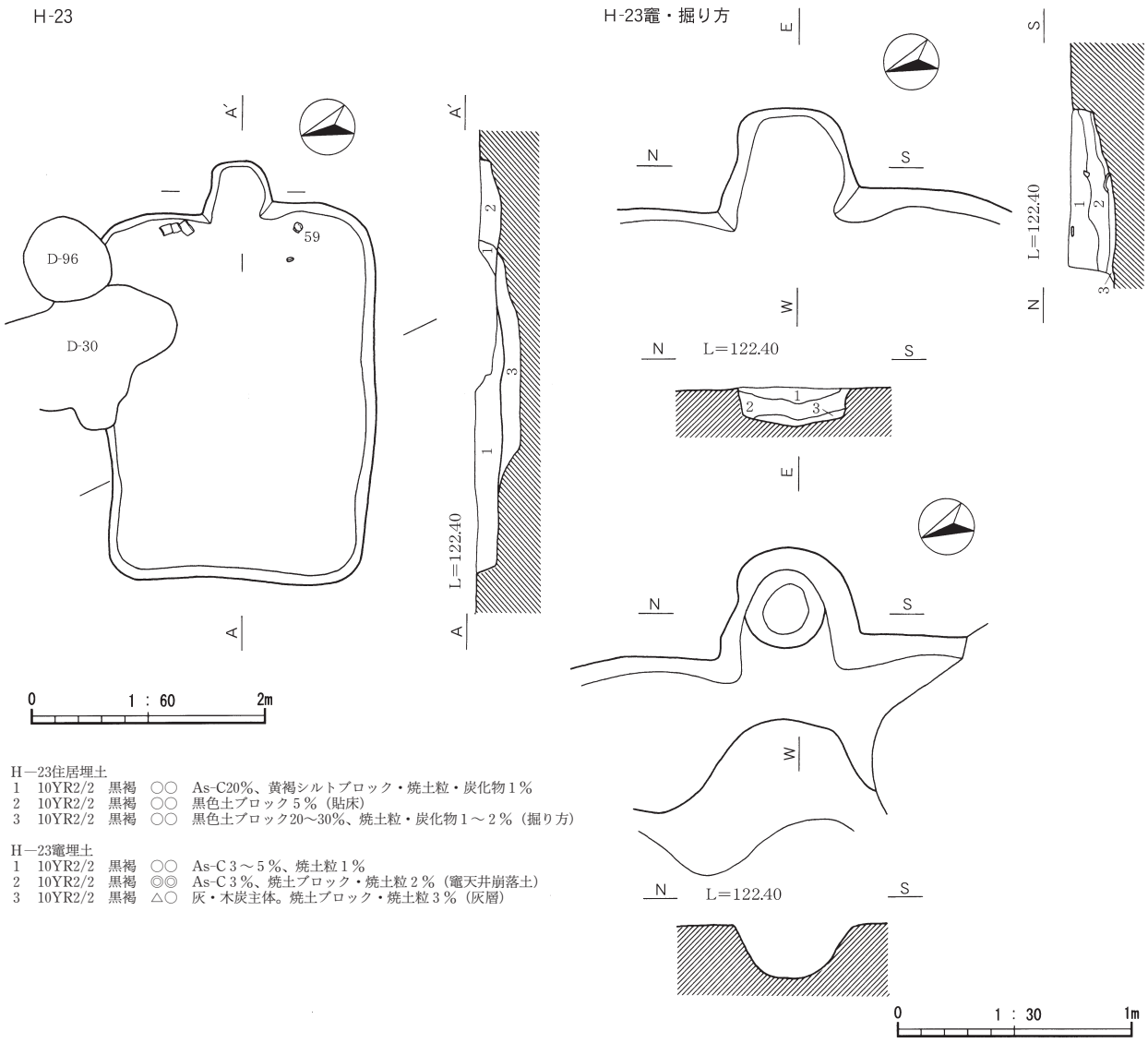
H—22貯蔵穴
10YR2/2　黒褐　○○　As-C２％、焼土粒・炭化物２～３％

H—22竈
1　10YR2/3　黒褐　○○　As-C10％、焼土粒・炭化物１％
2　10YR2/2　黒褐　○△　As-C１％、焼土ブロック２％、木炭縞状に堆積
3　10YR2/3　黒褐　○○　As-C３％、焼土ブロック２％、炭化物１％
4　３層と同じ



H—25住居埋土
1　10YR2/3　黒褐　○○　As-C20％、黄褐色砂質土ブロック１％
2　1層と同じ
2a　黄褐色差し都度ブロック７％
2b　色調明るい。黄褐色砂質土ブロック２～３％
2c　黄褐色砂質土ブロック20％
3　10YR2/3　黒褐　○○　As-C１％、黄褐色砂質土ブロック３％、焼土粒・炭化物１％
4　10YR2/3　黒褐　○○　黄褐色砂質土ブロック７％

Fig.19　H—22・25号住居跡



H―23住居埋土
1　10YR2/2　黒褐　○○　As-C20%、黄褐シルトブロック・焼土粒・炭化物１％
2　10YR2/2　黒褐　○○　黒色土ブロック５％（貼床）
3　10YR2/2　黒褐　○○　黒色土ブロック20～30%、焼土粒・炭化物１～２％（掘り方）

H―23竈埋土
1　10YR2/2　黒褐　○○　As-C３～５％、焼土粒１％
2　10YR2/2　黒褐　◎◎　As-C３％、焼土ブロック・焼土粒２％（竈天井崩落土）
3　10YR2/2　黒褐　△○　灰・木炭主体。焼土ブロック・焼土粒３％（灰層）

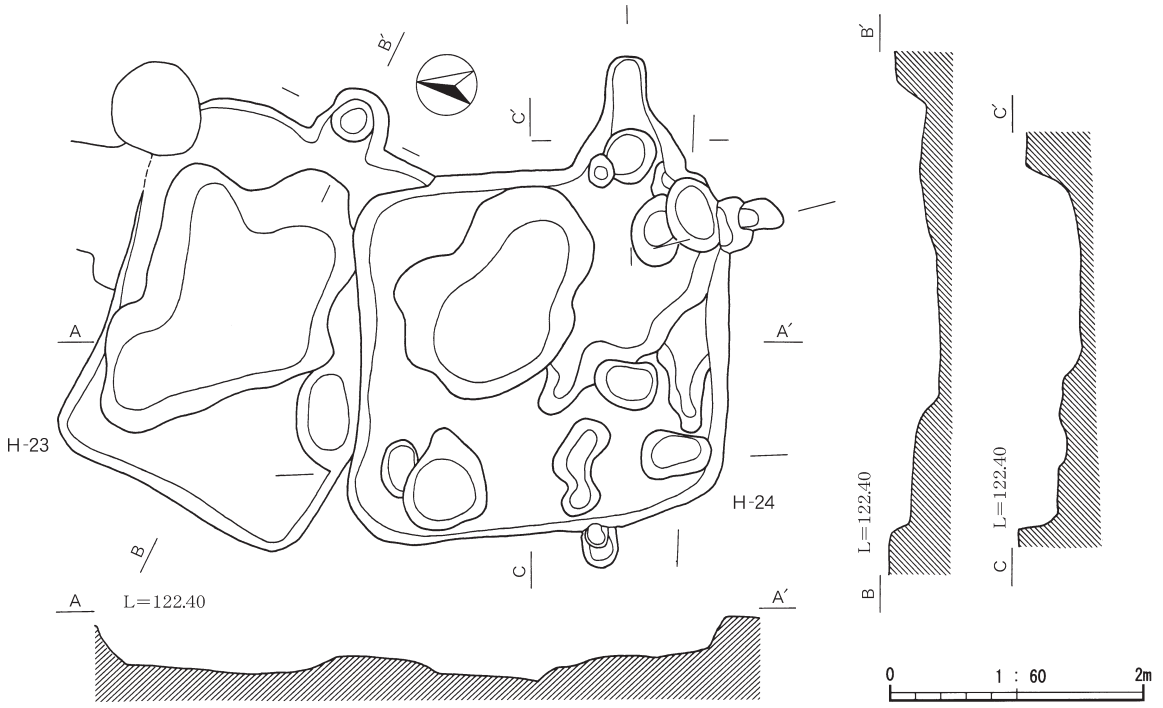


Fig.20　H―23・24号住居跡

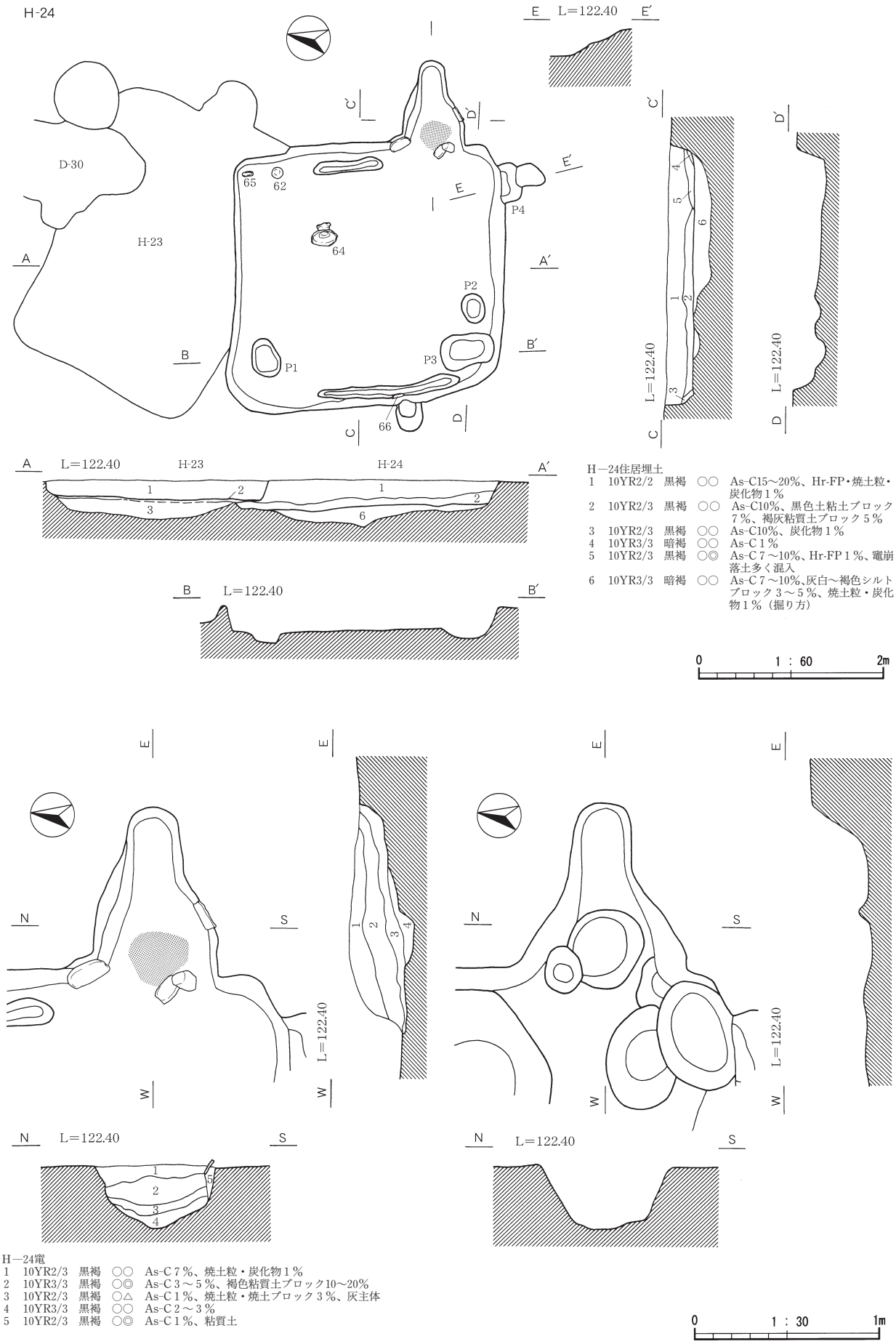
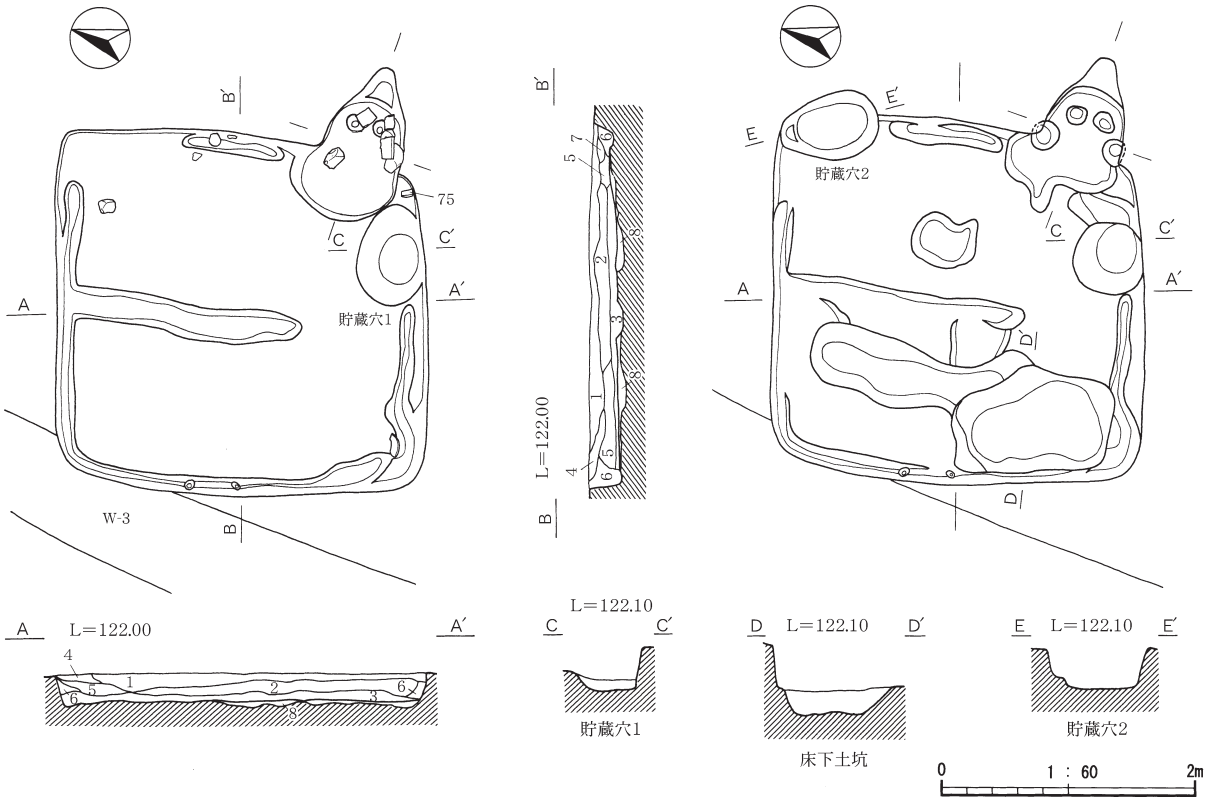


Fig.21　H−24号住居跡

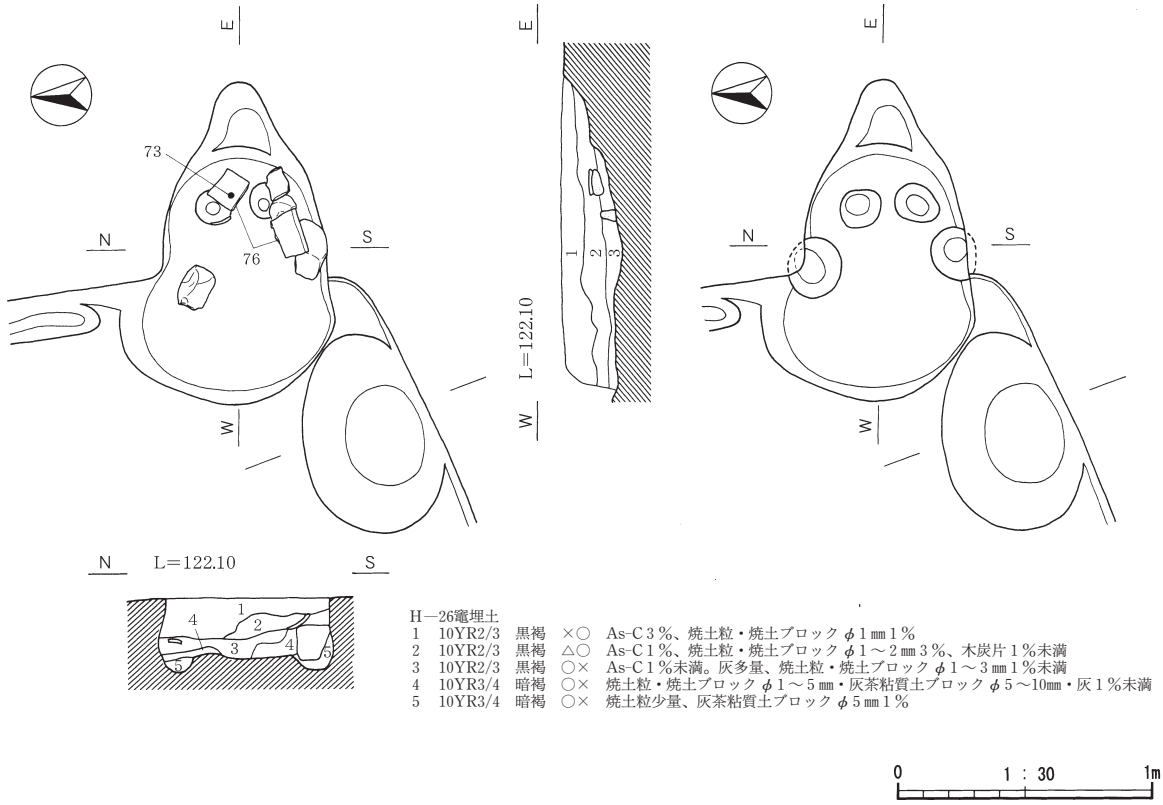
H-26



H—26住居埋土
1　10YR2/3　黒褐　×○　As-C３％
2　10YR2/3　黒褐　×○　As-C１％、灰色粘質土ブロック φ２～３㎜１％
3　10YR2/2　黒褐　△◎　As-C１％未満、灰色粘質土ブロック φ２～５㎜１％未満
4　10YR2/3　黒褐　×○　As-C１％
5　10YR2/3　黒褐　△○　As-C１％、灰色粘質土ブロック φ２～５㎜１％
6　10YR2/3　黒褐　△○　As-C１％未満、灰色粘質土ブロック φ２㎜１％
7　10YR3/1　黒褐　△○　As-C１％未満、灰色粘質土ブロック φ10㎜１％未満
8　掘り方

H—26貯蔵穴
10YR2/1　黒　○○　灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜１％、木炭片１％

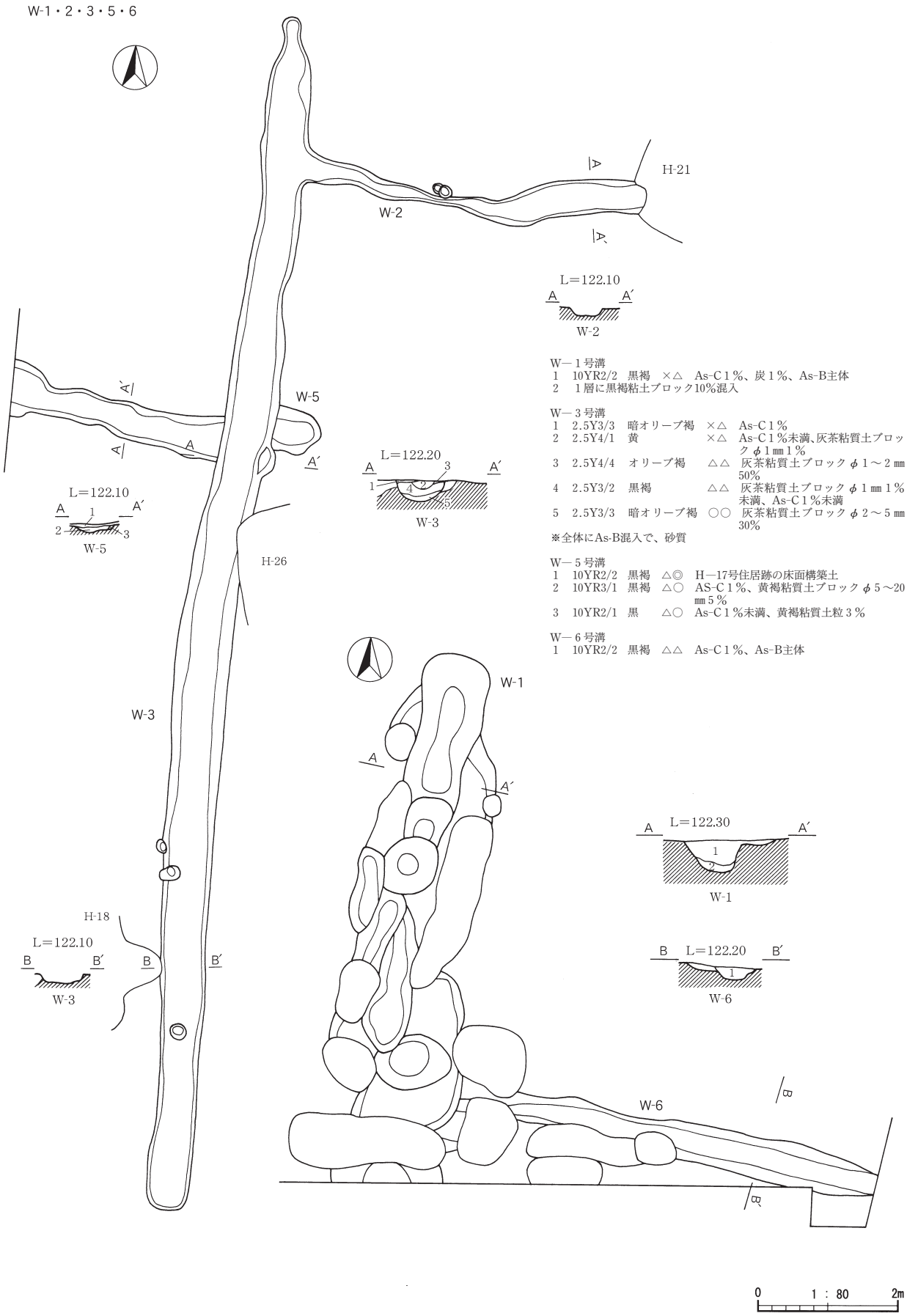
H—26床下土坑
10YR2/2　黒褐　△○　As-C７％、黄褐砂質ブロック φ５～10㎜１％



H—26竈埋土
1　10YR2/3　黒褐　×○　As-C３％、焼土粒・焼土ブロック φ１㎜１％
2　10YR2/3　黒褐　△○　As-C１％、焼土粒・焼土ブロック φ１～２㎜３％、木炭片１％未満
3　10YR2/3　黒褐　○×　As-C１％未満。灰多量、焼土粒・焼土ブロック φ１～３㎜１％未満
4　10YR3/4　暗褐　○×　焼土粒・焼土ブロック φ１～５㎜・灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜・灰１％未満
5　10YR3/4　暗褐　○×　焼土粒少量、灰茶粘質土ブロック φ５㎜１％

0 1：30 1m

Fig.22　H—26号住居跡



W—1号溝
1　10YR2/2　黒褐　×△　As-C 1％、炭 1％、As-B主体
2　1層に黒褐粘土ブロック10％混入

W—3号溝
1　2.5Y3/3　暗オリーブ褐　×△　As-C 1％
2　2.5Y4/1　黄　×△　As-C 1％未満、灰茶粘質土ブロック φ 1㎜ 1％
3　2.5Y4/4　オリーブ褐　△△　灰茶粘質土ブロック φ 1～2㎜ 50％
4　2.5Y3/2　黒褐　△△　灰茶粘質土ブロック φ 1㎜ 1％未満、As-C 1％未満
5　2.5Y3/3　暗オリーブ褐　○○　灰茶粘質土ブロック φ 2～5㎜ 30％
※全体にAs-B混入で、砂質

W—5号溝
1　10YR2/2　黒褐　△◎　H—17号住居跡の床面構築土
2　10YR3/1　黒褐　△○　AS-C 1％、黄褐粘質土ブロック φ 5～20㎜ 5％
3　10YR2/1　黒　△○　As-C 1％未満、黄褐粘質土粒 3％

W—6号溝
1　10YR2/2　黒褐　△△　As-C 1％、As-B主体

Fig.23　W—1・2・3・5・6号溝跡

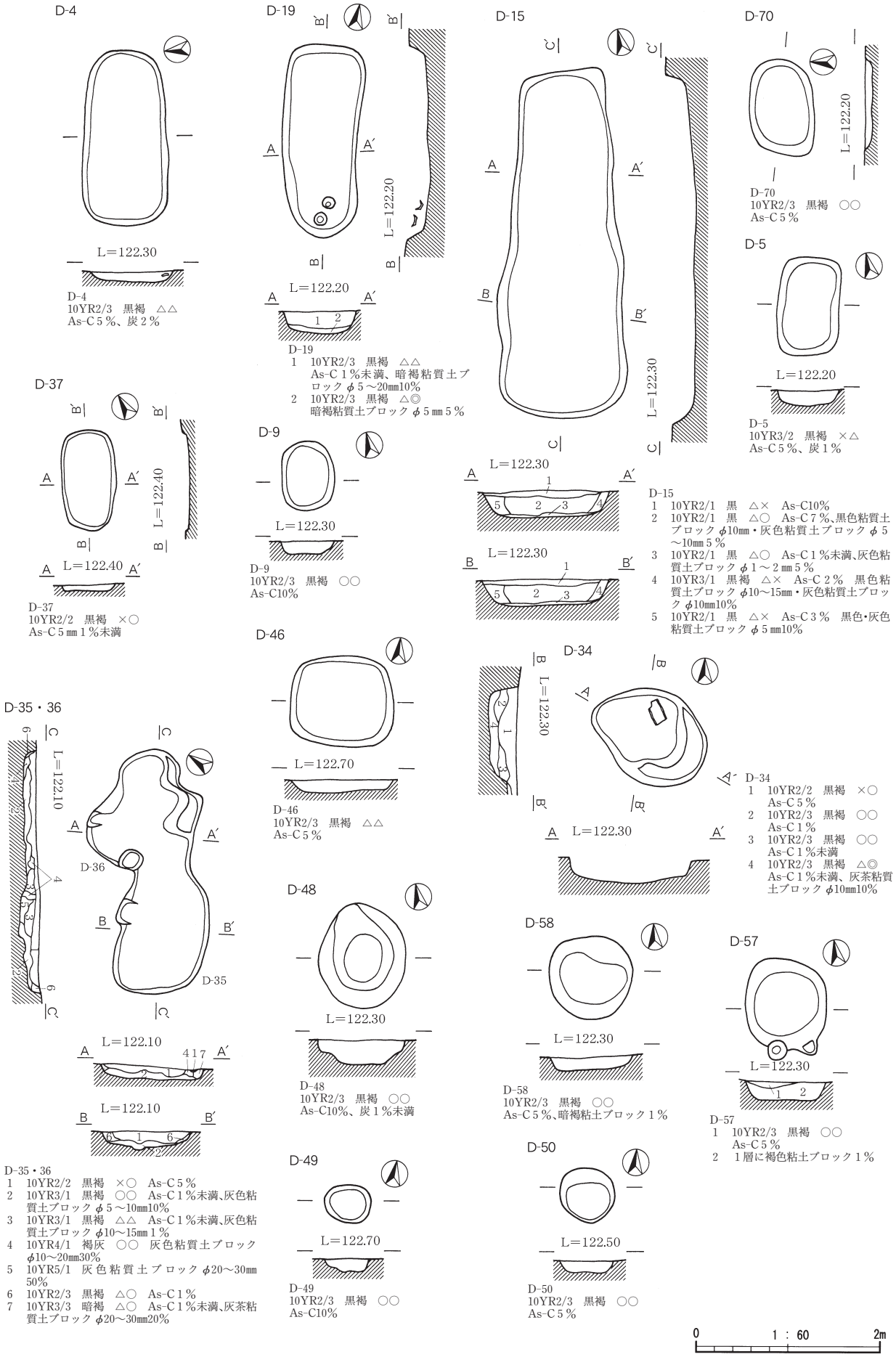

D-4
L=122.30
D-4
10YR2/3 黒褐 △△
As-C 5 %、炭 2 %
D-19
L=122.20
L=122.20
D-19
1 10YR2/3 黒褐 △△
As-C 1 %未満、暗褐粘質土ブロック φ 5 ～20mm10%
2 10YR2/3 黒褐 △◎
暗褐粘質土ブロック φ 5 mm 5 %
D-15
L=122.30
L=122.30
L=122.30
D-15
1 10YR2/1 黒 △× As-C10%
2 10YR2/1 黒 △○ As-C 7 %、黒色粘質土ブロック φ10mm・灰色粘質土ブロック φ 5 ～10mm 5 %
3 10YR2/1 黒 △○ As-C 1 %未満、灰色粘質土ブロック φ 1 ～ 2 mm 5 %
4 10YR3/1 黒褐 △× As-C 2 % 黒色粘質土ブロック φ10～15mm・灰色粘質土ブロック φ10mm10%
5 10YR2/1 黒 △× As-C 3 % 黒色・灰色粘質土ブロック φ 5 mm10%
D-70
L=122.20
D-70
10YR2/3 黒褐 ○○
As-C 5 %
D-5
L=122.20
D-5
10YR3/2 黒褐 ×△
As-C 5 %、炭 1 %
D-37
L=122.40
L=122.40
D-37
10YR2/2 黒褐 ×○
As-C 5 mm 1 %未満
D-9
L=122.30
D-9
10YR2/3 黒褐 ○○
As-C10%
D-46
L=122.70
D-46
10YR2/3 黒褐 △△
As-C 5 %
D-34
L=122.30
L=122.30
D-34
1 10YR2/2 黒褐 ×○
As-C 5 %
2 10YR2/3 黒褐 ○○
As-C 1 %
3 10YR2/3 黒褐 ○○
As-C 1 %未満
4 10YR2/3 黒褐 △◎
As-C 1 %未満、灰茶粘質土ブロック φ10mm10%
D-35・36
L=122.10
D-36
D-35
L=122.10
L=122.10
D-35・36
1 10YR2/2 黒褐 ×○ As-C 5 %
2 10YR3/1 黒褐 ○○ As-C 1 %未満、灰色粘質土ブロック φ 5 ～10mm10%
3 10YR3/1 黒褐 △△ As-C 1 %未満、灰色粘質土ブロック φ10～15mm 1 %
4 10YR4/1 褐灰 ○○ 灰色粘質土ブロック φ10～20mm30%
5 10YR5/1 灰色粘質土ブロック φ20～30mm 50%
6 10YR2/3 黒褐 △○ As-C 1 %
7 10YR3/3 暗褐 △○ As-C 1 %未満、灰茶粘質土ブロック φ20～30mm20%
D-48
L=122.30
D-48
10YR2/3 黒褐 ○○
As-C10%、炭 1 %未満
D-58
L=122.30
D-58
10YR2/3 黒褐 ○○
As-C 5 %、暗褐粘土ブロック 1 %
D-57
L=122.30
D-57
1 10YR2/3 黒褐 ○○
As-C 5 %
2 1 層に褐色粘土ブロック 1 %
D-49
L=122.70
D-49
10YR2/3 黒褐 ○○
As-C10%
D-50
L=122.50
D-50
10YR2/3 黒褐 ○○
As-C 5 %
0 1 : 60 2m

Fig.24 土坑（1）

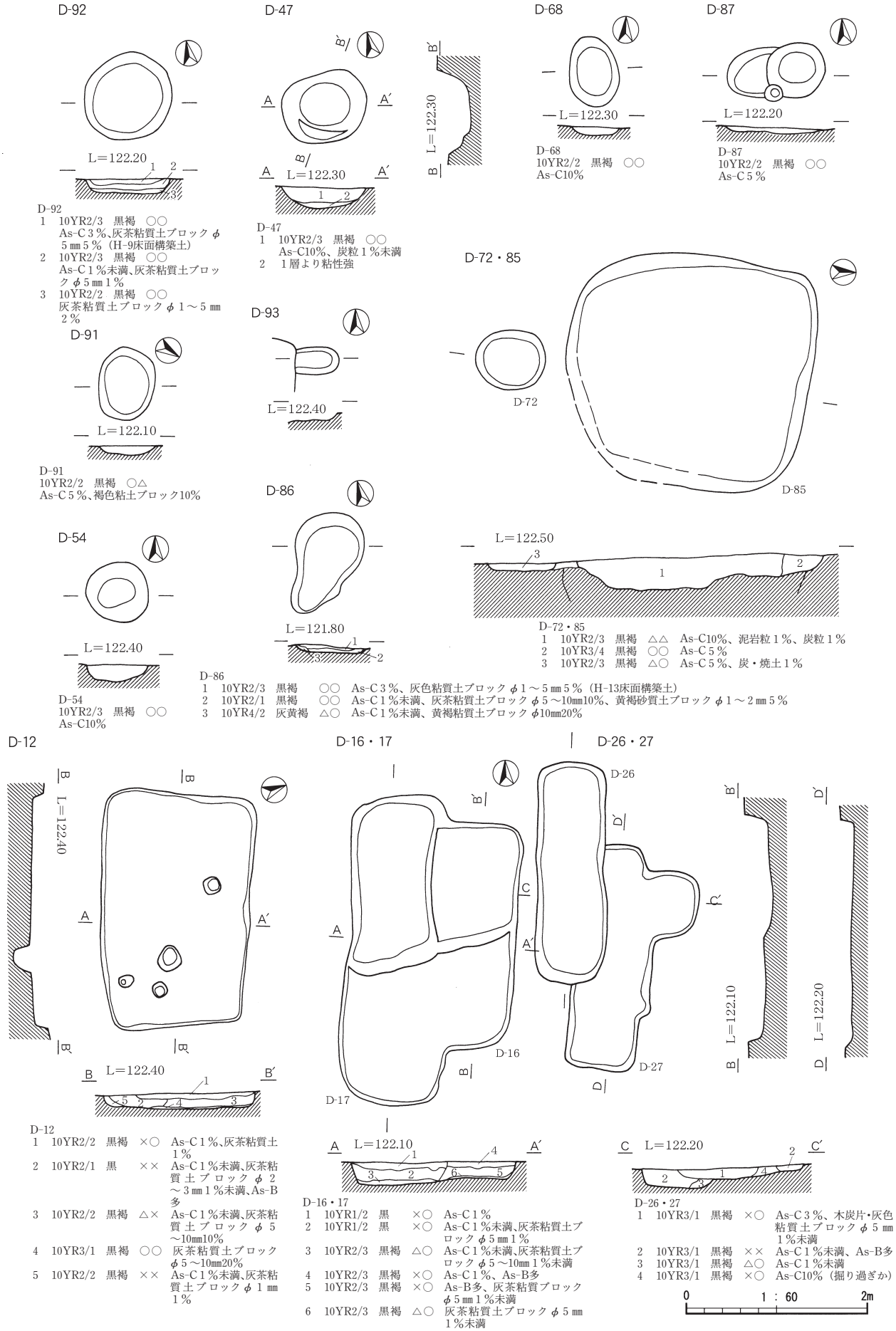

D-92
L=122.20
D-92
1 10YR2/3 黒褐 ○○
As-C３％、灰茶粘質土ブロック φ５㎜５％（H-9床面構築土）
2 10YR2/3 黒褐 ○○
As-C１％未満、灰茶粘質土ブロック φ５㎜１％
3 10YR2/2 黒褐 ○○
灰茶粘質土ブロック φ１～５㎜２％
D-47
L=122.30
D-47
1 10YR2/3 黒褐 ○○
As-C10%、炭粒１％未満
2 １層より粘性強
D-68
L=122.30
D-68
10YR2/2 黒褐 ○○
As-C10%
D-87
L=122.20
D-87
10YR2/2 黒褐 ○○
As-C５％
D-91
L=122.10
D-91
10YR2/2 黒褐 ○△
As-C５％、褐色粘土ブロック10%
D-93
L=122.40
D-72・85
D-72
D-85
D-86
L=121.80
D-86
1 10YR2/3 黒褐 ○○ As-C３％、灰色粘質土ブロック φ１～５㎜５％（H-13床面構築土）
2 10YR2/1 黒褐 ○○ As-C１％未満、灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜10%、黄褐砂質土ブロック φ１～２㎜５％
3 10YR4/2 灰黄褐 △○ As-C１％未満、黄褐粘質土ブロック φ10㎜20%
D-54
L=122.40
D-54
10YR2/3 黒褐 ○○
As-C10%
L=122.50
D-72・85
1 10YR2/3 黒褐 △△ As-C10%、泥岩粒１％、炭粒１％
2 10YR3/4 黒褐 ○○ As-C５％
3 10YR2/3 黒褐 △○ As-C５％、炭・焼土１％
D-12
L=122.40
L=122.40
D-12
1 10YR2/2 黒褐 ×○ As-C１％、灰茶粘質土１％
2 10YR2/1 黒 ×× As-C１％未満、灰茶粘質土ブロック φ２～３㎜１％未満、As-B多
3 10YR2/2 黒褐 △× As-C１％未満、灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜10%
4 10YR3/1 黒褐 ○○ 灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜20%
5 10YR2/2 黒褐 ×× As-C１％未満、灰茶粘質土ブロック φ１㎜１％
D-16・17
D-17
D-16
L=122.10
D-16・17
1 10YR1/2 黒 ×○ As-C１％
2 10YR1/2 黒 ×○ As-C１％未満、灰茶粘質土ブロック φ５㎜１％
3 10YR2/3 黒褐 △○ As-C１％未満、灰茶粘質土ブロック φ５～10㎜１％未満
4 10YR2/3 黒褐 ×○ As-C１％、As-B多
5 10YR2/3 黒褐 ×○ As-B多、灰茶粘質ブロック φ５㎜１％未満
6 10YR2/3 黒褐 △○ 灰茶粘質土ブロック φ５㎜１％未満
D-26・27
D-26
D-27
L=122.10
L=122.20
L=122.20
D-26・27
1 10YR3/1 黒褐 ×○ As-C３％、木炭片・灰色粘質土ブロック φ５㎜１％未満
2 10YR3/1 黒褐 ××
3 10YR3/1 黒褐 △○ As-C１％未満
4 10YR3/1 黒褐 ×○ As-C10%（掘り過ぎか）
0 1：60 2m

Fig.25　土坑（2）

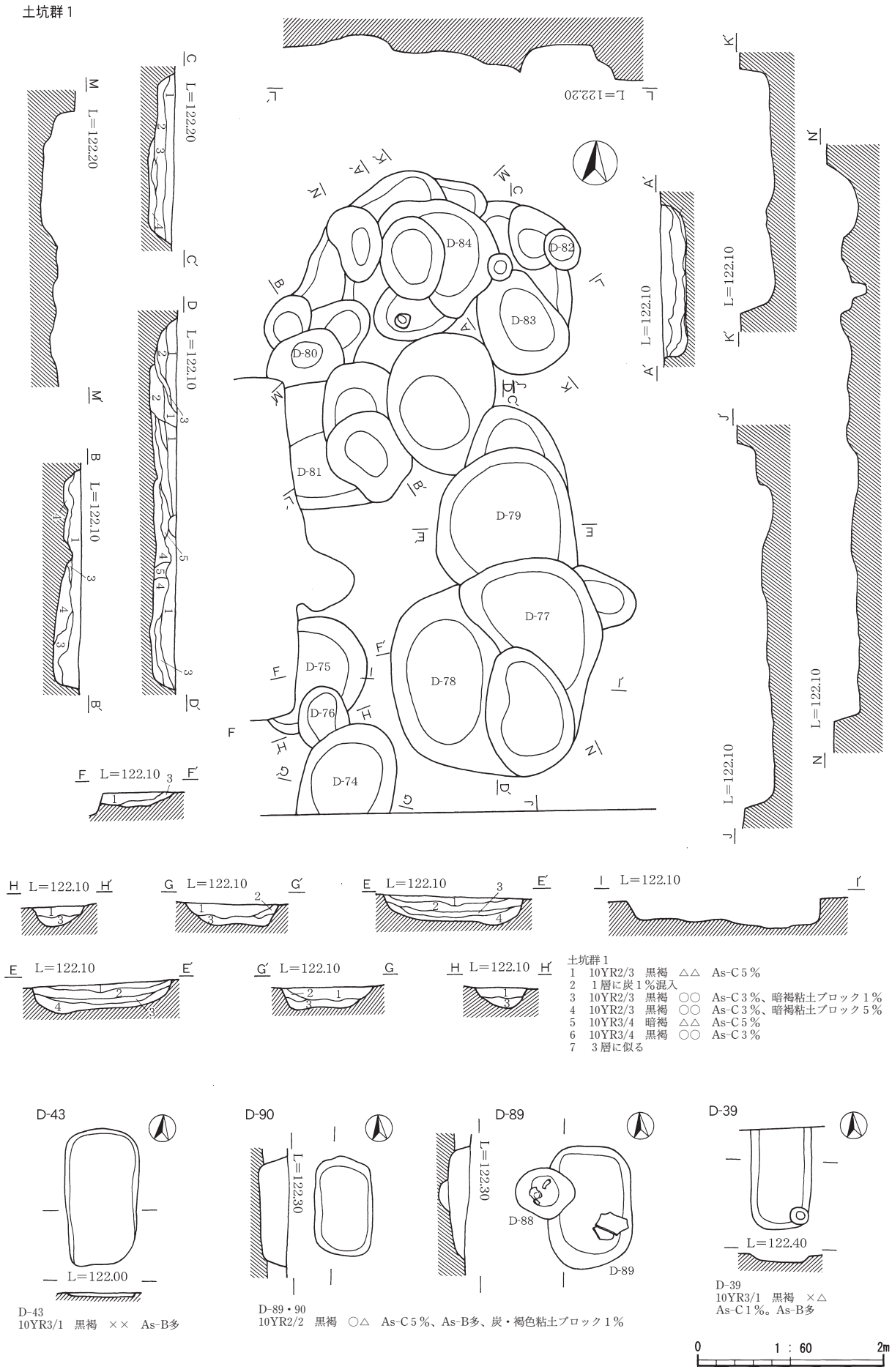

土坑群１
D-74
D-75
D-76
D-77
D-78
D-79
D-80
D-81
D-82
D-83
D-84
L=122.20
L=122.10
L=122.00
L=122.30
L=122.40
D-43
D-90
D-89
D-88
D-39
土坑群１
1　10YR2/3　黒褐　△△　As-C５％
2　１層に炭１％混入
3　10YR2/3　黒褐　○○　As-C３％、暗褐粘土ブロック１％
4　10YR2/3　黒褐　○○　As-C３％、暗褐粘土ブロック５％
5　10YR3/4　暗褐　△△　As-C５％
6　10YR3/4　黒褐　○○　As-C３％
7　３層に似る
D-43
10YR3/1　黒褐　××　As-B多
D-89・90
10YR2/2　黒褐　○△　As-C５％、As-B多、炭・褐色粘土ブロック１％
D-39
10YR3/1　黒褐　×△
As-C１％。As-B多
0　1：60　2m

Fig.26　土坑（3）

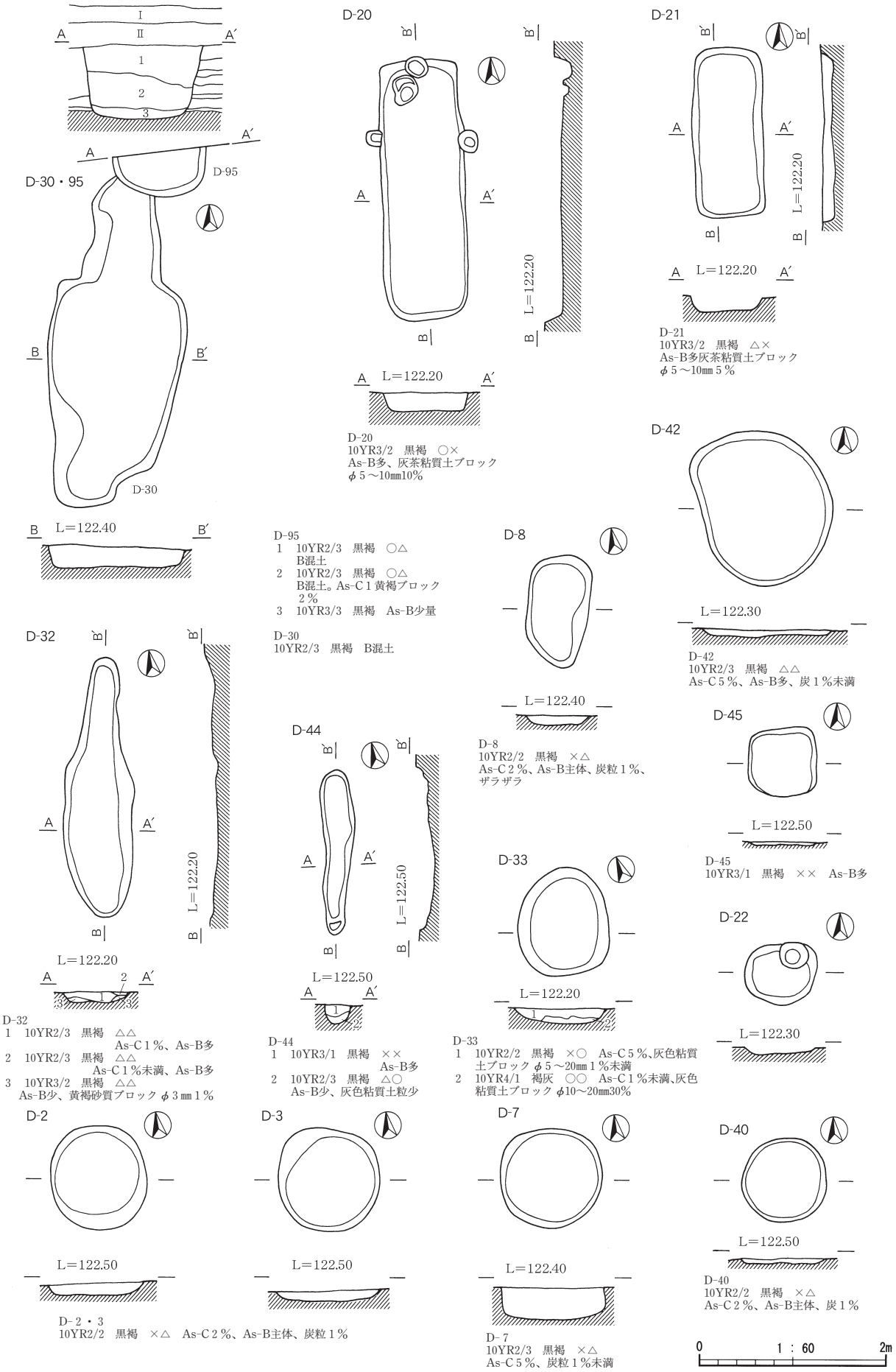
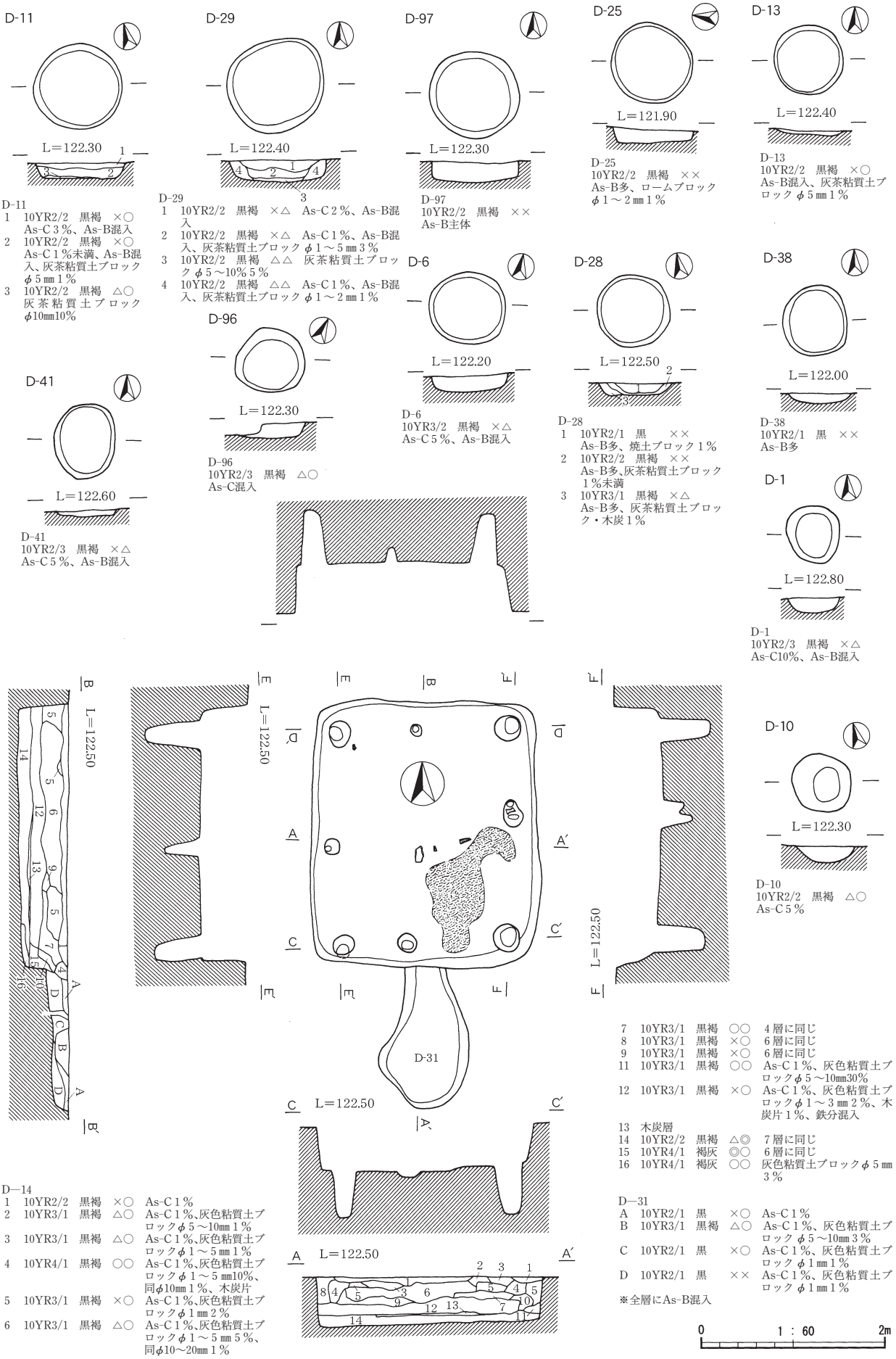

D-30・95
D-95
D-30
L=122.40
D-95
1 10YR2/3 黒褐 ○△
B混土
2 10YR2/3 黒褐 ○△
B混土。As-C 1 黄褐ブロック
2 %
3 10YR3/3 黒褐 As-B少量
D-30
10YR2/3 黒褐 B混土
D-20
L=122.20
D-20
10YR3/2 黒褐 ○×
As-B多、灰茶粘質土ブロック
φ5～10mm10%
D-21
L=122.20
D-21
10YR3/2 黒褐 △×
As-B多灰茶粘質土ブロック
φ5～10mm 5 %
D-42
L=122.30
D-42
10YR2/3 黒褐 △△
As-C 5 %、As-B多、炭 1 %未満
D-8
L=122.40
D-8
10YR2/2 黒褐 ×△
As-C 2 %、As-B主体、炭粒 1 %、
ザラザラ
D-45
L=122.50
D-45
10YR3/1 黒褐 ×× As-B多
D-32
L=122.20
D-32
1 10YR2/3 黒褐 △△
As-C 1 %、As-B多
2 10YR2/3 黒褐 △△
As-C 1 %未満、As-B多
3 10YR3/2 黒褐 △△
As-B少、黄褐砂質ブロック φ3 mm 1 %
D-44
L=122.50
D-44
1 10YR3/1 黒褐 ××
As-B多
2 10YR2/3 黒褐 △○
As-B少、灰色粘質土粒少
D-33
L=122.20
D-33
1 10YR2/2 黒褐 ×○ As-C 5 %、灰色粘質
土ブロック φ5～20mm 1 %未満
2 10YR4/1 褐灰 ○○ As-C 1 %未満、灰色
粘質土ブロック φ10～20mm30%
D-22
L=122.30
D-2
L=122.50
D-3
L=122.50
D-7
L=122.40
D-40
L=122.50
D-40
10YR2/2 黒褐 ×△
As-C 2 %、As-B主体、炭 1 %
D-2・3
10YR2/2 黒褐 ×△ As-C 2 %、As-B主体、炭粒 1 %
D-7
10YR2/3 黒褐 ×△
As-C 5 %、炭粒 1 %未満
0 1 : 60 2m

Fig.27 土坑（4）



D-11
1 10YR2/2 黒褐 ×○ As-C 3％、As-B混入
2 10YR2/2 黒褐 ×○ As-C 1％未満、As-B混入、灰茶粘質土ブロック φ5㎜1％
3 10YR2/2 黒褐 △○ 灰茶粘質土ブロック φ10㎜10％

D-29
1 10YR2/2 黒褐 ×△ As-C 2％、As-B混入
2 10YR2/2 黒褐 ×△ As-C 1％、As-B混入、灰茶粘質土ブロック φ1～5㎜3％
3 10YR2/2 黒褐 △△ 灰茶粘質土ブロック φ5～10％5％
4 10YR2/2 黒褐 △△ As-C 1％、As-B混入、灰茶粘質土ブロック φ1～2㎜1％

D-97
10YR2/2 黒褐 ××
As-B主体

D-25
10YR2/2 黒褐 ××
As-B多、ロームブロック φ1～2㎜1％

D-13
10YR2/2 黒褐 ×○
As-B混入、灰茶粘質土ブロック φ5㎜1％

D-6
10YR3/2 黒褐 ×△
As-C 5％、As-B混入

D-28
1 10YR2/1 黒 ××
As-B多、焼土ブロック1％
2 10YR2/2 黒褐 ××
As-B多、灰茶粘質土ブロック1％未満
3 10YR3/1 黒褐 ×△
As-B多、灰茶粘質土ブロック・木炭1％

D-38
10YR2/1 黒 ××
As-B多

D-96
10YR2/3 黒褐 △○
As-C混入

D-41
10YR2/3 黒褐 ×△
As-C 5％、As-B混入

D-1
10YR2/3 黒褐 ×△
As-C10％、As-B混入

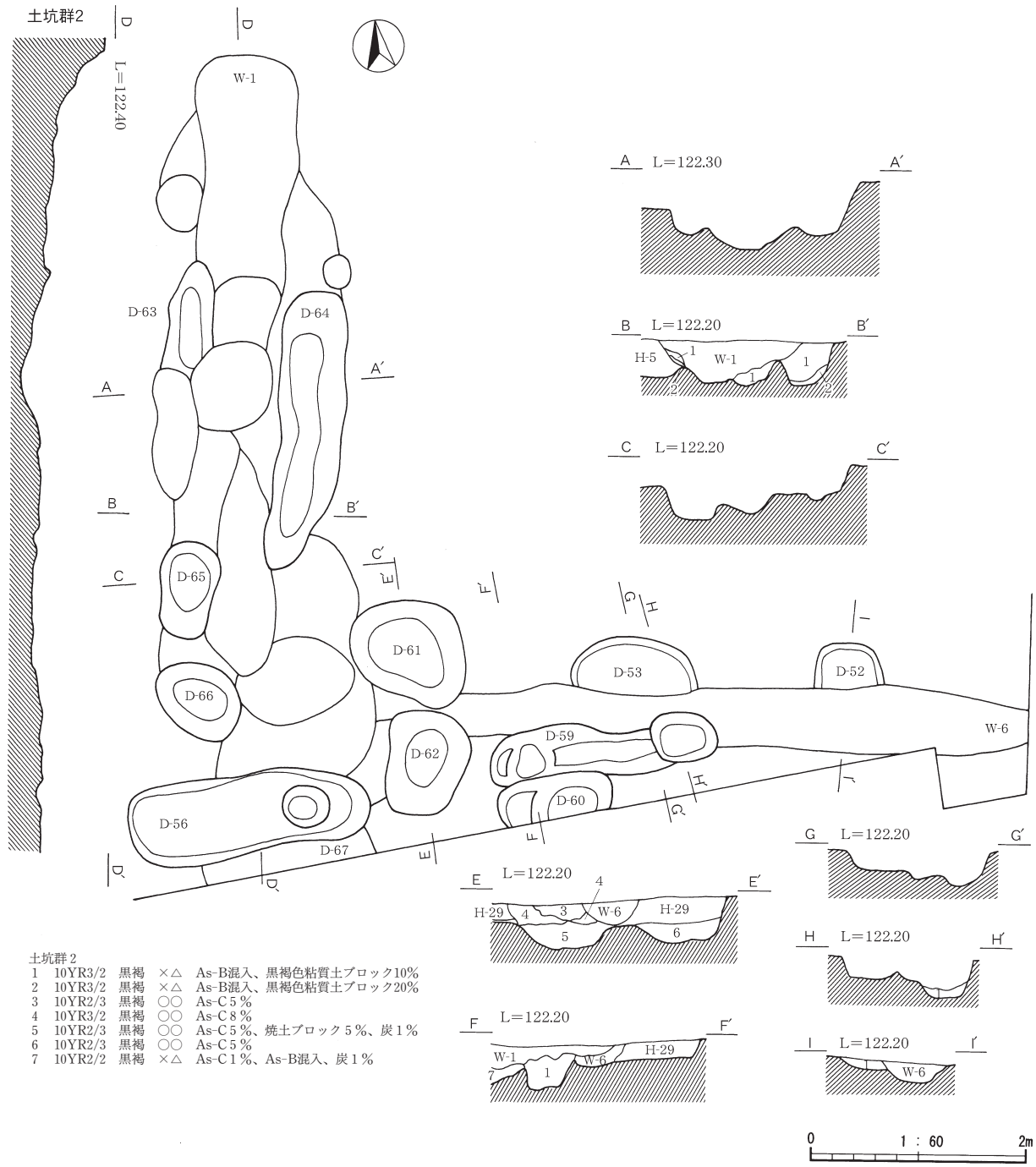
D-10
10YR2/2 黒褐 △○
As-C 5％

D—14
1 10YR2/2 黒褐 ×○ As-C 1％
2 10YR3/1 黒褐 △○ As-C 1％、灰色粘質土ブロック φ5～10㎜1％
3 10YR3/1 黒褐 △○ As-C 1％、灰色粘質土ブロック φ1～5㎜1％
4 10YR4/1 黒褐 ○○ As-C 1％、灰色粘質土ブロック φ1～5㎜10％、同φ10㎜1％、木炭片
5 10YR3/1 黒褐 ×○ As-C 1％、灰色粘質土ブロック φ1㎜2％
6 10YR3/1 黒褐 △○ As-C 1％、灰色粘質土ブロック φ1～5㎜5％、同φ10～20㎜1％
7 10YR3/1 黒褐 ○○ 4層に同じ
8 10YR3/1 黒褐 ×○ 6層に同じ
9 10YR3/1 黒褐 ×○ 6層に同じ
11 10YR3/1 黒褐 ○○ As-C 1％、灰色粘質土ブロック φ5～10㎜30％
12 10YR3/1 黒褐 ×○ As-C 1％、灰色粘質土ブロック φ1～3㎜2％、木炭片1％、鉄分混入
13 木炭層
14 10YR2/2 黒褐 △◎ 7層に同じ
15 10YR4/1 褐灰 ◎○ 6層に同じ
16 10YR4/1 褐灰 ○○ 灰色粘質土ブロック φ5㎜3％

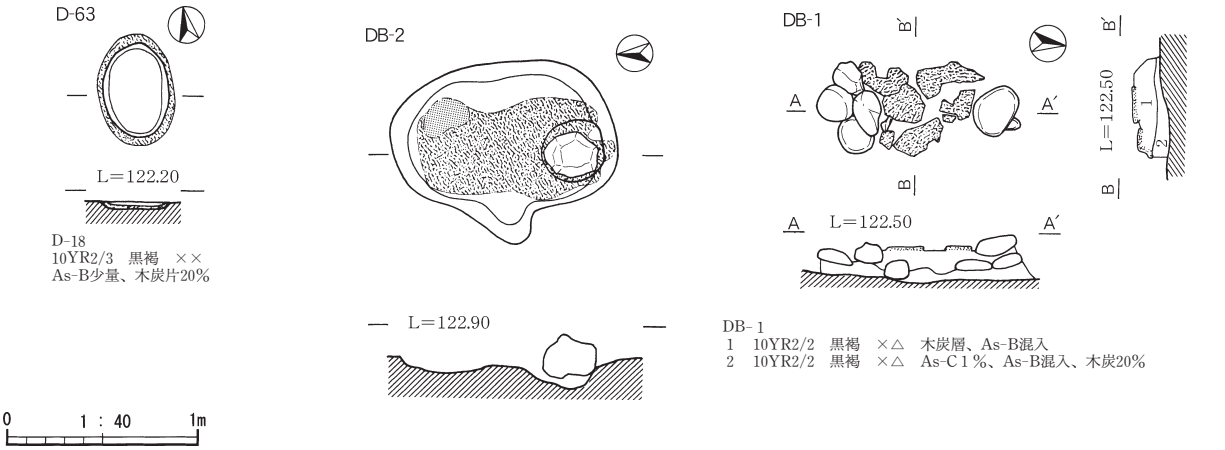
D—31
A 10YR2/1 黒 ×○ As-C 1％
B 10YR3/1 黒褐 △○ As-C 1％、灰色粘質土ブロック φ5～10㎜3％
C 10YR2/1 黒 ×○ As-C 1％、灰色粘質土ブロック φ1㎜1％
D 10YR2/1 黒 ×× As-C 1％、灰色粘質土ブロック φ1㎜1％
※全層にAs-B混入

0 1：60 2m

Fig.28 土坑（5）



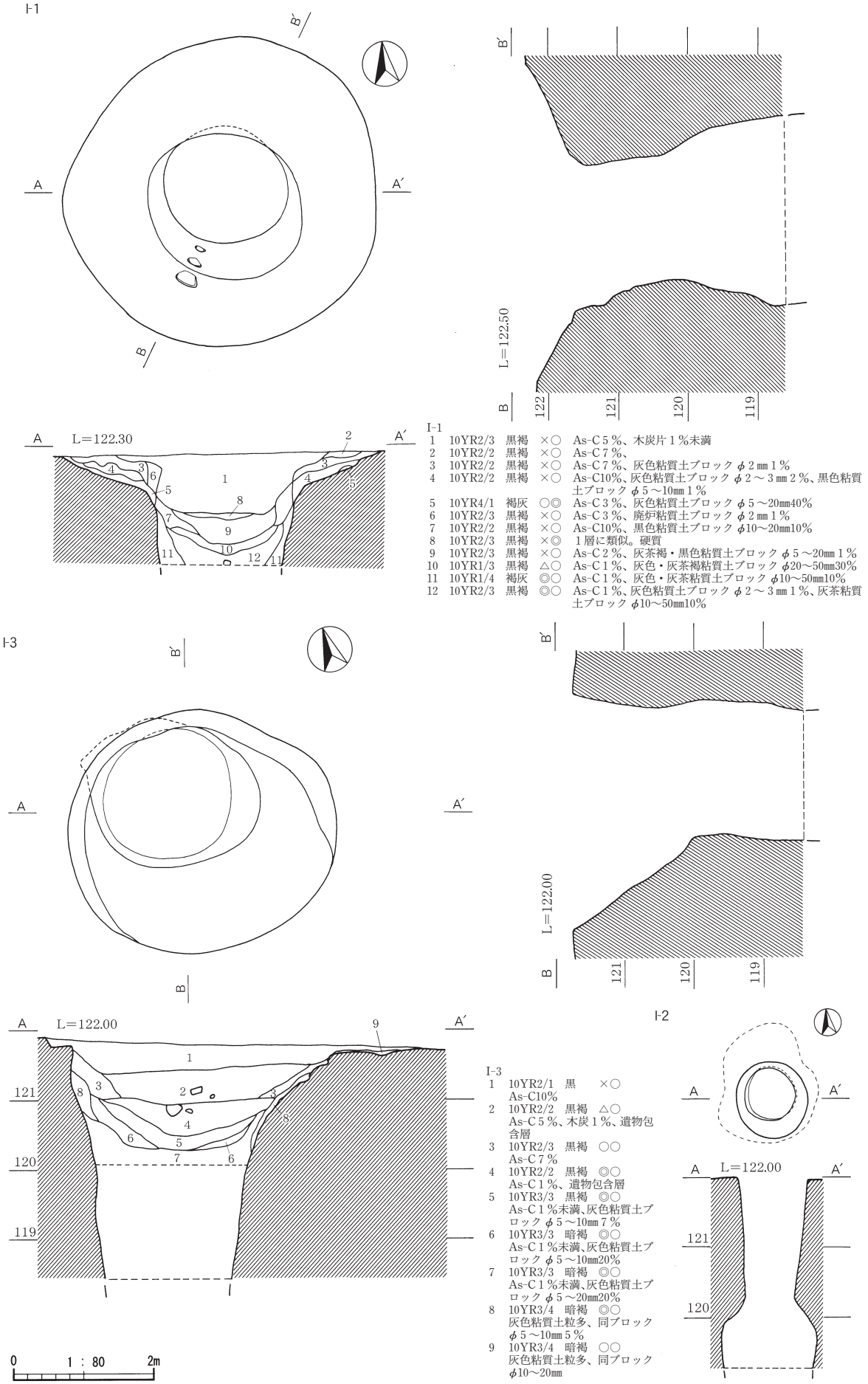
土坑群2
1 10YR3/2 黒褐 ×△ As-B混入、黒褐色粘質土ブロック10%
2 10YR3/2 黒褐 ×△ As-B混入、黒褐色粘質土ブロック20%
3 10YR2/3 黒褐 ○○ As-C 5 %
4 10YR3/2 黒褐 ○○ As-C 8 %
5 10YR2/3 黒褐 ○○ As-C 5 %、焼土ブロック 5 %、炭 1 %
6 10YR2/3 黒褐 ○○ As-C 5 %
7 10YR2/2 黒褐 ×△ As-C 1 %、As-B混入、炭 1 %



D-18
10YR2/3 黒褐 ××
As-B少量、木炭片20%

DB- 1
1 10YR2/2 黒褐 ×△ 木炭層、As-B混入
2 10YR2/2 黒褐 ×△ As-C 1 %、As-B混入、木炭20%

Fig.29 土坑（6）



I-1

1	10YR2/3	黒褐	×○	As-C５％、木炭片１％未満
2	10YR2/2	黒褐	×○	As-C７％、
3	10YR2/2	黒褐	×○	As-C７％、灰色粘質土ブロック φ２㎜１％
4	10YR2/2	黒褐	×○	As-C10％、灰色粘質土ブロック φ２～３㎜２％、黒色粘質土ブロック φ５～10㎜１％
5	10YR4/1	褐灰	○◎	As-C３％、灰色粘質土ブロック φ５～20㎜40％
6	10YR2/3	黒褐	×○	As-C３％、廃炉粘質土ブロック φ２㎜１％
7	10YR2/2	黒褐	×○	As-C10％、黒色粘質土ブロック φ10～20㎜10％
8	10YR2/3	黒褐	×◎	１層に類似。硬質
9	10YR2/3	黒褐	×○	As-C２％、灰茶褐・黒色粘質土ブロック φ５～20㎜１％
10	10YR1/3	黒褐	△○	As-C１％、灰色・灰茶褐粘質土ブロック φ20～50㎜30％
11	10YR1/4	褐灰	◎○	As-C１％、灰色・灰茶粘質土ブロック φ10～50㎜10％
12	10YR2/3	黒褐	◎○	As-C１％、灰色粘質土ブロック φ２～３㎜１％、灰茶粘質土ブロック φ10～50㎜10％

I-3

1	10YR2/1	黒	×○	As-C10％
2	10YR2/2	黒褐	△○	As-C５％、木炭１％、遺物包含層
3	10YR2/3	黒褐	○○	As-C７％
4	10YR2/2	黒褐	◎○	As-C１％、遺物包含層
5	10YR3/3	黒褐	◎○	As-C１％未満、灰色粘質土ブロック φ５～10㎜７％
6	10YR3/3	暗褐	◎○	As-C１％未満、灰色粘質土ブロック φ５～10㎜20％
7	10YR3/3	暗褐	◎○	As-C１％未満、灰色粘質土ブロック φ５～20㎜20％
8	10YR3/4	暗褐	◎○	灰色粘質土粒多、同ブロック φ５～10㎜５％
9	10YR3/4	暗褐	○○	灰色粘質土粒多、同ブロック φ10～20㎜

Fig.30　Ⅰ－１・２・３号井戸跡

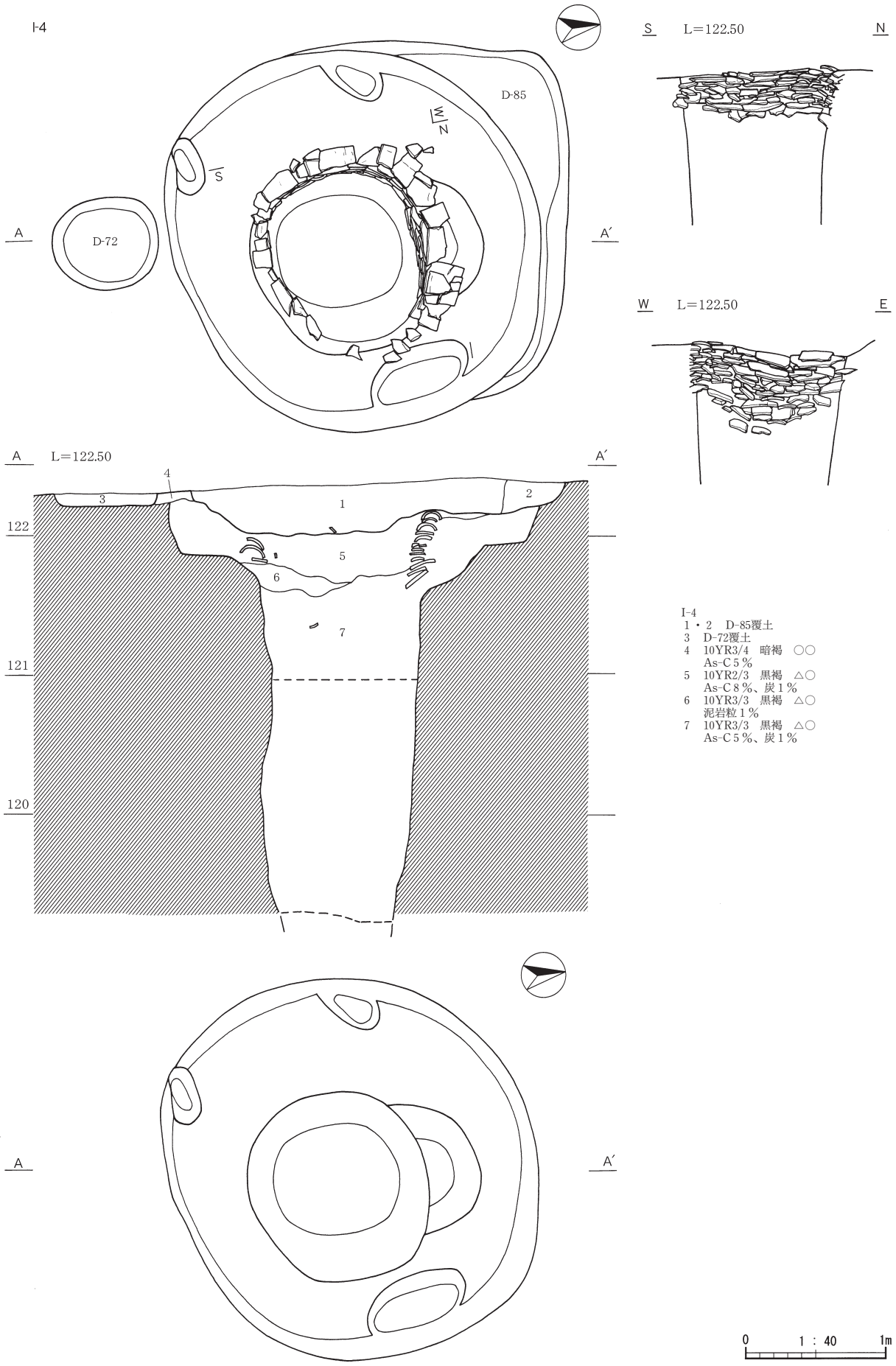
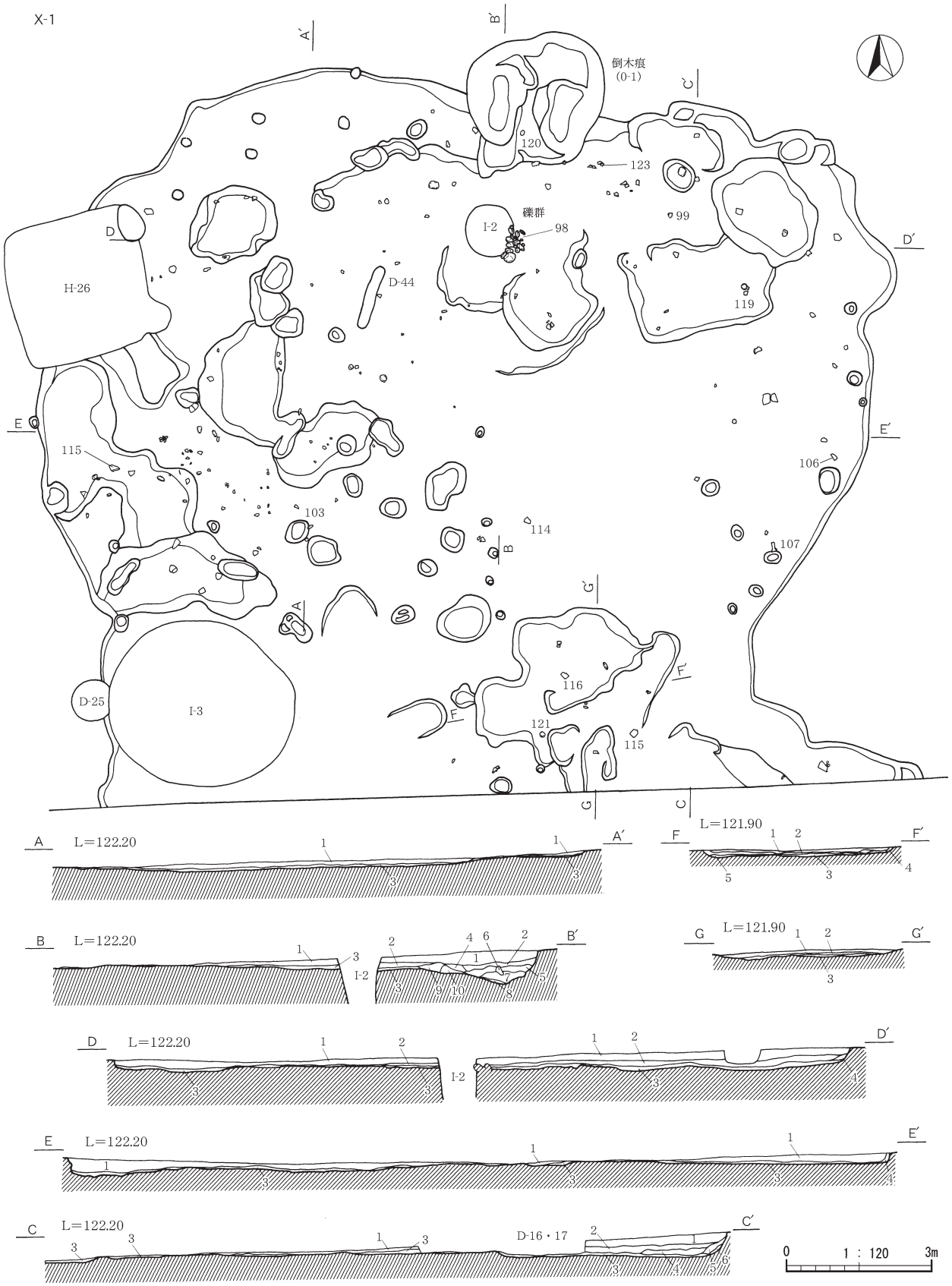


Fig.31 Ⅰ－4号井戸跡



1	10YR3/2	黒褐	×○	As-C10%、木炭１％	6	10YR3/1	黒褐	△○	As-C１％、灰色粘質土ブロック φ10mm７％
2	10YR3/2	黒褐	×○	As-C３％、木炭１％	7	10YR2/2	黒褐	◎○	As-C３％、鉄分混入
3	10YR3/2	黒褐	△○	As-C１％、暗灰青粘質土ブロック φ５～10mm１％	8	10YR3/1	黒褐	◎○	As-C１％、灰色粘質土ブロック φ５mm１％
4	10YR3/1	黒褐	△○	As-C３％、灰色粘質土ブロック φ10～20mm２％	9	10YR4/1	褐灰	◎○	灰色粘質土ブロック60％
5	10YR3/1	黒褐	△○	As-C３％、黄褐砂質ブロック φ１～10mm１％	10	10YR3/1	黒褐	◎○	As-C１％、灰色粘質土ブロック φ10～20mm10％

Fig.32　X－１号跡

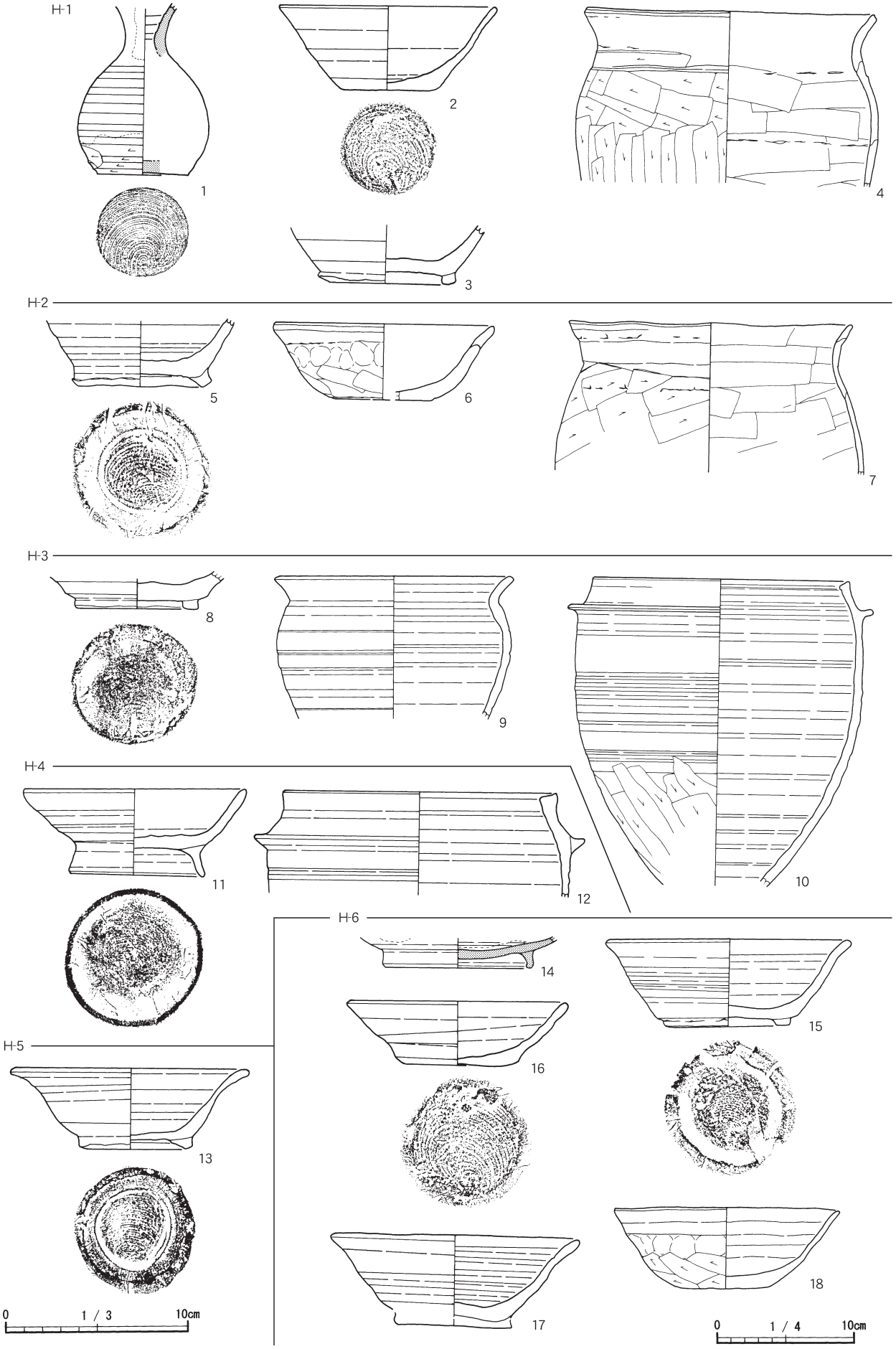


Fig.33　H－1～6号住居跡出土遺物

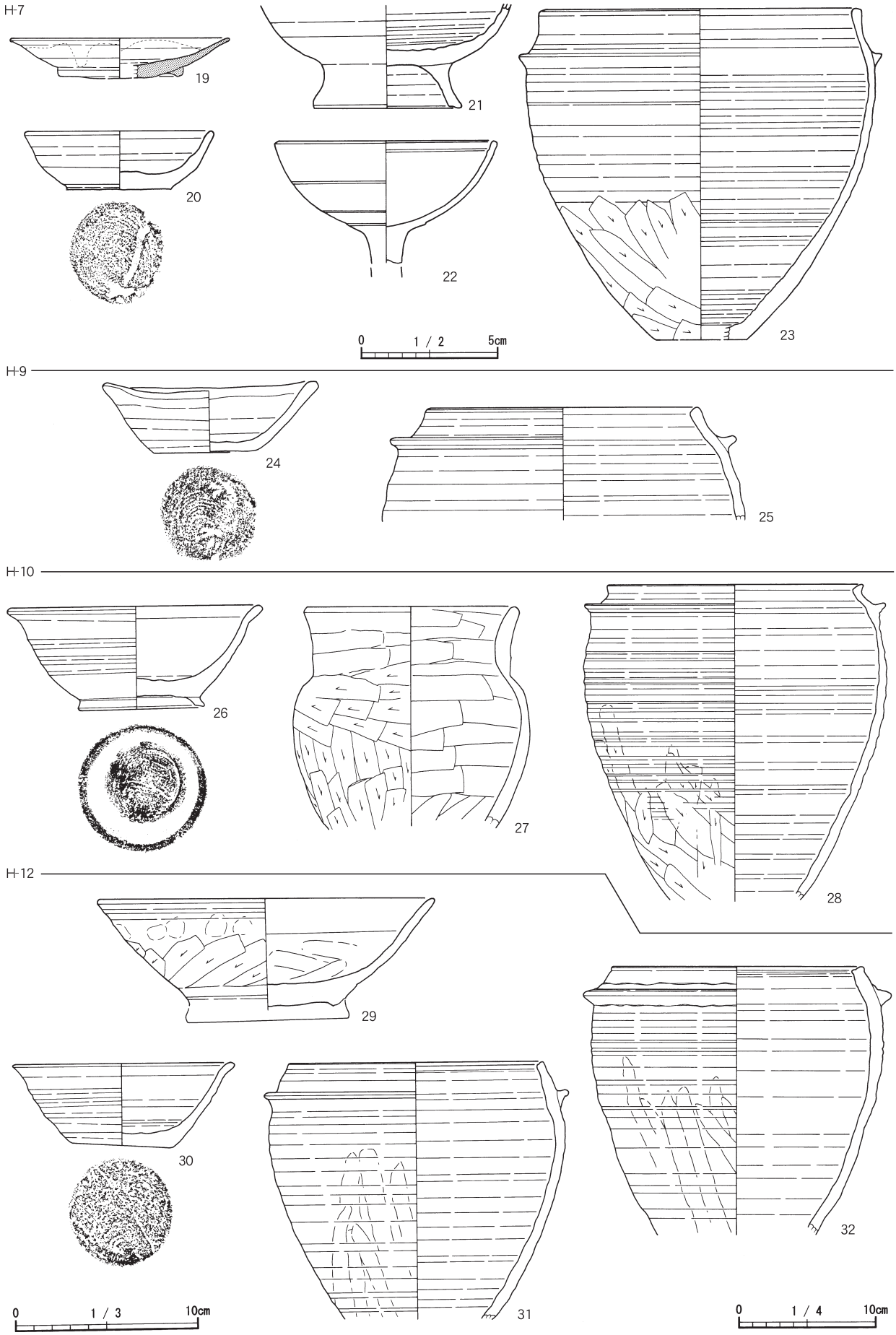


Fig.34　H－7～10・12号住居跡出土遺物

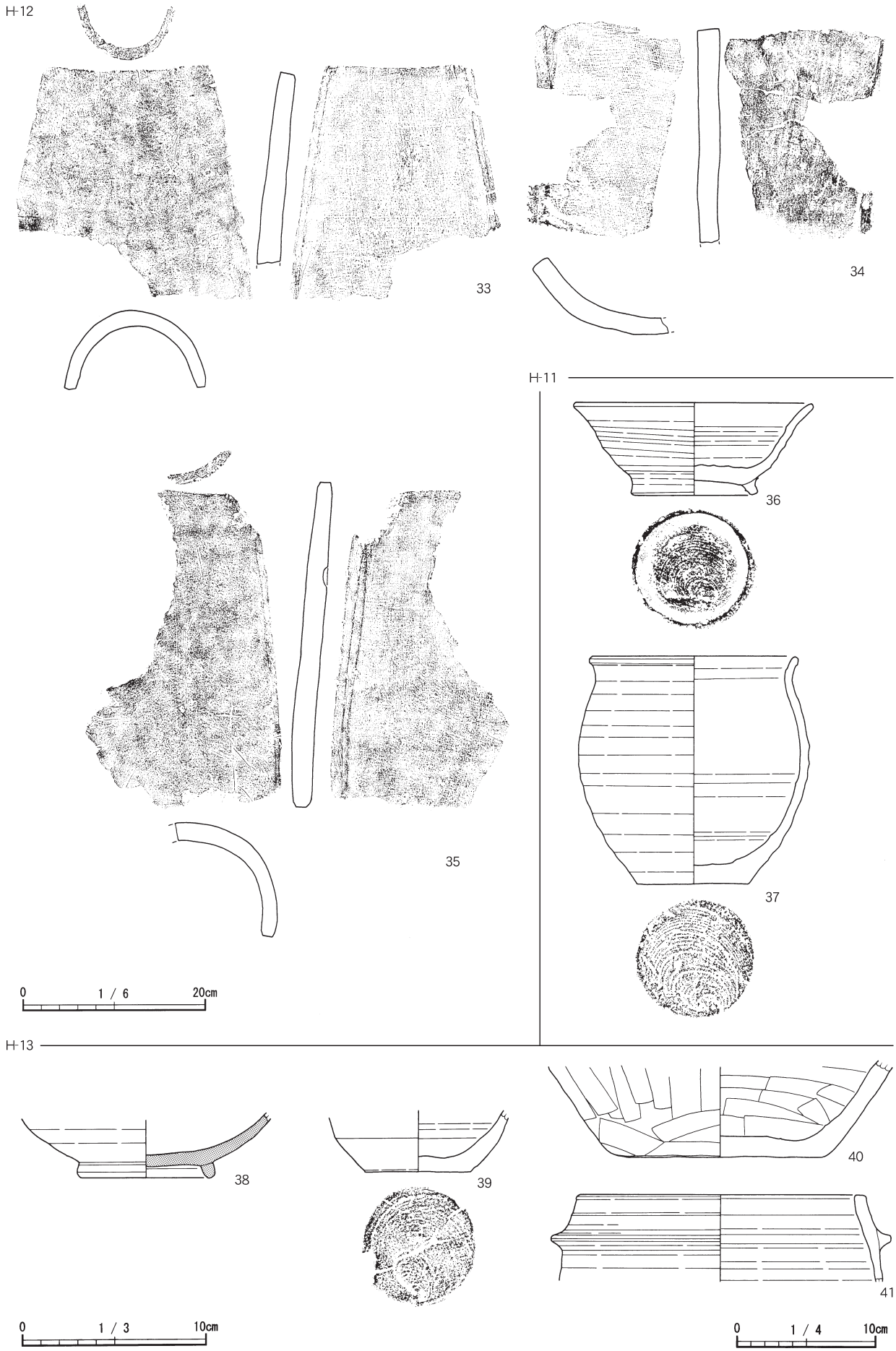


Fig.35　H—11～13号住居跡出土遺物

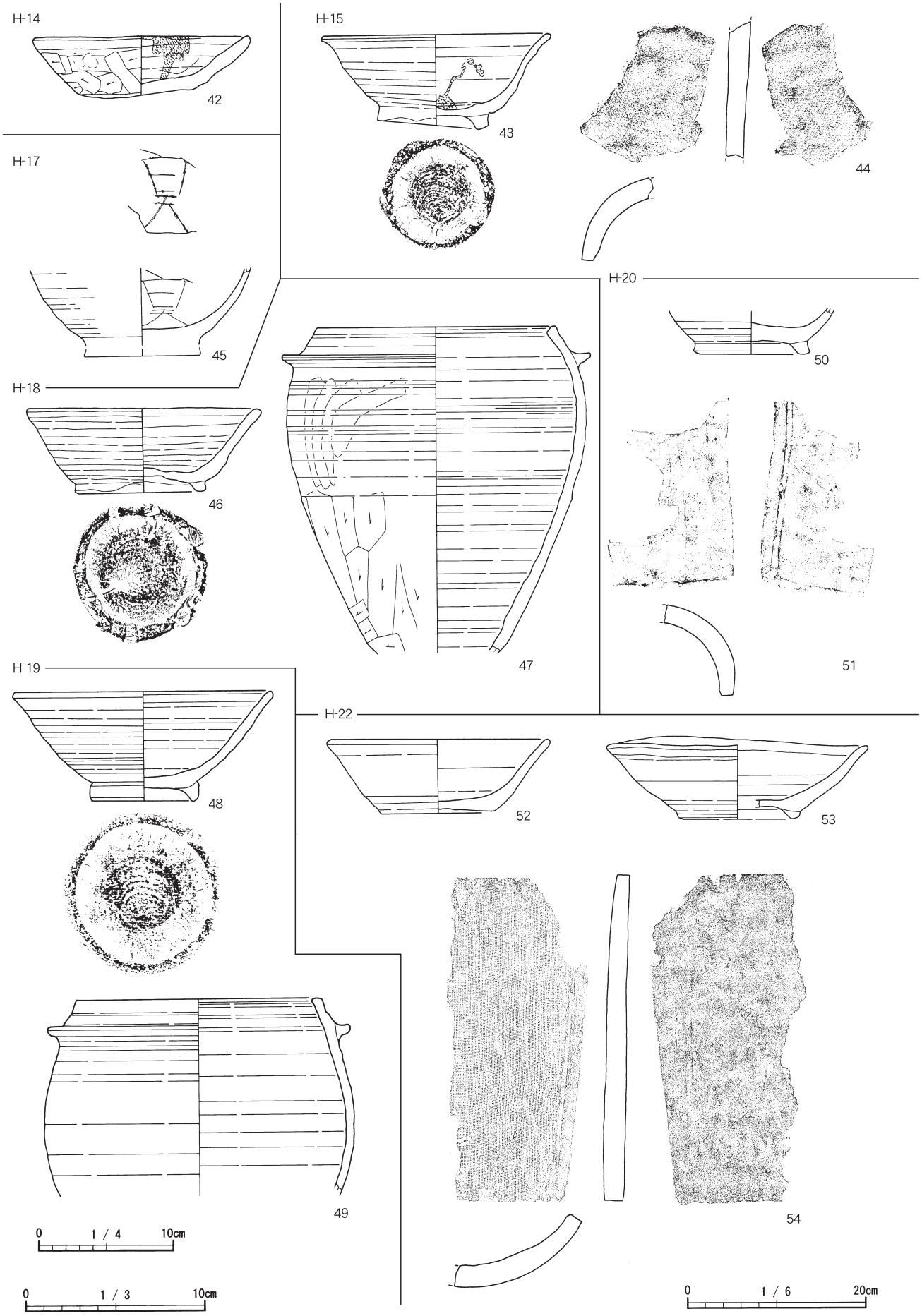


Fig.36　H—14～20・22号住居跡出土遺物

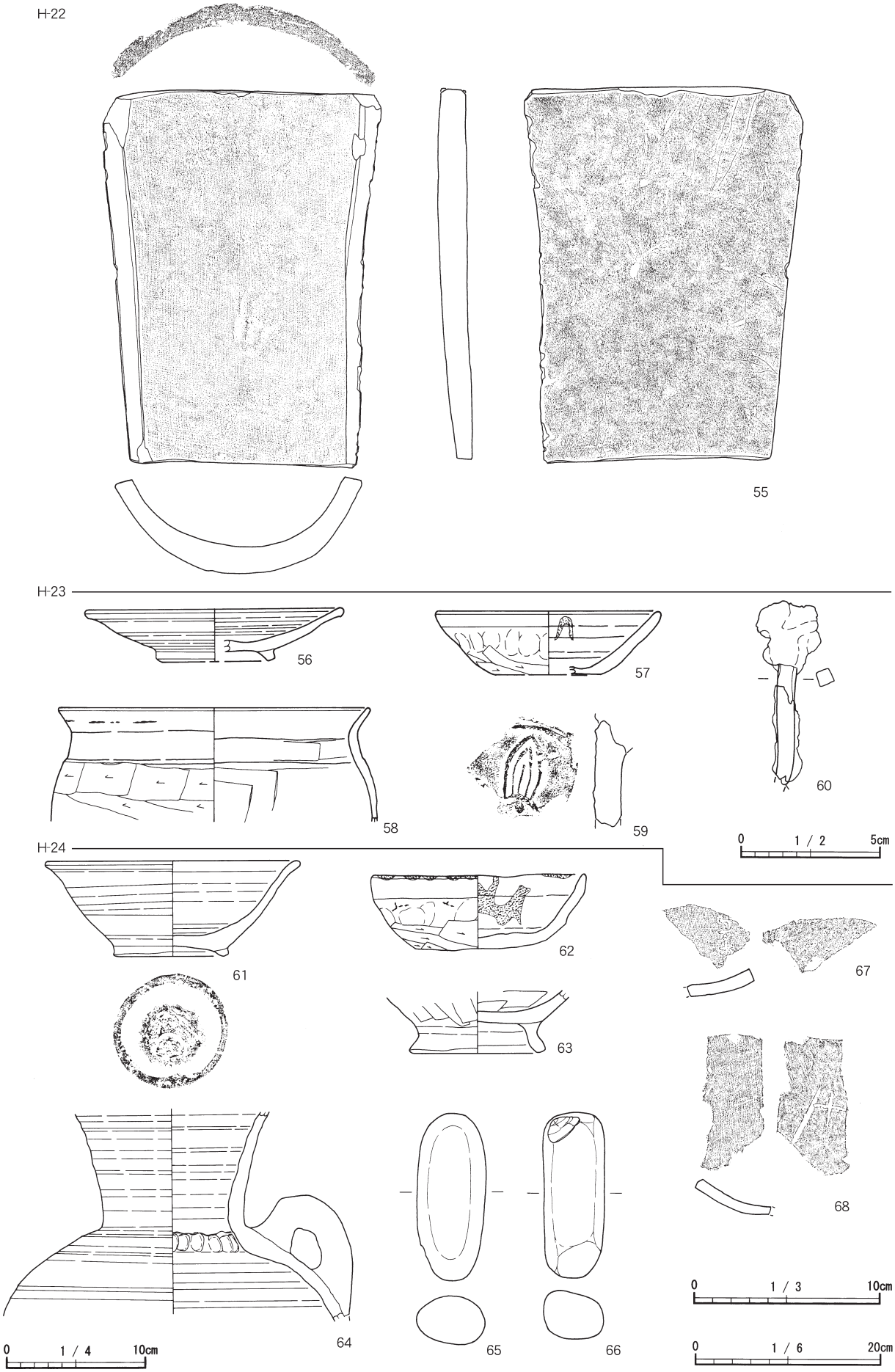


Fig.37　H—22・24号住居跡出土遺物

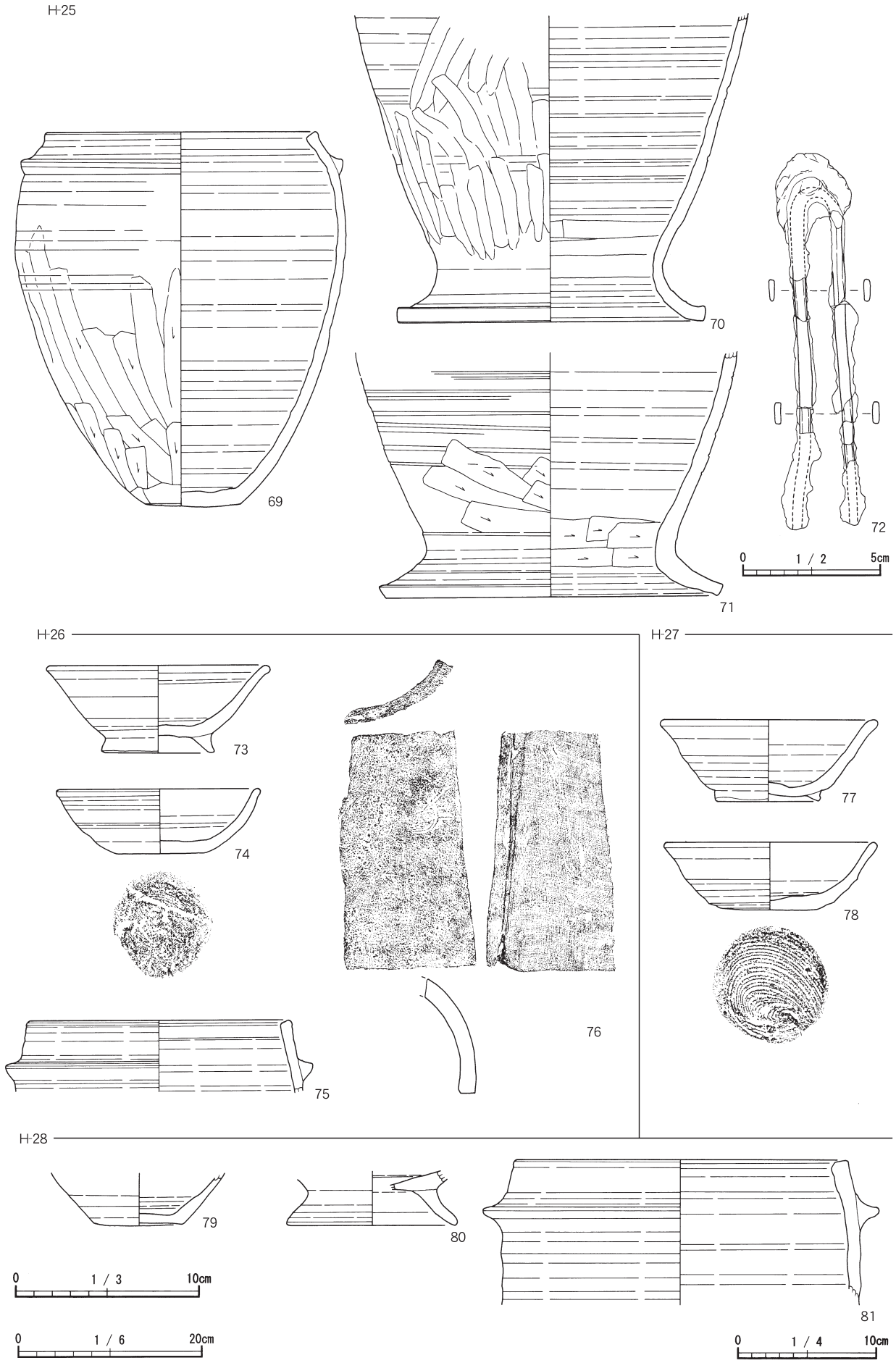


Fig.38　H―25～28号住居跡出土遺物

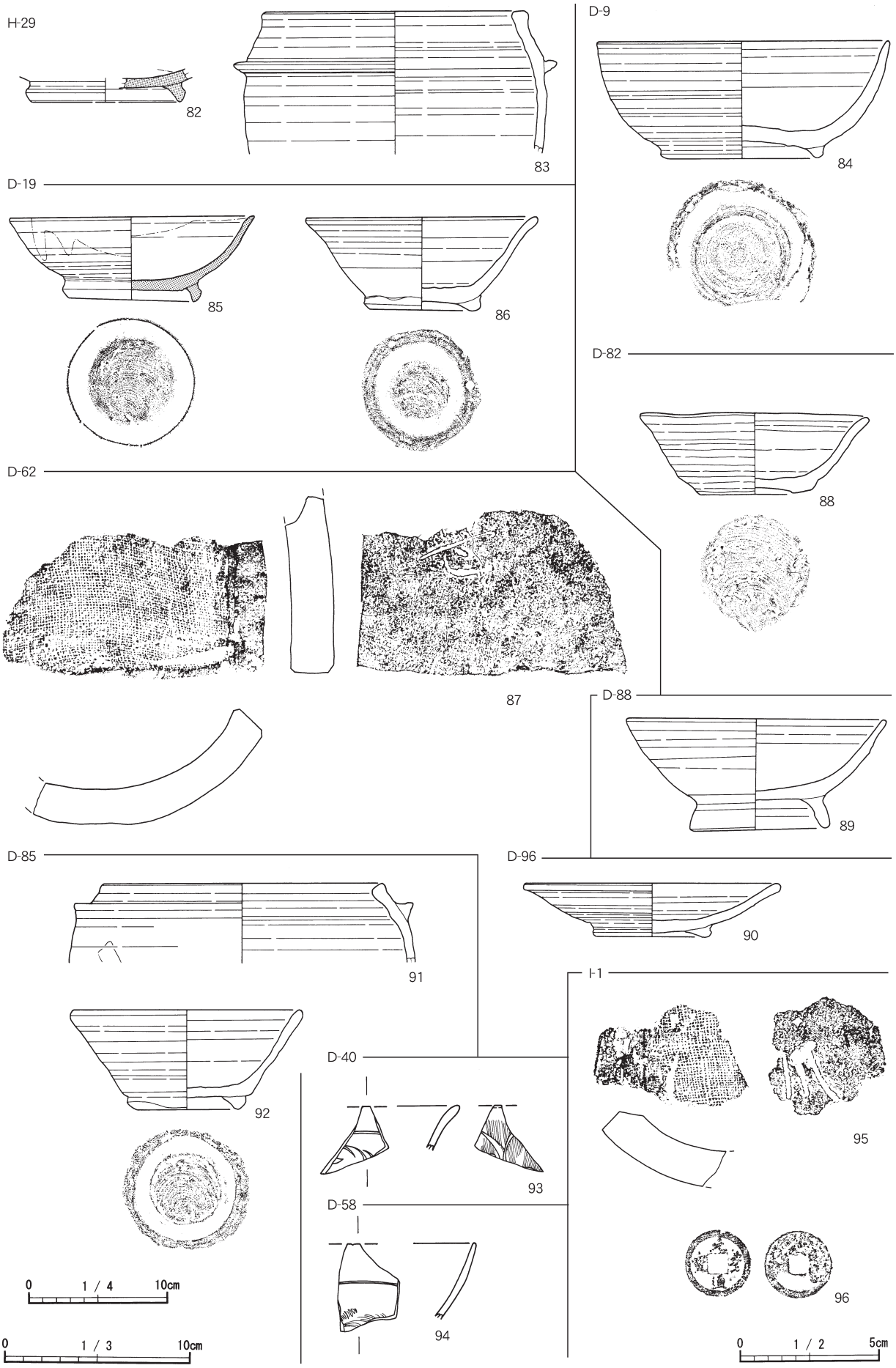


Fig.39　H—29号住居跡・土坑・Ｉ—１号井戸跡出土遺物

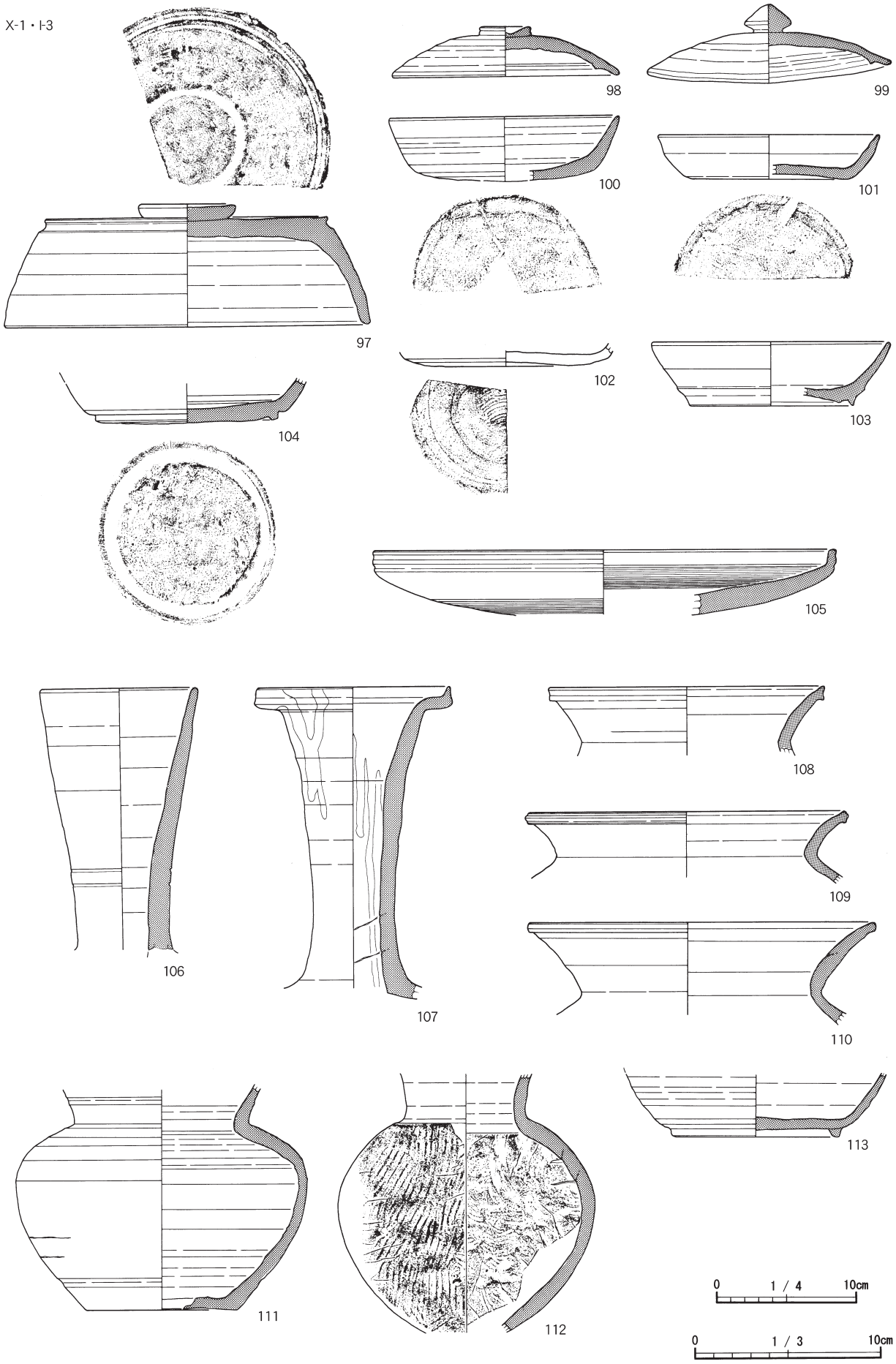


Fig.40　X－1号跡・Ⅰ－3号井戸跡出土遺物

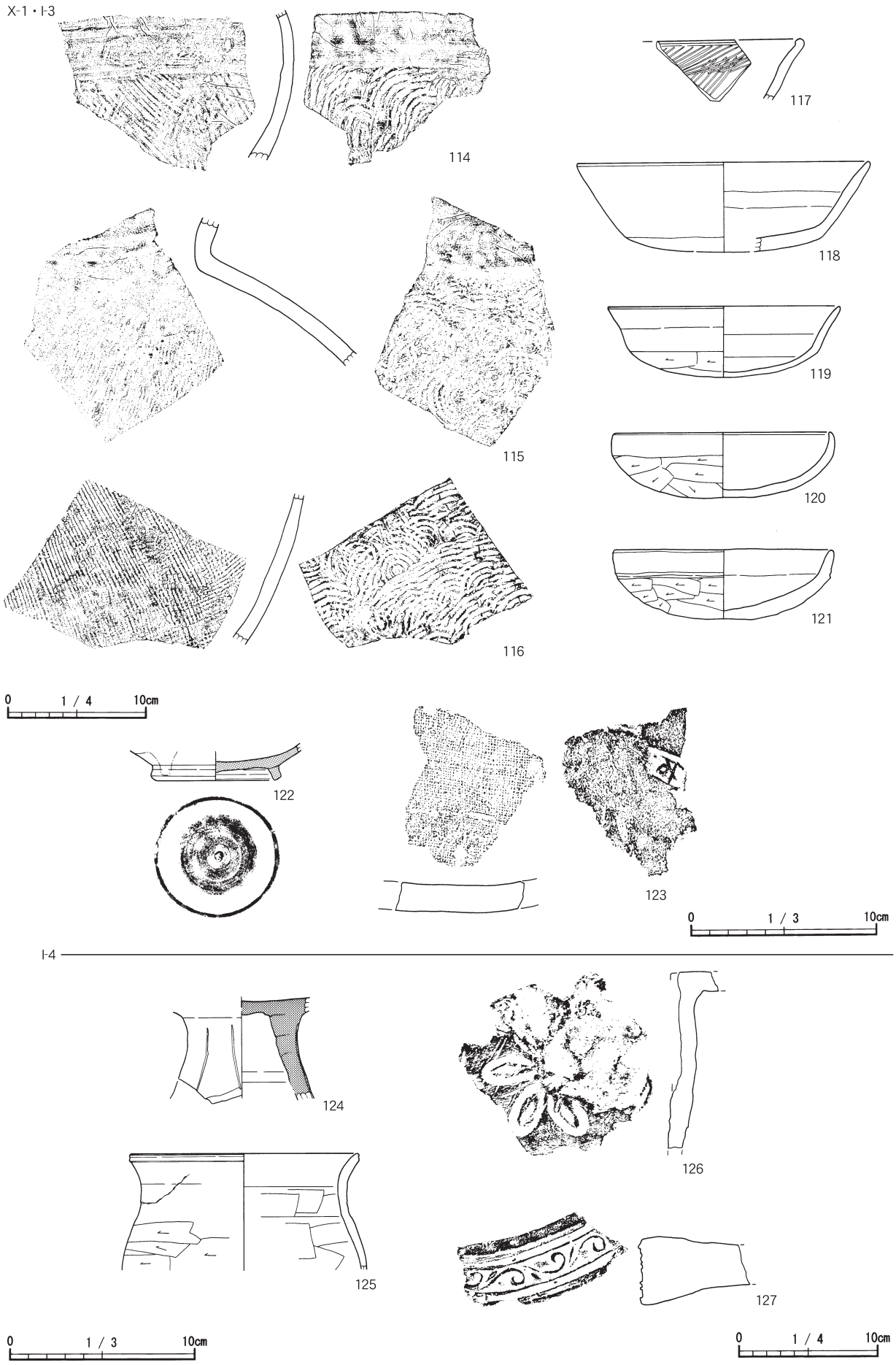


Fig.41　X－1号跡、Ⅰ－3・4号井戸跡出土遺物

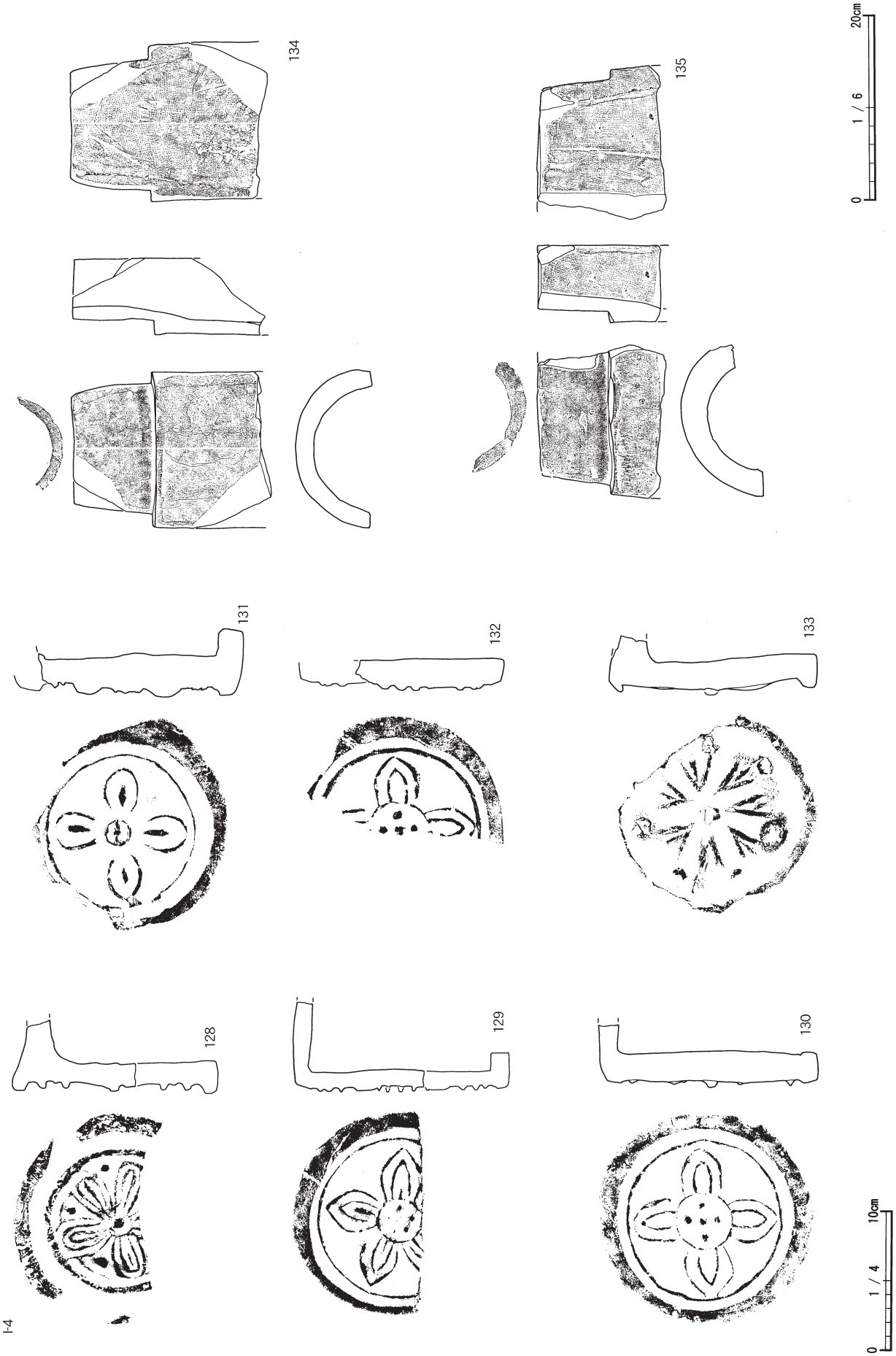


Fig.42　Ⅰ－4号井戸跡出土遺物

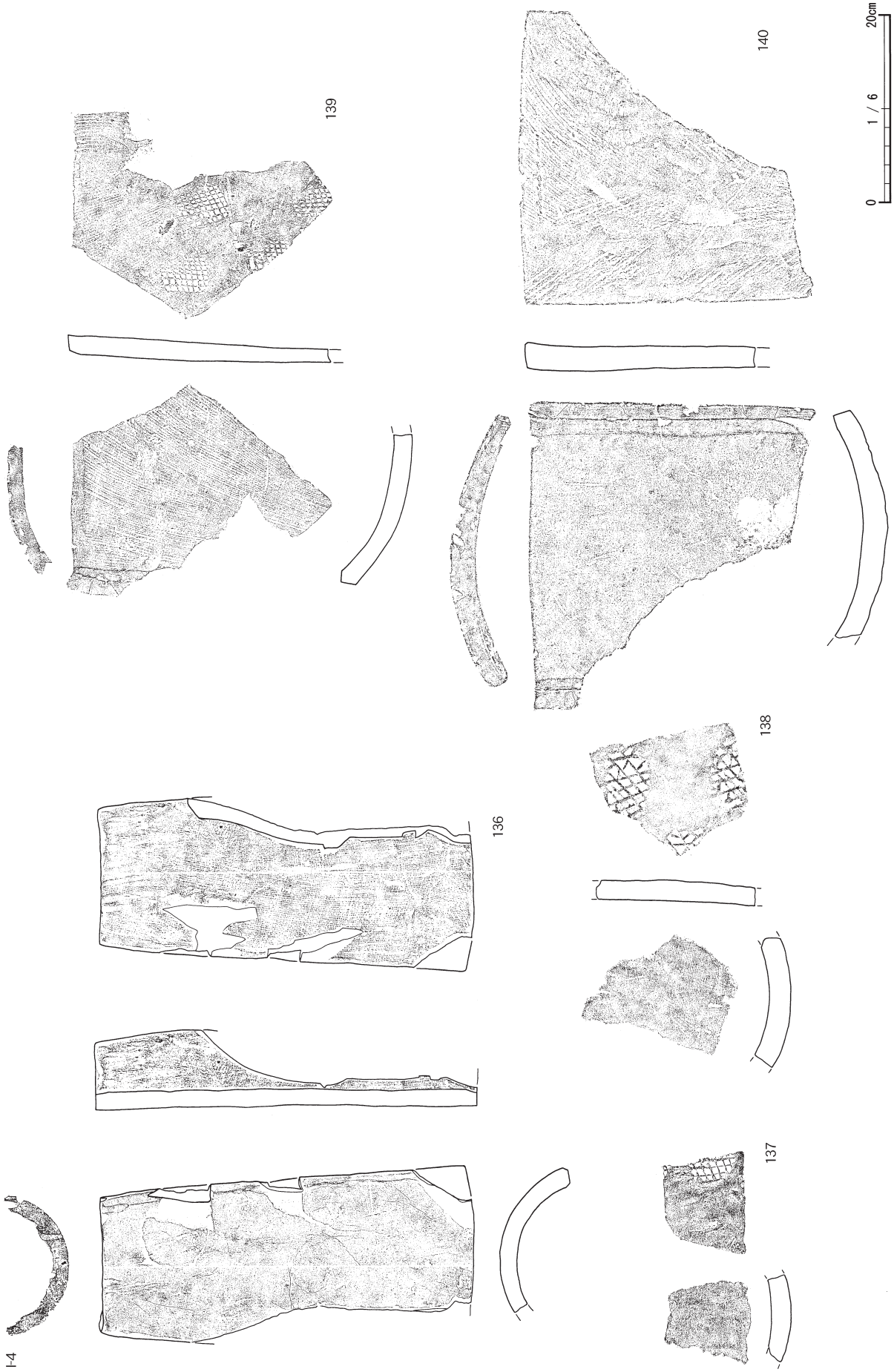


Fig.43　Ⅰ－4号井戸跡出土遺物

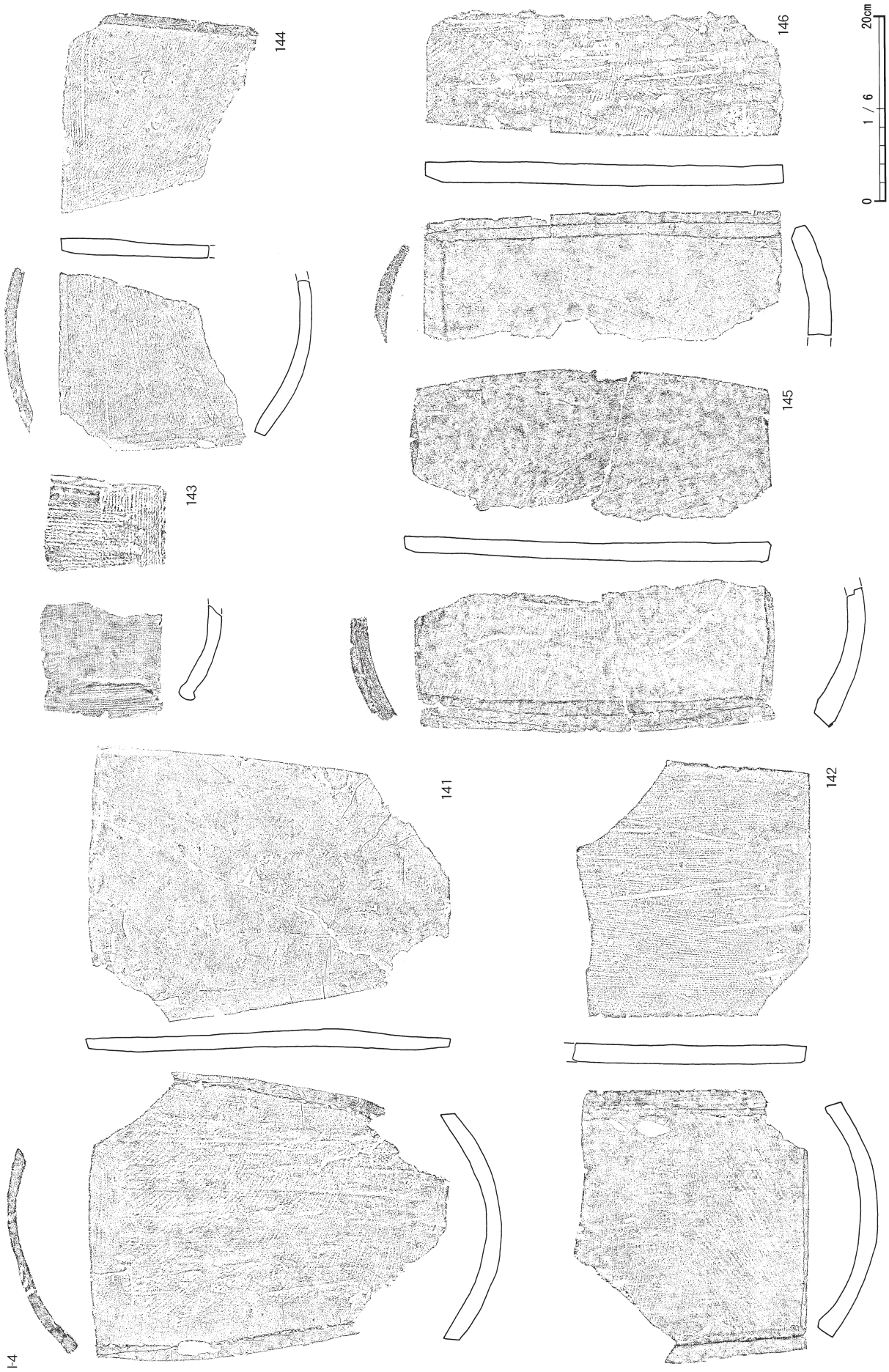


Fig.44　Ⅰ－4号井戸跡出土遺物

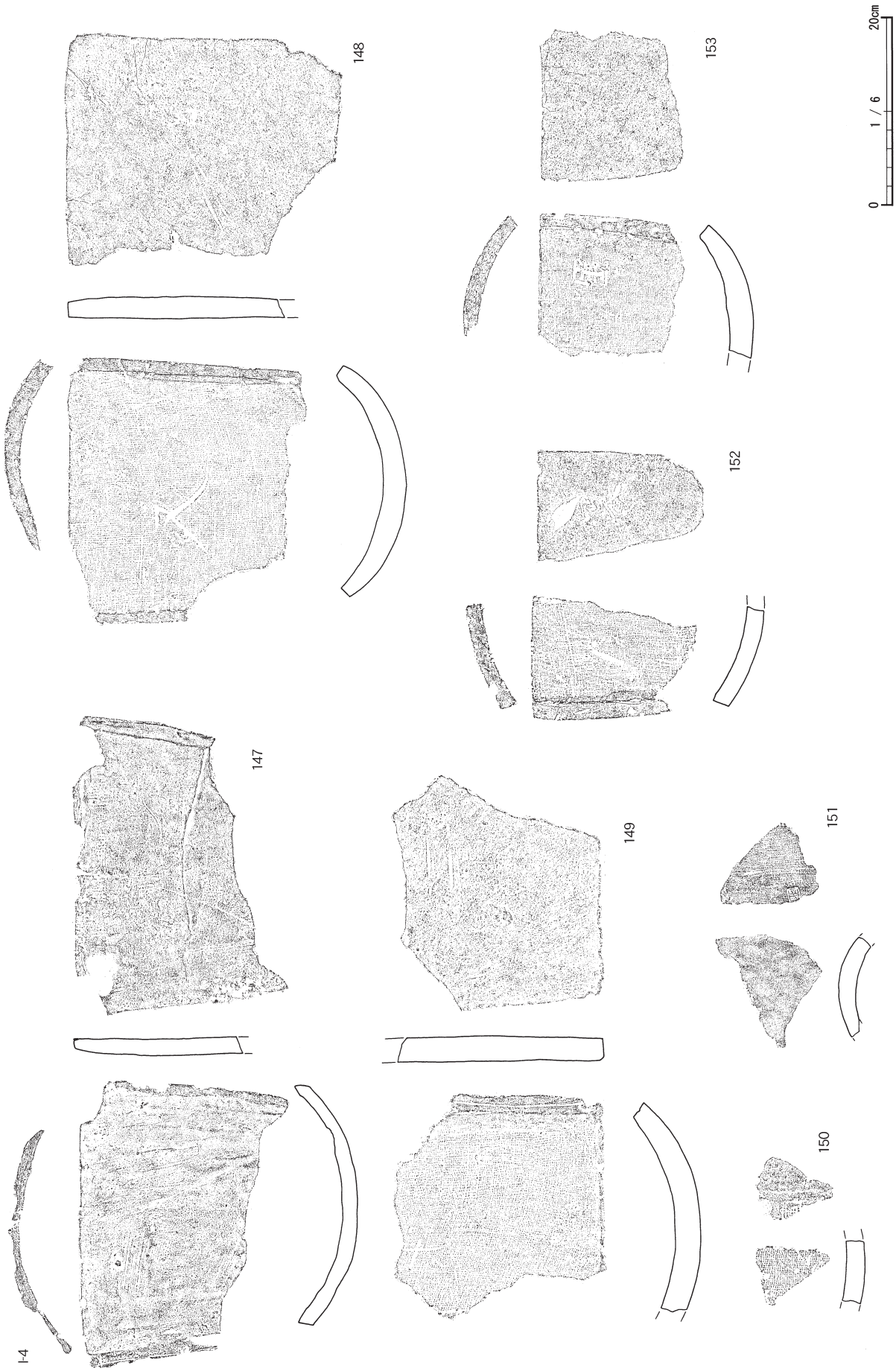
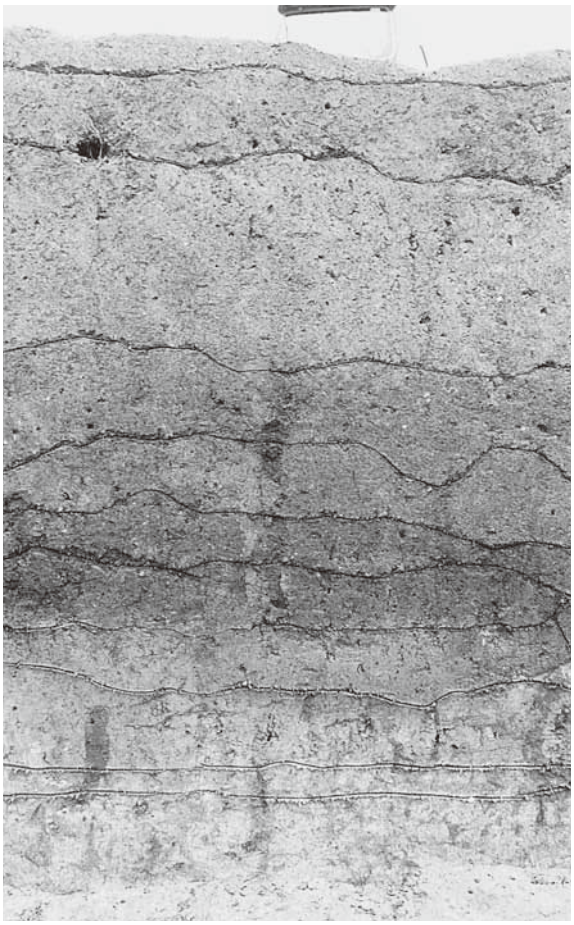


Fig.45　Ⅰ－4号井戸跡出土遺物

図　　版

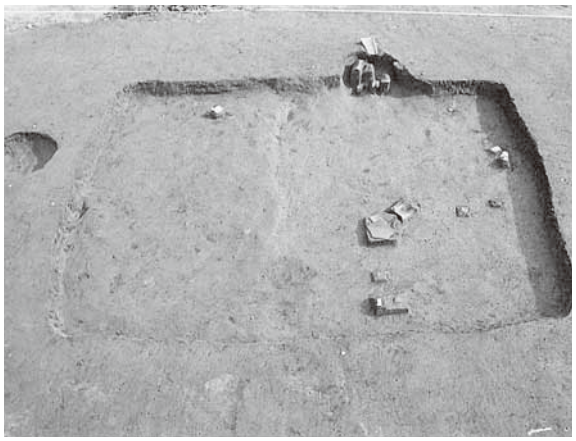
遺跡全景（A区）



基本土層

遺跡全景（B区）

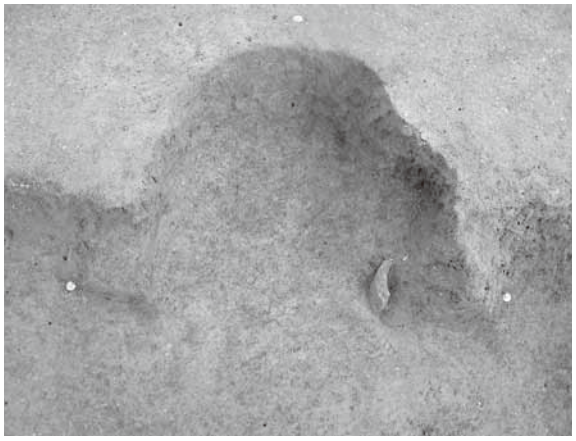
調査風景



Ｈ－１号住居跡全景

Ｈ－１号住居跡竈全景

Ｈ－２号住居跡全景



Ｈ－２号住居跡竈全景

Ｈ－３号住居跡全景

Ｈ－３号住居跡竈全景

Ｈ－４号住居跡全景

Ｈ－４号住居跡竈全景

Ｈ－５号住居跡全景

Ｈ－７・30号住居跡全景

Ｈ－６号住居跡全景

Ｈ－６号住居跡竈全景

Ｈ－８号住居跡全景

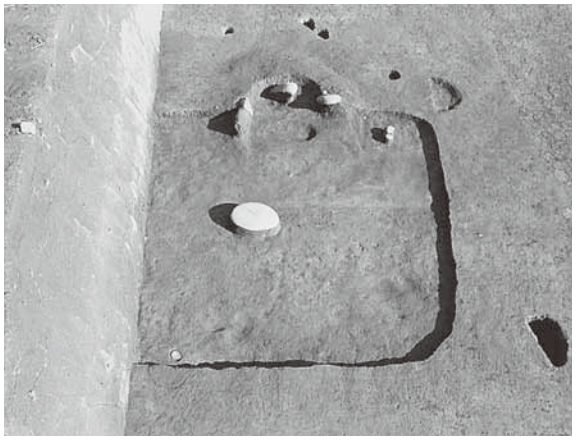
Ｈ－９号住居跡全景

Ｈ－10・11・12・31号住居跡全景

Ｈ－10・12号住居跡竈全景

H－11号住居跡竈全景

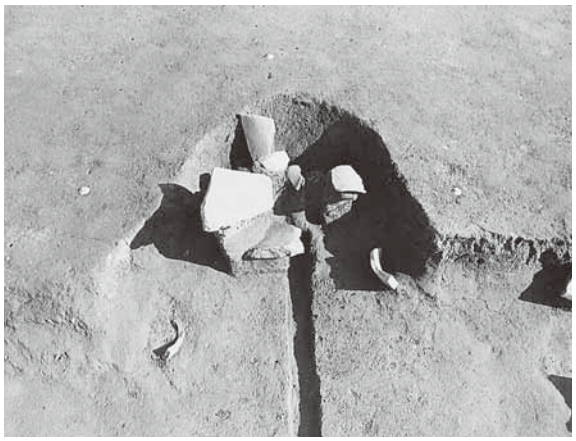
H－13号住居跡全景



H－14号住居跡全景

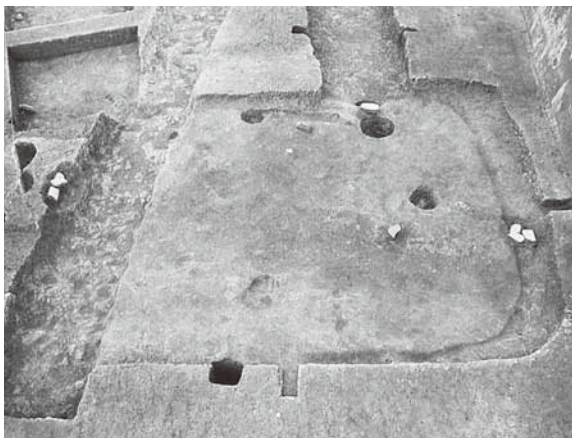
H－14号住居跡竈全景

H－15号住居跡全景



H－15号住居跡竈全景

H－16号住居跡全景



H－17号住居跡全景

H－18号住居跡掘り方全景

H－18号住居跡竈土層

H－19号住居跡全景

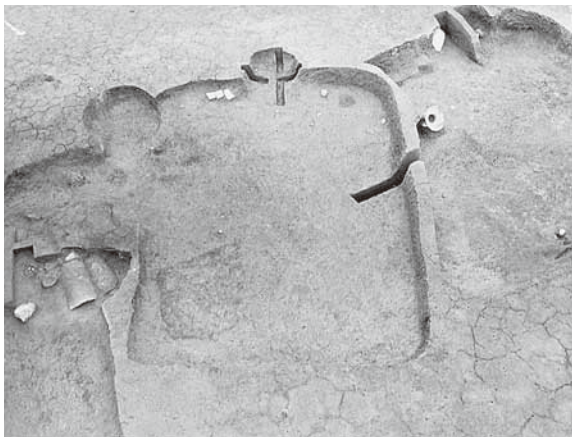
H－19号住居跡竈全景

H－20号住居跡竈全景

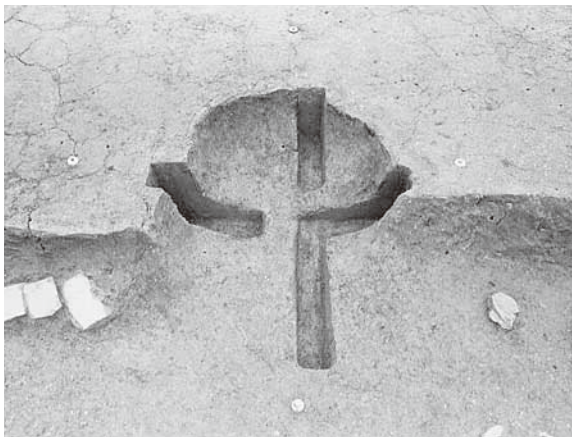
H－21号住居跡全景

H－22号住居跡全景

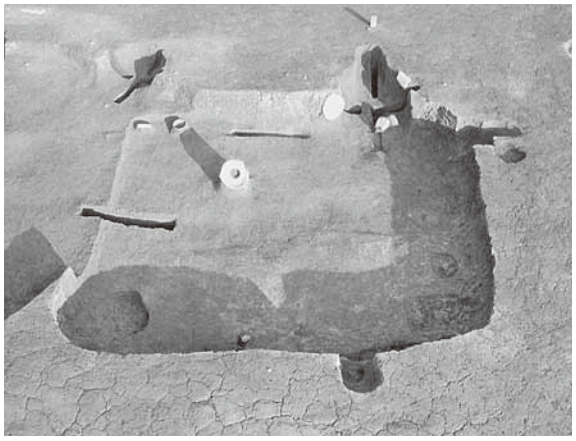
H－22号住居跡竈全景



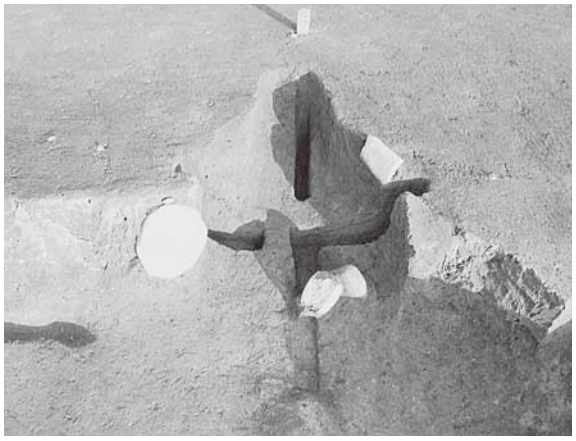
Ｈ－23号住居跡全景



Ｈ－23号住居跡竈全景

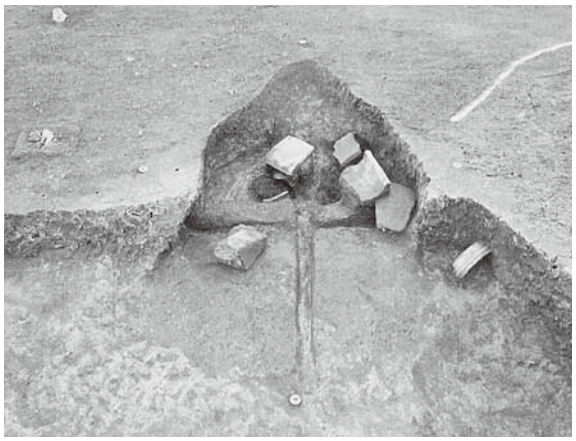


Ｈ－24号住居跡全景

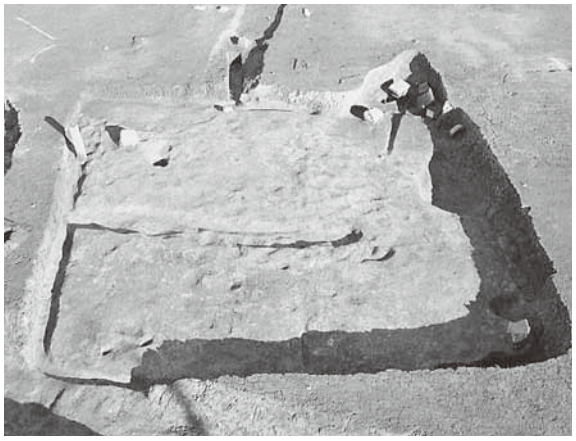


Ｈ－24号住居跡竈全景

Ｈ－25号住居跡全景

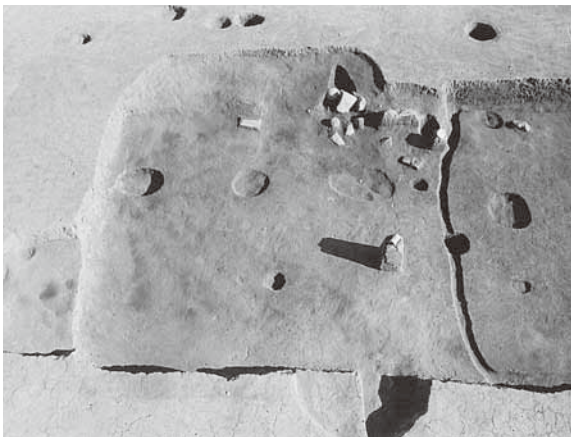


Ｈ－26号住居跡竈全景



Ｈ－26号住居跡全景

Ｈ－26号住居跡掘り方全景



Ｈ－27号住居跡全景

Ｈ－27号住居跡竈全景

Ｈ－28号住居跡全景

Ｈ－28号住居跡竈全景

Ｗ－１号溝跡・土坑群２全景

Ｗ－６号溝跡・土坑群２全景

Ｗ－２号溝跡全景

Ｗ－５号溝跡全景

Ｄ－５号土坑全景（土壙墓）

Ｄ－14号土坑全景

Ｄ－19号土坑全景

土坑群１全景

ＤＢ－１号土壙墓全景

ＤＢ－２号土壙墓全景

Ｉ－１号井戸跡全景

Ｉ－１号井戸跡土層

Ⅰ－３号井戸跡全景

Ⅰ－３号井戸跡土層

Ⅰ－４号井戸跡全景

Ⅰ－４号井戸跡土層

Ⅰ－４号井戸跡北側瓦積み

Ⅰ－４号井戸跡西側瓦積み

Ⅹ－１号跡土層（1）

Ⅹ－１号跡土層（2）

X－１号跡全景

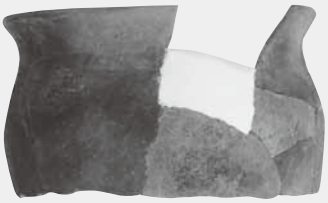
X－１号跡西側

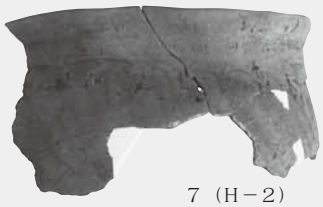
X－１号跡北東側

X－１号跡遺物出土状況（東側）

X－１号跡礫群

1（H－1）

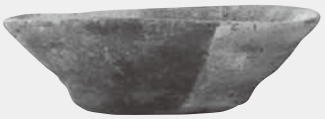

4（H－1）


7（H－2）

11（H－4）

13（H－5）

10（H－3）


16（H－6）

17（H－6）

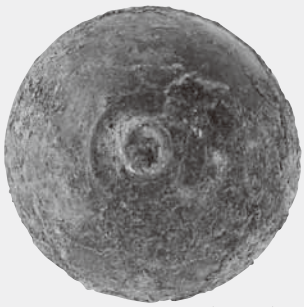
18（H－6）

21（H－7）

22（H－7）

24（H－9）

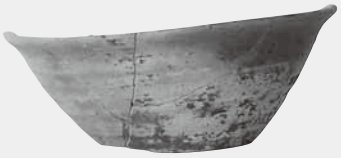
26（H－10）


22（H－7）－下面

27（H－10）

28（H－10）

29（H－12）


30（H－12）

31（H－12）

32（H－12）

37（H－11）

36（H－11）

33（H－12）

33（H－12）

35（H－12）

34（H－12）

35（H－12）

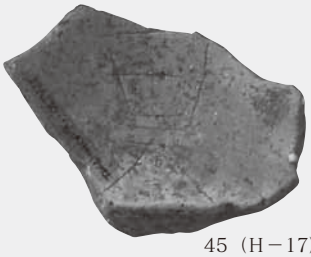
39（H－13）

40（H－13）

42（H－14）

43（H－15）

44（H－15）


45（H－17）

46（H－18）

48（H－19）

52（H－22）

53（H－22）

51（H－20）

54（H－22）

54（H－22）

55（H－22）－凹

55（H－22）－凸

55（H－22）

56（H－23）

61（H－24）

62（H－24）

60（H－23）

64（H－24）

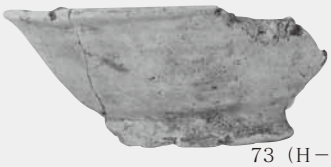
65（H－24）

66（H－24）

69（H－25）

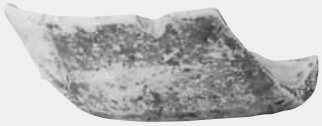
70（H－25）

72（H－25）



73（H－26）

71（H－25）



78（H－26）

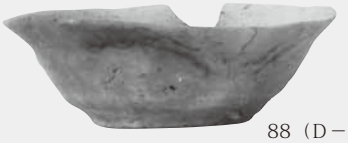
76（H－26）

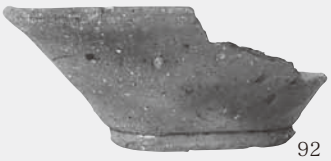
84（D－3）

85（D－3）

86（D－13）

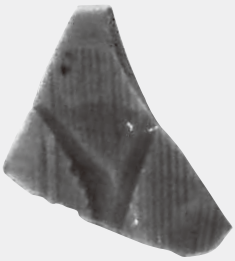
87（D－62）


88（D－82）


92（D－85）

89（D－88）

93（D－40）－内


93（D－40）－外

94（D－58）－内

94（D－58）－外

95（I－1）

97（X－1，I－3）

98（X－1，I－3）

100（X－1，I－3）

99（X－1，I－3）

96（I－1）

111（X－1，I－3）

106（X－1，I－3）

107（X－1，I－3）

112（X－1，Ⅰ－3）

119（X－1，Ⅰ－3）

121（X－1，Ⅰ－3）

136（Ⅰ－4）－凸

136（Ⅰ－4）－凹

139（Ⅰ－4）－凹

139（Ⅰ－4）－凸

140（Ⅰ－4）－凹

140（Ⅰ－4）－凸

141（X－1，Ⅰ－3）－凹

141（X－1，Ⅰ－3）－凸

142（X－1，Ⅰ－3）－凹

142（X－1，Ⅰ－3）－凸

145（X－1，Ⅰ－3）－凹

145（X－1，Ⅰ－3）－凸

145（X－1，Ⅰ－3）

148（Ⅰ－4）

149（Ⅰ－4）

150（Ⅰ－4）

151（Ⅰ－4）

152（Ⅰ－4）

153（Ⅰ－4）

報告書抄録

フリガナ	モトソウジャオウミイセキグン18
書名	元総社蒼海遺跡群（18）
副書名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	
編著者名	梅澤克典・宇佐美義春
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団・技研測量設計株式会社
発行機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
発行機関所在地	〒371-0018　群馬県前橋市三俣町二丁目10-2
発行年月日	西暦2008年３月13日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
元総社蒼海遺跡群(18)	群馬県前橋市元総社町1718番ほか３筆	10201	19Ａ130-18	36°23′23″	139°01′55″	2007.10.16～2008.1.16	1,440㎡	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
元総社蒼海遺跡群（18）	集落跡 その他	奈良・平安 中世 近世	竪穴住居跡　31軒 溝　5条 井戸　4基 土坑　94基 土壙墓　2基 ピット　311基 風倒木痕　2基 掘り込み状遺構　1箇所	縄文土器、石器、土師器、須恵器、灰釉陶器、瓦、石製品、鉄製品、銅製品、舶載青磁・青白磁、かわらけ、古銭他	なし

元総社蒼海遺跡群（18）

2008年３月３日　印　刷
2008年３月13日　発　行

編集発行　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市三俣町二丁目10―２
TEL　027―231―9531
印刷所　朝日印刷工業株式会社